

履修登録のために

Registration Guidebook

平成31(2019)年度以降入学生適用

この冊子は卒業まで使用します。
大切に保管してください。

跡見学園女子大学

履修登録のために [平成31(2019)年度以降入学生適用] 目次

I	全学共通科目の履修	4
	1. 全学共通科目の履修方法	4
	2. 前期課程（第1 Semester～第4 Semester）における注意点	5
	[1] 外国語科目（必修）	5
	[2] 外国語科目（選択）	6
	[3] 選択したコース以外の外国語の履修について	6
	[4] 情報処理科目（必修）	7
	[5] 情報処理科目（選択）	7
	[6] 導入科目（必修）	7
	[7] 教養科目	7
	[8] 共通専門科目	8
	[9] 社会人形成科目（必修）	8
	[10] 社会人形成科目（選択）	8
	[11] 体育実技科目	9
	[12] 後期課程における社会人形成科目の履修について	9
	3. 後期課程（第5 Semester～第8 Semester）における注意点	10
	[1] 外国語科目（選択）	10
	[2] 情報処理科目（選択）	10
	[3] 教養科目	10
	[4] 共通専門科目	10
	[5] 社会人形成科目（必修）	10
	[6] 社会人形成科目（選択）	11
	[7] 総合科目	11
II	文学部	12
	人文学科／現代文化表現学科／コミュニケーション文化学科の専門科目の履修全般について	
	1. 専門科目の履修方法	12
	2. 科目区分の内容説明	13
	3. 文学部共通専門科目について	13
II-1	文学部 人文学科 専門科目の履修	14
	1. 人文学科の教育方法と基本姿勢	14
	2. 前期課程（第1 Semester～第4 Semester）における注意点	15
	3. 後期課程（第5 Semester～第8 Semester）における注意点	16
	4. 文学部人文学科 開設科目と履修モデル	17
	人文学科 履修登録チェックリスト	26
II-2	文学部 現代文化表現学科 専門科目の履修	28
	1. 現代文化表現学科の教育方法と基本姿勢	28
	2. 前期課程（第1 Semester～第4 Semester）における注意点	29
	3. 後期課程（第5 Semester～第8 Semester）における注意点	29
	4. 現代文化表現学科 開設科目と履修モデル	30
	現代文化表現学科 履修登録チェックリスト	34
II-3	文学部 コミュニケーション文化学科 専門科目の履修	36
	1. コミュニケーション文化学科の教育方法と基本姿勢	37
	2. 前期課程（第1 Semester～第4 Semester）における注意点	37
	3. 後期課程（第5 Semester～第8 Semester）における注意点	38
	4. コミュニケーション文化学科 開設科目と履修モデル	39
	コミュニケーション文化学科 履修登録チェックリスト	44

履修登録のために [平成31(2019)年度以降入学生適用] 目次

Ⅲ	マネジメント学部	46
	マネジメント学科/生活環境マネジメント学科の専門科目の履修全般について	
	1. 専門科目の履修方法	46
	2. マネジメント学部の教育方法に関する基本的考え方	46
	3. 科目区分の内容説明	47
	4. 前期課程(第1 Semester~第4 Semester)における履修の方法と注意点	47
	5. 後期課程(第5 Semester~第8 Semester)における履修の方法と注意点	48
	6. 実践ゼミナール・インターンシップ	48
	7. 「展開ゼミナール」(マネジメント学科) 「生活環境マネジメント学演習」(生活環境マネジメント学科)について	49
	8. キャリアデザイン講演会	49
Ⅲ-1	マネジメント学部 マネジメント学科 専門科目の履修	50
	1. マネジメント学科の教育方法と基本姿勢	50
	2. マネジメント学科 開設科目と履修モデル	51
	カリキュラムツリー	54
	マネジメント学科 履修登録チェックリスト	58
Ⅲ-2	マネジメント学部 生活環境マネジメント学科 専門科目の履修	60
	1. 生活環境マネジメント学科の教育方法と基本姿勢	60
	2. 生活環境マネジメント学科 開設科目と履修モデル	61
	カリキュラムツリー	66
	生活環境マネジメント学科 履修登録チェックリスト	68
Ⅳ	観光コミュニティ学部	70
	観光デザイン学科/まちづくり学科の専門科目の履修全般について	
	1. 専門科目の履修方法	70
	2. 観光コミュニティ学部の教育方法に関する基本的考え方	70
	3. 科目区分の内容説明	71
	4. 前期課程(第1 Semester~第4 Semester)における履修の方法と注意点	71
	5. 後期課程(第5 Semester~第8 Semester)における履修の方法と注意点	72
	6. 基礎ゼミナール	72
	7. 「観光デザイン演習」(観光デザイン学科)、 「コミュニティデザイン演習」(まちづくり学科)	73
	8. 社会調査士課程と観光国家資格取得支援	73
Ⅳ-1	観光コミュニティ学部 観光デザイン学科 専門科目の履修	74
	1. 観光デザイン学科の教育方法と基本姿勢	74
	2. 観光デザイン学科 開設科目と履修モデル	75
	観光デザイン学科 履修登録チェックリスト	80
Ⅳ-2	観光コミュニティ学部 まちづくり学科 専門科目の履修	82
	1. まちづくり学科の教育方法と基本姿勢	83
	2. まちづくり学科 開設科目と履修モデル	84
	まちづくり学科 履修登録チェックリスト	88

V	心理学部	90
	臨床心理学の専門科目の履修全般について	
	1. 専門科目の履修方法	90
	2. 科目区分の内容説明	91
V-1	心理学部 臨床心理学 専門科目の履修	92
	1. 臨床心理学の教育方法と基本姿勢	92
	2. 選択科目の履修について	93
	3. 前期課程（第1 Semester～第4 Semester）における留意点	94
	[1] 必修科目	94
	[2] 後期課程「心理演習」「心理実習 A」「心理実習 B」「心理実習 C」履修に向けての前期課程での準備	94
	[3] 「心理実習 A～C」および「心理演習」受講にあたっての希望調査	95
	[4] 実習「心理学実験」（2 限連続）	95
	4. 後期課程（第5 Semester～第8 Semester）における留意点	95
	[1] 特殊演習「心理演習」	95
	[2] 「心理実習 A」（秋学期）（保健医療分野）	96
	[3] 「心理実習 B」（秋学期）（教育分野）	97
	[4] 「心理実習 C」（春学期）（福祉分野、司法・犯罪分野）	98
	[5] 「臨床心理学演習 I A・I B」、「臨床心理学演習 II A・II B」、「卒業論文・卒業研究」	99
	5. 心理学部臨床心理学 開設科目と履修モデル	100
	[1] 専門科目の種類と履修年次	100
	[2] 履修モデルとその核となる科目	101
	6. 科目対照表	104
	[1] 公認心理師	104
	[2] 健康心理士	106
	[3] 認定心理士	110
	[4] 心理学検定	112
	[5] 産業カウンセラー	112
	カリキュラムツリー	114
	臨床心理学 履修登録チェックリスト	118
VI	資格取得課程	120
	1. 本学で設置している「資格取得課程」	120
	2. 「資格取得課程」履修にあたって	120
	3. 教職課程	121
	4. 司書教諭課程	122
	5. 司書課程	123
	6. 学芸員課程	123
	7. 社会調査士課程	123
VII	よくある質問	124
VIII	修得単位数の確認から履修登録までの流れ	130
IX	科目ナンバリング	131
	履修登録申請下書用紙	136

全学共通科目の履修

1 全学共通科目の履修方法

（『学生便覧』「教育課程（平成31（2019）年度以降の入学生適用）I．全学共通科目の履修」参照）

卒業要件である124単位のうち、全学共通科目を前期課程（1・2年次）で42単位以上、後期課程（3・4年次）で16単位以上、合わせて58単位以上修得しなければなりません。下記の科目区分ごとに修得すべき単位数が定められているので、注意が必要です。

■ 全学共通科目・前期課程進級要件 <全学部共通>

科目区分		修得単位数
外国語科目		16単位以上（A・B・Cいずれかのコース） 外国語科目「選択」区分から4単位までを必修単位として読み替えることができる。
情報処理科目		2単位以上 （情報リテラシーⅠ、Ⅱは必修）
導入科目		2単位
教養科目		10単位以上
共通専門科目		選択
社会人形成科目	講義	2単位以上 （花蹊の教育とライフプラン・キャリアプランは必修）
	演習	1単位以上 （ソーシャルマナーは必修）
	実習	選択
体育実技科目		選択
合計修得単位		上記要件を含み42単位以上 なお、42単位を超えて修得した単位を後期課程の全学共通科目の単位として算入することはできない。

■ 全学共通科目・後期課程修得要件 <全学部共通>

科目区分		修得単位数
外国語科目		選択
情報処理科目		選択
教養科目		4単位以上
共通専門科目		選択
社会人形成科目	演習	1単位以上
	実習	選択
総合科目		選択
合計修得単位		上記要件を含み16単位以上 なお、前期課程の全学共通科目の単位を算入することはできない。

2 前期課程（第1 Semester～第4 Semester）における注意点

前期課程においては、「外国語科目」16単位、「情報処理科目（情報リテラシーⅠ、Ⅱ）」2単位、「導入科目（プロゼミⅠ、Ⅱ）」2単位、「社会人形成科目・講義（花蹊の教育とライフプラン・キャリアプラン）」2単位、「社会人形成科目・演習（ソーシャルマナー）」1単位が必修です。

さらに、選択科目である「教養科目」10単位以上を含み、「外国語科目」「情報処理科目」「共通専門科目」「社会人形成科目（講義・演習・実習）」「体育実技科目」から自由に選択して履修し、合計で42単位以上の修得が必要となります。

[1] 外国語科目（必修）

各2単位 クラス指定

1年次から2年次にかけて、「外国語科目」を16単位修得します。この履修の仕方には、A～Cコースの3種類の形態があり、その希望調査はすでに入学前に実施されています。週2時間（100分の授業を2回）の授業で2単位を修得します。

①コースについて

コース	履 修 要 件
A	英語以外の外国語を履修せず、英語Aだけで16単位を満たします。
B	英語以外の外国語を履修せず、英語Bだけで16単位を満たします。
C	英語（8単位）＋英語以外の1外国語（8単位）で16単位を満たします。

②履修の仕方

1 年 次				
コース	英 語	単位	フランス語、ドイツ語、 中国語、朝鮮・韓国語	単位
A	英語AⅠa 英語AⅠb 英語AⅡa 英語AⅡb	8		
B	英語BⅠa 英語BⅠb 英語BⅡa 英語BⅡb	8		
C	英語Ⅰ 英語Ⅱ	4	フランス語、ドイツ語、 中国語、朝鮮・韓国語の いずれか1外国語のみ	4

2 年 次				
コース	英 語	単位	フランス語、ドイツ語、 中国語、朝鮮・韓国語	単位
A	英語AⅢa 英語AⅢb 英語AⅣa 英語AⅣb	8		
B	英語BⅢa 英語BⅢb 英語BⅣa 英語BⅣb	8		
C	英語Ⅲ 英語Ⅳ	4	フランス語、ドイツ語、 中国語、朝鮮・韓国語の いずれか1外国語のみ	4

[2] 外国語科目（選択）

各1単位

前期課程の外国語科目として、1年次より履修可能な「英語マルチメディアレッスン」、「英語再入門A」「英語再入門B」（各1単位）、2年次より履修可能な「英語リーディング」、「英語ライティング」、「フランス語リーディング・ライティング」、「ドイツ語リーディング・ライティング」、「中国語リーディング・ライティング」、「朝鮮・韓国語リーディング・ライティング」（各1単位）が開設されます。必修の「英語A I a」～「英語A IV b」、「英語B I a」～「英語B IV b」、「英語Ⅰ」～「英語Ⅳ」と平行して、英語学習上での弱点を補うため、あるいはスキル向上のために自由に選択できます。修得した単位は、全学共通科目の前期課程の進級要件に含めることができます。

外国語科目「選択」区分から4単位までを必修単位として読み替えることができます。

[3] 選択したコース以外の外国語の履修について

〈英語の履修について〉

選択したコース以外の英語（必修）の履修は認めません。

〈フランス語、ドイツ語、中国語、朝鮮・韓国語の履修について〉

Cコースを選択した学生は、クラス指定されているフランス語、ドイツ語、中国語、朝鮮・韓国語以外の履修は認めません。

Aコース又はBコースを選択した学生は、フランス語、ドイツ語、中国語、朝鮮・韓国語のうち1外国語のみ履修することを認めます。修得した単位が8単位の満たなくても全学共通科目の「必要を超えて修得した単位」として算入することができます。

なお、選択したコース以外の外国語は、指定された順序で履修することを原則とします。

前期課程（1・2年次）

コース	クラス指定科目		+	クラス指定以外の フランス語、ドイツ語、 中国語、朝鮮・韓国語	進級要件上の扱い
	英語	フランス語、 ドイツ語、中国語、 朝鮮・韓国語			
A	英語A（16単位）			フランス語、ドイツ語、 中国語、朝鮮・韓国語 のいずれか1外国語の み (8単位)	8単位の満たなくても、 全学共通科目の 「必要を超えて修得 した単位」として算 入可。
B	英語B（16単位）				
C	英語（8単位）	フランス語、ドイツ語、 中国語、朝鮮・韓国語の いずれか1外国語のみ (8単位)		履修不可	なし

[4] 情報処理科目 (必修)

各 1 単位 クラス指定

1 年次必修科目として春学期に「情報リテラシー I」、秋学期に「情報リテラシー II」を開講します。合計 2 単位の修得が必要です。

①履修の仕方

第 1 セメスター (1 年次春学期) では、「情報リテラシー I」を履修します。

第 2 セメスター (1 年次秋学期) では、「情報リテラシー II」を履修します。

②情報処理科目の単位が修得できなかった場合

単位修得できなかった科目を時間割で探し、再履修の申請を行ってください。後期課程へ進級するためには、「情報リテラシー I」「情報リテラシー II」の両方の単位を修得する必要があります。

[5] 情報処理科目 (選択)

各 1 単位

必修の「情報処理科目」に加え、さらに高度な情報処理能力を身につけたい学生のために「画像処理基礎演習」、「Web制作」、「マルチメディア基礎演習 (映像制作)」、「マルチメディア基礎演習 (音楽制作)」、「Microsoft Office Specialist 基礎演習」の 5 科目を 1・2 年次の選択科目として開講します。修得した単位は、全学共通科目の前期課程の進級要件に含めることができます。

[6] 導入科目 (必修)

各 1 単位 クラス指定

1 年次必修科目として春学期に「プロゼミ I」、秋学期に「プロゼミ II」を開講します。合計 2 単位の修得が必要です。

①履修の仕方

第 1 セメスター (1 年次春学期) では、「プロゼミ I」を履修します。

第 2 セメスター (1 年次秋学期) では、「プロゼミ II」を履修します。

②「プロゼミ」の単位が修得できなかった場合

「再履修クラス」が開設されています。単位修得できなかった科目の「再履修クラス」を時間割で探し、再履修の申請を行ってください。

[7] 教養科目

各 2 単位

教養科目は、前期課程に開講されるものと、後期課程に開講されるものがあります。1・2 年次においては、前期課程に開講される科目から選択して履修します。前期課程では計 43 科目が開講されており、10 単位以上の修得が必要です。10 単位を超えて修得した単位は、全学共通科目の前期課程の進級要件に含めることができます。

これらの教養科目は学部にかかわらず共通に学ぶべき科目で、選択する際のめやすとして人文・社会・人間・自然の 4 分野を設定しています。ただし、この分野は進級要件に関わりはありません。

教職課程履修者は、前期課程で「日本国憲法」の単位を修得する必要があります。

[8] 共通専門科目

各2単位

選択科目です。この「共通専門科目」は、文学部、マネジメント学部、観光コミュニティ学部、心理学部の専門的な科目のうちから、全学的に共通して開講し、全学共通科目の単位として修得できるように配置されている科目です。科目により前期課程に開講されるものと、後期課程に開講されるものがあり、前期課程では9科目を開講します。修得した単位は、全学共通科目の前期課程の進級要件に含めることができます。

[9] 社会人形成科目（必修）

3単位 クラス指定

1年次の必修科目で、講義科目「花蹊の教育とライフプラン・キャリアプラン」（2単位）、演習科目「ソーシャルマナー」（1単位）の2科目の合計3単位を指定されたクラスで履修します。

これらの科目は、1年生全員が受講しなければならない科目ですので、**自分がどのクラスに属するのか、指定されたクラスを必ず確認してください。**

「ソーシャルマナー」は授業の内容によってクラスの規模や教室が変わります。各自毎回自分のクラスを必ず確認し、各回ごとに指定された教室で受講するよう十分に留意してください。

クラスごとの教室一覧はポータル掲示「ソーシャルマナー教室配当一覧表」で確認してください。

なお、再履修者は2年次の履修登録時にクラス指定していますので、ポータルの履修登録確認画面で確認し、指定したクラスで履修してください。

[10] 社会人形成科目（選択）

各1～2単位

選択科目です。前期課程に開講されるものと、後期課程に開講されるものがあります。

1・2年次においては前期課程開講の科目を選択して履修します。これらの科目は、自立した人格として活動するために、自己と他者の関係を確立していく能力や、社会から要請される実践的な能力に関わる技能を学ぶ科目です。

前期課程では講義科目を7科目（各2単位）と演習科目を15科目（各1～2単位）、実習科目を1科目（2単位）開講します。実習科目として「ボランティア実践A」があり、週一回は教室で授業を行うほか、一定の期間、学外でボランティア活動に参加することになります。

修得した単位は、全学共通科目の前期課程の進級要件に含めることができます。

[11] 体育実技科目

各 1 単位

選択科目です。「体育実技」A～DおよびG・Hは新座キャンパスにおいて授業を実施し、「体育実技」E・Fは文京キャンパスの跡見学園プールにおいて集中講義での実施となります。修得した単位は、全学共通科目の前期課程の進級要件に含めることができます。

教職課程履修者は、前期課程で「体育実技」2科目、合計2単位を修得する必要があります。

[12] 後期課程における社会人形成科目の履修について

後期課程における社会人形成科目は、「日本語演習」（1単位）を履修するのが原則です。しかし、入学前ないし前期課程中に日本漢字能力検定協会の日本漢字能力検定2級以上、あるいは日本語検定委員会の日本語検定2級以上に合格し、所定の手続きに従い申請を行えば、後期課程に進級した直後（3年次4月）に単位認定されます。この場合、「日本語演習」を3年次に履修する必要はありません。

〈入学前及び前期課程における日本漢字能力検定2級以上、もしくは日本語検定2級以上の合格者の単位認定申請について〉

入学前及び前期課程において日本漢字能力検定2級以上、もしくは日本語検定2級以上の合格者に対しての単位認定については、合格書類を教務部教務課に持参の上、申請してください。

申請期限は以下のとおりです。後期課程に進級した直後（3年次4月）に「検定・資格（漢検）」、または「検定・資格（語検）」として2単位認定を行います。

●「漢字検定」・「日本語検定」単位認定申請期間（前期課程）

合格時期	単位認定申請期限	認定時期
入学前	2年次の3月末日まで (入学前及び前期課程で合格した者の最終申請締め切り)	後期課程に進級もしくは仮進級した直後に単位認定（3年次4月）
1年次		
2年次		

※後期課程に進級もしくは仮進級になるまでは、成績通知書に単位数は表示されません。

※単位認定については別途ポータルで日程等の詳細を確認してください。

3 後期課程（第5 Semester～第8 Semester）における注意点

後期課程においては、「教養科目」4単位以上、「社会人形成科目」1単位以上を修得し、さらに「外国語科目」「情報処理科目」「共通専門科目」「総合科目」から自由に選択して履修し、合計で16単位以上の修得が必要です。

前期課程での42単位以上と合わせて、卒業のためには58単位以上の修得が必要です。

[1] 外国語科目（選択） 各1単位

後期課程の外国語科目として「テーマで学ぶ英語（文化）Ⅰ」「テーマで学ぶ英語（文化）Ⅱ」「テーマで学ぶ英語（ビジネス）Ⅰ」「テーマで学ぶ英語（ビジネス）Ⅱ」「テーマで学ぶ英語（観光）Ⅰ」「テーマで学ぶ英語（観光）Ⅱ」「テーマで学ぶ英語（社会問題）Ⅰ」「テーマで学ぶ英語（社会問題）Ⅱ」「テーマで学ぶ英語（メディア）Ⅰ」「テーマで学ぶ英語（メディア）Ⅱ」「フランス語上級Ⅰ」「フランス語上級Ⅱ」「ドイツ語上級Ⅰ」「ドイツ語上級Ⅱ」「中国語上級Ⅰ」「中国語上級Ⅱ」「朝鮮・韓国語上級Ⅰ」「朝鮮・韓国語上級Ⅱ」（各1単位）が開講されます。修得した単位は、全学共通科目の後期課程の卒業要件に含めることができます。

[2] 情報処理科目（選択） 各1単位

前期課程の「情報処理科目」と対応させつつ、より上級者向けに「コンピュータ・グラフィックス」「デジタル・アニメーション」「デジタル編集」「アプリケーション・プログラミング」「Microsoft Office Specialist演習」（各1単位）の計5科目を3・4年次の選択科目として開講します。

修得した単位は、全学共通科目の後期課程の卒業要件に含めることができます。

[3] 教養科目 各2単位

後期課程においては4単位以上の修得が必要です。3・4年次生を対象に、合計27科目の教養科目を開講するので、選択して履修します。4単位を超えて修得した単位は、全学共通科目の後期課程の卒業要件に含めることができます。

[4] 共通専門科目 各2単位

選択科目です。文学部、マネジメント学部、観光コミュニティ学部、心理学部の専門的な科目のうちから、全学的に共通して開講し、全学共通科目の単位として修得できるように配置されている科目です。後期課程においては計8科目が開講されます。修得した単位は、全学共通科目の後期課程の卒業要件に含めることができます。

[5] 社会人形成科目（必修） 1単位以上 クラス指定

原則として、「日本語演習」（1単位）を3年次に履修します。

また、日本漢字能力検定2級以上、もしくは日本語検定2級以上に合格した場合にも、単位認定申請によって「社会人形成科目」のカテゴリーでいずれも2単位が認定されます。

「日本語演習」の単位（1単位）あるいは日本漢字能力検定2級以上の合格による認定単位「検定資格（漢字検定）」（2単位）、日本語検定2級以上の合格による認定単位「検定資格（日本語検定）」（2単位）のいずれかの単位修得が必要です。

「日本語演習」を履修して授業に出席し、成績評価を受けて1単位修得した上に、日本漢字能力検定2級以上、もしくは日本語検定2級以上に合格して単位認定を申請すれば2単位認定されるので、合計3単位～5単位修得することも可能です。

〈3年次春学期の「日本語演習」のクラス指定登録について〉

前期課程中に「日本漢字能力検定2級以上」もしくは「日本語検定2級以上」の単位認定申請をしていない学生は、3年次春学期に複数コマ開講される「日本語演習」の授業をあらかじめクラス指定登録します。

指定されたクラスを履修することを原則としますが、指定された曜日・時限と重複している別の授業科目の履修を希望する場合は、Web履修登録期間中に自分で他のクラスに変更することができます。

但し、1クラスの定員は80名ですので、履修登録の結果、定員を超えたクラスについては、**クラス変更した学生を対象に抽選を行います**。従って、希望どおりのクラスに移れるとは限りません。

抽選結果発表時に「日本語演習」の各クラスの履修登録状況を発表しますので、抽選に外れた学生は、それを参考にして他のクラスを履修登録してください。

※漢字検定や日本語検定の2級以上に合格してまだ単位認定申請をしていない学生は、Web履修登録期間中に自分で「日本語演習」を削除してかまいません。但し、検定に合格する前の履修削除は避けてください。

※既に「検定・資格（漢検）」や「検定・資格（語検）」の単位認定申請をしている学生や、秋学期および4年次については「日本語演習」のクラス指定登録は行いません。「日本語演習」の履修登録を希望する場合は、Web履修登録期間中に自分でクラスを選んで履修登録してください。

●単位認定申請期間（後期課程）

	合格時期	各学期の単位認定申請期限	認定時期
3年次	4月～8月末日	8月末日*1	10月
	9月～2月末日	2月末日*2	4年次進級時に単位認定 (4年次4月)
	3月1日以降	翌年度当初*2	
4年次	4月～8月末日	8月末日*3	10月
	9月～1月末日	1月末日*4	2月
	2月以降	単位認定申請は受け付けない	

*1) 3年次10月までは、成績通知書に単位数は表示されません。*2) 4年次4月までは、成績通知書に単位数は表示されません。

*3) 4年次10月までは、成績通知書に単位数は表示されません。*4) 4年次成績発表までは、成績通知書に単位数は表示されません。

※単位認定については別途ポータルで日程等の詳細を確認してください。

[6] 社会人形成科目（選択）

各1～2単位

後期課程では演習科目を14科目（各1～2単位）、実習科目を1科目（2単位）開講します。実習科目として「ボランティア実践B」があり、週一回は教室で授業を行うほか、一定の期間、学外でボランティア活動に参加することになります。

修得した単位は、全学共通科目の後期課程の卒業要件に含めることができます。

[7] 総合科目

各2単位

選択科目です。後期課程で教養科目の展開・応用として、「複数の学問分野にわたる特定の主題について、総合的に考える」ことを目指す科目です。つまり、その主題の多面的な構造の理解、その分析、解決の方法などについて、総合的な視野からのアプローチを学びます。

修得した単位は、全学共通科目の後期課程の卒業要件に含めることができます。

文学部

人文学科／現代文化表現学科／コミュニケーション文化学科の 専門科目の履修全般について

1 専門科目の履修方法

卒業要件である124単位のうち、専門科目を前期課程（1・2年次）で20単位以上、後期課程（3・4年次）で46単位以上、あわせて66単位以上修得しなければなりません。下記の科目区分ごとに修得すべき単位数が学科別に定められているので、注意が必要です。

■ 文学部専門科目・前期課程進級要件

科目区分	人文学科 修得単位数	現代文化表現学科 修得単位数	コミュニケーション文化学科 修得単位数
文学部共通専門科目	選択	選択	選択
総論	8単位以上	8単位以上	6単位以上
研究入門	4単位	4単位	4単位
基礎実習／基礎演習	選択	選択	2単位
資格科目	選択		
合計修得単位	上記要件を含み20単位以上 なお、20単位を超えて修得した単位を後期課程の学部専門科目として算入することはできない。		

■ 文学部専門科目・後期課程修得要件

科目区分	人文学科 修得単位数	現代文化表現学科 修得単位数	コミュニケーション文化学科 修得単位数
文学部共通専門科目	選択	選択	18単位以上
各論	16単位以上	16単位以上	
特殊講義	10単位以上	6単位以上	2単位以上
特殊演習		4単位以上	4単位以上
実習			2単位以上
演習	4単位	4単位	4単位
卒業論文・卒業研究	2単位	2単位	2単位
合計修得単位	上記要件を含み46単位以上 なお、後期課程で修得した前期課程の学部専門科目及び学部共通専門科目並びに他学部専門科目の単位を算入することはできない。ただし、人文学科においては、後期課程生として修得した前期課程の総論を6単位まで含めることができる。		

2 科目区分の内容説明

(『学生便覧』「教育課程(平成31(2019)年度以降の入学生適用)Ⅱ.文学部」参照)

■ 前期課程から始まるもの

- 「**総論**」……その学問分野についての基礎的な知識と全体的な視野を学びます。
- 「**研究入門**」……2年次にその学問分野の基本的な研究手法を学びます。
- 「**基礎実習・実習**」……学修の支えとなる技術を実践的に体得します。
- 「**基礎演習**」……学修の支えとなる知識を実践的に学びます。

■ 後期課程から始まるもの

- 「**各論**」……その学問分野の中にある、さまざまな対象や領域を取り上げて考えます。
- 「**特殊講義**」……その学問分野の中に含まれている、個別の問題やテーマに焦点をあわせて探究します。
- 「**演習**」……各論や特殊講義の学修と連動させて、少人数のメンバーで、調査・研究・発表の方法を学びます。
- 「**特殊演習**」……その学問分野の中に含まれている、個別の問題やテーマに焦点をあわせて創作・研究・発表の方法を学びます。
- 「**卒業論文・卒業研究**」…積み重ねてきた学修を踏まえて、指導教員のサポートを得ながら、自分で見出した課題を具体的な論文や研究にまとめ上げることに挑みます。

3 文学部共通専門科目について

次に掲げる表の文学部共通専門科目は、人文学科・現代文化表現学科・コミュニケーション文化学科に共通する専門科目です。学部選択専門科目(自学科専門科目又は他学科専門科目)とあわせて、前期課程で8単位、後期課程で14単位まで卒業要件として必要な単位に算入することができます。必修科目ではありませんので、各自の興味・関心に応じて自由に選択してください。ただし、特定の資格を取得するためには必ず履修しなければならない科目もありますので、よく確認してください。

■ 文学部共通専門科目

	1年	2年	3年	4年
講義	<input type="checkbox"/> 英語実用文法(2) <input type="checkbox"/> レトリック概論(2) <input type="checkbox"/> 言語学概論(2) <input type="checkbox"/> 芸術論(2) <input type="checkbox"/> 造形論(2) <input type="checkbox"/> 色彩論(2) <input type="checkbox"/> 装いの心理学(2) <input type="checkbox"/> 化粧の心理学(2) <input type="checkbox"/> 図書館概論(2)		<input type="checkbox"/> 演劇論(2) <input type="checkbox"/> 言語哲学(2) <input type="checkbox"/> 朗読法(2) <input type="checkbox"/> コミュニケーション心理学(2) <input type="checkbox"/> 情報文化史(2) <input type="checkbox"/> 色彩象徴論(2) <input type="checkbox"/> 図書・図書館史(2)	
実習・演習	<input type="checkbox"/> 芸術芸能実習(茶道)(1) <input type="checkbox"/> 芸術芸能実習(華道)(1) <input type="checkbox"/> 芸術芸能実習(香道)(1)		<input type="checkbox"/> 情報サービス演習A(1)	

※()内の数字は単位数

文学部 人文学科 専門科目の履修

卒業に必要な専門科目の単位数は、前期課程20単位、後期課程46単位の所定修得単位数を含む66単位で、最低修得単位数は下記のとおりです。

科目区分		修得要件	備考
前期課程	総論（自学科）	8単位以上	
	研究入門（自学科）	4単位	
	基礎実習	選択	
	資格科目	選択	
	文学部共通専門科目	選択	
前期課程合計		20単位以上	前期課程要件12単位を修得し、加えて前期課程の学部専門科目（学部共通専門科目、自学科専門科目または他学科専門科目）8単位以上を修得する。この8単位の中に、他学部専門科目を4単位まで含めることができる。なお、20単位を超えて修得した単位を後期課程の学部専門科目として算入することはできない。
後期課程	各論（自学科）	16単位以上	
	特殊講義（自学科）	10単位以上	特殊講義、特殊演習及び実習の授業科目から、合計10単位以上を修得する。
	特殊演習（自学科）		
	実習（自学科）		
	演習	4単位	「人文学演習ⅠA」「人文学演習ⅠB」 「人文学演習ⅡA」「人文学演習ⅡB」
	卒業論文・卒業研究	2単位	
	文学部共通専門科目	選択	
後期課程合計		46単位以上	後期課程要件32単位を修得し、加えて後期課程の学部専門科目（学部共通専門科目、自学科専門科目または他学科専門科目）14単位以上を修得する。この14単位の中に、他学部専門科目を8単位まで含めることができる。なお、後期課程で修得した前期課程の学部専門科目及び他学部専門科目の単位を算入することはできない。ただし、人文学科においては、後期課程生として修得した前期課程科目の総論を6単位まで含めることができる。
合計修得単位数		66単位以上	

1 人文学科の教育方法と基本姿勢

人文学科の専門科目は、幅広く設けられています。

「幅広く」「自由に」というのは、実はむしろかしいことなのかも知れません。あらかじめ枠

(フレーム)を与えられ、方向づけられていた方がむしろ楽なこともあります。しかし、ここでは大学での学修のフレームを、自分自身で作ることに挑んでみてください。問われるのは主体的な選択です。自分の興味・関心があるのはどの領域か、挑戦して学んでみたいのはどの分野なのかを意識してください。様々な学問領域が具体的にどのように広がっているのかについては、『シラバス』などを見て確認してください。

また、8つの履修モデルが設定されていますのでそれも参考にしてください。履修について、少しでもわからないこと、迷うことがあれば、アカデミックアドバイザーの教員に相談してください。

2 前期課程(第1 Semester～第4 Semester)における注意点

[1] 第1・2 Semester [1年次]

第1・2 Semesterから履修できる専門科目には、講義科目の「総論」、実習科目の「基礎実習」、そして「資格科目」があります。

「総論」は、各学問分野の基礎となる講義科目であり、前期課程(2年間、4 Semester)で4科目(8単位)以上を修得しなければなりません。

「基礎実習」は、各分野に関わる技術を実践的に体得する科目です。前期課程には「書道基礎実習AⅠ・AⅡ・B・C」、「絵画基礎実習Ⅰ・Ⅱ」、「デザイン基礎実習Ⅰ・Ⅱ」、「彫刻基礎実習Ⅰ・Ⅱ」、「工芸基礎実習Ⅰ・Ⅱ」、があります。選択科目なので、履修モデルを参考に各自の興味や目標に応じて自由に選択してください。ただし、美術や書道の教職課程に登録している学生は、適切な実習科目を必ず履修してください。

なお、1年次秋学期(第2 Semester)中に、2年次の必修科目「人文学研究入門A～L」の履修希望調査が行われ、クラス指定されます。この「研究入門」は、人文学の各分野における研究方法の基礎を学び、基礎的な知識・読解力・技術などを修得する科目です。人文学のどの分野を学ぶことが自分に適しているかを決めていくうえで大切な科目ですので、履修希望に当たっては、アカデミックアドバイザーの教員によく相談してください。

[2] 第3・4 Semester [2年次]

第3 Semesterから履修できる専門科目として、「人文学研究入門A～L」があります。それ以外の専門科目は、資格に関する科目を除いて、第1・第2 Semesterと同じです。

「人文学研究入門」は2年次の必修科目であり、春学期・秋学期に一つずつ、あわせて2科目(4単位)を修得するのが基本です。

〈「人文学演習ⅠA・ⅠB」の選択について〉

なお、2年次秋学期(第4 Semester)中に、3年次の必修科目「人文学演習ⅠA・ⅠB」でどのクラスを選ぶかについて履修希望調査が行われます。この「人文学演習ⅠA・ⅠB」は、人文学の各分野において、大学としての専門的研究の第一歩を、その理論・方法・知識・技術などの多方面から修得していくためのもので、とても大切な科目です。また、4年次に履修する「人文学演習ⅡA・ⅡB」は、3年次に履修する「人文学演習ⅠA・ⅠB」の担当教員の演習を引き続いて履修することを原則としており、その教員の指導のもとで卒業論文・卒業研究も行います。すなわち、2年次の秋に選択した演習の内容が、あなたが大学で専門的に学ぶ分野になっていくのだということです。このように、「人文学演習ⅠA・ⅠB」のクラス選

扱はたいへん重要なものですので、履修希望の調査にあたっては、希望する演習担当の教員やアカデミックアドバイザーの教員によく相談してください。

資格課程の内、教職課程または学芸員課程の科目を履修している者は、4年次の卒業論文と、それらの資格課程科目との整合性が求められます。具体的には教職課程の場合は教科との整合性、学芸員課程の場合は美術系か歴史・民俗系かどちらかとの整合性です。上述したように卒業論文・卒業研究指導は「人文学演習ⅡA・ⅡB」の担当教員の指導のもとで行われますから、「人文学演習ⅠA・ⅠB」のクラス選択の時点で、こうした資格課程との整合性を十分に検討してください。

3 後期課程（第5 Semester～第8 Semester）における注意点

[1] 第5・6 Semester [3年次]

3年次の人文学科専門科目には、講義科目としての「各論」「特殊講義」のほかに、演習科目として、選択科目の「特殊演習」と、必修の「人文学演習ⅠA・ⅠB」とがあります。またほかに、選択科目「実習」もあります。

- ◎「各論」は卒業までに8科目（16単位）以上を修得することが卒業に必要な要件として定められていますので、計画的に履修してください。
- ◎「特殊講義」（人文学特殊講義）、「特殊演習」および「実習」は、3つの区分から自由に選択して10単位以上を修得することが卒業に必要な要件として定められていますので、これも計画的に履修してください。
- ◎「特殊演習」には「創作ライティング演習A～E」があります。各自の興味や目標に応じて自由に選択してください。
- ◎「実習」には、「書道実習A～F」、「絵画実習A～D」、「デザイン実習A～D」、「彫刻実習A～D」、「工芸実習A～D」があります。各自の興味や目標に応じて自由に選択してください。
- ◎「人文学演習ⅠA」、「人文学演習ⅠB」は、2年次の秋に行われた履修希望調査に基づきクラスが決まっています。

[2] 第7・8 Semester [4年次]

- ◎4年次の人文学科専門科目については、必修の「人文学演習ⅡA・ⅡB」があり、またそれに加えて、選択科目の「各論」「特殊講義」「特殊演習」「実習」の中から、卒業に必要な単位を履修していきます。なお、必修の「人文学演習ⅡA・ⅡB」は「人文学演習ⅠA・ⅠB」の応用・発展的な科目として位置づけられているものであり、下記の通り卒業論文・卒業研究につながるものです。
- ◎「卒業論文・卒業研究」（通年2単位）は人文学演習ⅡA・ⅡBの担当教員の指導のもとで、自分自身の関心に応じて設定したテーマについて研究を深めていき、その最終的な成果として卒業論文を執筆するか、卒業研究（作品制作・翻訳・批評など）を行います。

4 文学部人文学科 開設科目と履修モデル

[1] 専門科目の種類と履修年次

66単位以上

区分	1年	2年	3年	4年
総論・各論	総論 (8単位以上)		各論 (16単位以上)	
基礎実習・ 資格科目・ 特殊講義・ 特殊演習・実習	基礎実習 (選択)		特殊講義・特殊演習・実習 (10単位以上)	
研究入門・演習		人文学研究入門A-L (必修4単位)	人文学演習ⅠA・ⅠB (必修2単位)	人文学演習ⅡA・ⅡB (必修2単位)
卒業論文・卒業研究				卒業論文・卒業研究 (必修2単位)
自学科専門・ 文学部共通専門・ 他学科専門・ 他学部専門	他学部専門科目は4単位まで		他学部専門科目は8単位まで	
必要単位数	20		46	

[2] 基本的な8履修モデルとその核となる科目

人文学科の専門科目は、地域の視点に立って歴史、文化、文学、言語等を組み込んだ8つの履修モデル(「日本文学」「創作・表現」「日本史」「西洋史」「美術史」「総合文化」「現代思想・社会」「国際教養」)に編成されます。科目選択の参考とするとともに、履修計画を立てるときの目安としてください。

■ 日本文学

	1年	2年	3年	4年
総論・各論	<input type="checkbox"/> 日本文学概論 [2] <input type="checkbox"/> 中国文学概論 [2]	<input type="checkbox"/> 日本文学史 [2] <input type="checkbox"/> 国語学概論 [2]	<input type="checkbox"/> 古代日本文学 [2] <input type="checkbox"/> 近世日本文学 [2] <input type="checkbox"/> 漢文学 [2] <input type="checkbox"/> 日本語文章表現 [2]	<input type="checkbox"/> 中世日本文学 [2] <input type="checkbox"/> 近代日本文学 [2] <input type="checkbox"/> 国語史 [2] <input type="checkbox"/> 作家と表現 [2]
基礎実習・ 資格科目・ 特殊講義・ 特殊演習・ 実習			<input type="checkbox"/> 人文学特殊講義(日本文学) [2] × 5 <input type="checkbox"/> 創作ライティング演習A(物語) [1] <input type="checkbox"/> 創作ライティング演習E(評論・随筆) [1]	
研究入門・ 演習		<input type="checkbox"/> 人文学研究入門A-L × 2 [必2]	<input type="checkbox"/> 人文学演習ⅠA [必1] <input type="checkbox"/> 人文学演習ⅠB [必1]	<input type="checkbox"/> 人文学演習ⅡA [必1] <input type="checkbox"/> 人文学演習ⅡB [必1]
自学科専門・ 文学部共通専門・ 他学科専門・ 他学部専門	<input type="checkbox"/> 書道史 [2] <input type="checkbox"/> 創作論 [2]	<input type="checkbox"/> 言語学概論 [2] <input type="checkbox"/> 物語論 [2]	<input type="checkbox"/> 比較文学 [2] <input type="checkbox"/> 朗読法 [2] <input type="checkbox"/> 書論 [2] <input type="checkbox"/> テキスト分析論 [2]	<input type="checkbox"/> 日本文化史 [2] <input type="checkbox"/> 国語音声学 [2]
卒業論文・卒業研究				<input type="checkbox"/> 卒業論文・卒業研究 [必2]
単位数	20		46	

※ []内の数字は単位数

■ 創作・表現

区分	1年	2年	3年	4年
総論・各論	<input type="checkbox"/> 書芸術の鑑賞 [2] <input type="checkbox"/> 創作論 [2] <input type="checkbox"/> 物語論 [2] <input type="checkbox"/> シナリオ論 [2]		<input type="checkbox"/> 近代日本文学 [2] <input type="checkbox"/> 日本語文章表現 [2] <input type="checkbox"/> 作家と表現 [2] <input type="checkbox"/> 国語史 [2]	<input type="checkbox"/> 書論 [2] <input type="checkbox"/> テキスト分析論 [2] <input type="checkbox"/> 比較文学 [2] <input type="checkbox"/> 国語音声学 [2]
基礎実習・資格科目・特殊講義・特殊演習・実習			<input type="checkbox"/> 人文学特殊講義(日本文学) [2] × 5 <input type="checkbox"/> 創作ライティング演習A(物語) [1] <input type="checkbox"/> 創作ライティング演習B(シナリオ) [1] <input type="checkbox"/> 創作ライティング演習C(短歌) [1] <input type="checkbox"/> 創作ライティング演習D(俳句) [1] <input type="checkbox"/> 創作ライティング演習E(評論・随筆) [1]	
研究入門・演習		<input type="checkbox"/> 人文学研究入門A-L × 2 [必2]	<input type="checkbox"/> 人文学演習ⅠA [必1] <input type="checkbox"/> 人文学演習ⅠB [必1]	<input type="checkbox"/> 人文学演習ⅡA [必1] <input type="checkbox"/> 人文学演習ⅡB [必1]
自学科専門・文学部共通専門・他学科専門・他学部専門	<input type="checkbox"/> レトリック概論 [2] <input type="checkbox"/> 日本文学史 [2] <input type="checkbox"/> 日本文学概論 [2] <input type="checkbox"/> 書道史 [2]		<input type="checkbox"/> 演劇論 [2] <input type="checkbox"/> 朗読法 [2] <input type="checkbox"/> 文化の翻訳 [2] <input type="checkbox"/> 現代思想 [2]	<input type="checkbox"/> 現代言語表現論 [2]
卒業論文・卒業研究				<input type="checkbox"/> 卒業論文・卒業研究 [必2]
単位数	20		47	

※[]内の数字は単位数

■ 日本史

	1年	2年	3年	4年
総論・各論	<input type="checkbox"/> 日本史概説A [2] <input type="checkbox"/> 日本史概説B(近代) [2] <input type="checkbox"/> 日本外交史 [2] <input type="checkbox"/> 東洋史概説 [2]		<input type="checkbox"/> 日本の歴史と社会 [2] <input type="checkbox"/> 日本文化史 [2] <input type="checkbox"/> 日本思想史 [2] <input type="checkbox"/> 風俗史 [2]	<input type="checkbox"/> 伝承文化論 [2] <input type="checkbox"/> 文化財学 [2] <input type="checkbox"/> 中国文化史 [2] <input type="checkbox"/> 近代美術史(鑑賞を含む) [2]
基礎実習・資格科目・特殊講義・特殊演習・実習			<input type="checkbox"/> 人文学特殊講義(日本史) [2] × 3 <input type="checkbox"/> 人文学特殊講義(西洋史) [2] × 2	
研究入門・演習		<input type="checkbox"/> 人文学研究入門A-L × 2 [必2]	<input type="checkbox"/> 人文学演習ⅠA [必1] <input type="checkbox"/> 人文学演習ⅠB [必1]	<input type="checkbox"/> 人文学演習ⅡA [必1] <input type="checkbox"/> 人文学演習ⅡB [必1]
自学科専門・文学部共通専門・他学科専門・他学部専門	<input type="checkbox"/> 日本美術史(鑑賞を含む)A [2] <input type="checkbox"/> 日本美術史(鑑賞を含む)B [2] <input type="checkbox"/> 民俗学 [2] <input type="checkbox"/> 考古学概説 [2] <input type="checkbox"/> 芸術芸能実習 [1]		<input type="checkbox"/> 漢文学 [2] <input type="checkbox"/> 中世日本文学 [2] <input type="checkbox"/> 近世日本文学 [2] <input type="checkbox"/> 近代日本文学 [2]	<input type="checkbox"/> 東西美術交流 [2] <input type="checkbox"/> ヨーロッパの歴史と社会 [2] <input type="checkbox"/> 西洋文化史 [2]
卒業論文・卒業研究				<input type="checkbox"/> 卒業論文・卒業研究 [必2]
単位数	21		46	

※[]内の数字は単位数

■ 西洋史

	1年	2年	3年	4年
総論・各論	<input type="checkbox"/> 西洋史概説A [2] <input type="checkbox"/> 西洋史概説B (近代) [2] <input type="checkbox"/> 東洋史概説 [2] <input type="checkbox"/> 日本史概説B (近代) [2]		<input type="checkbox"/> ヨーロッパの歴史と社会 [2] <input type="checkbox"/> 西洋文化史 [2] <input type="checkbox"/> アメリカ史 [2] <input type="checkbox"/> イスラム史 [2]	<input type="checkbox"/> 西洋哲学史 [2] <input type="checkbox"/> 多文化社会と民族問題 [2] <input type="checkbox"/> 現代ヨーロッパ社会 [2] <input type="checkbox"/> 現代アメリカ社会 [2]
基礎実習・資格科目・特殊講義・特殊演習・実習			<input type="checkbox"/> 人文学特殊講義(西洋史) [2] × 3 <input type="checkbox"/> 人文学特殊講義(国際教養) [2] × 2	
研究入門・演習		<input type="checkbox"/> 人文学研究入門A-L × 2 [必2]	<input type="checkbox"/> 人文学演習ⅠA [必1] <input type="checkbox"/> 人文学演習ⅠB [必1]	<input type="checkbox"/> 人文学演習ⅡA [必1] <input type="checkbox"/> 人文学演習ⅡB [必1]
自学科専門・文学部共通専門・他学科専門・他学部専門	<input type="checkbox"/> 日本史概説A [2] <input type="checkbox"/> 西洋美術史(鑑賞を含む)A [2] <input type="checkbox"/> 西洋美術史(鑑賞を含む)B [2] <input type="checkbox"/> 国際関係学 [2]		<input type="checkbox"/> 国際文化交流 [2] <input type="checkbox"/> 現代中東アフリカ論 [2] <input type="checkbox"/> 西洋図像学 [2] <input type="checkbox"/> 東西美術交流 [2]	<input type="checkbox"/> 比較神話論 [2] <input type="checkbox"/> 世界の宗教 [2] <input type="checkbox"/> 情報文化史 [2]
卒業論文・卒業研究				<input type="checkbox"/> 卒業論文・卒業研究 [必2]
単位数	20		46	

※ []内の数字は単位数

■ 美術史

	1年	2年	3年	4年
総論・各論	<input type="checkbox"/> 日本美術史(鑑賞を含む)A [2] <input type="checkbox"/> 日本美術史(鑑賞を含む)B [2] <input type="checkbox"/> 西洋美術史(鑑賞を含む)A [2] <input type="checkbox"/> 西洋美術史(鑑賞を含む)B [2]		<input type="checkbox"/> 東洋美術史(鑑賞を含む) [2] <input type="checkbox"/> 近代美術史(鑑賞を含む) [2] <input type="checkbox"/> 文化財学 [2] <input type="checkbox"/> 東西美術交流 [2]	<input type="checkbox"/> 西洋図像学 [2] <input type="checkbox"/> 書論 [2] <input type="checkbox"/> 日本文化史 [2] <input type="checkbox"/> 西洋文化史 [2]
基礎実習・資格科目・特殊講義・特殊演習・実習	<input type="checkbox"/> 絵画基礎実習AⅠ(入門) [1]		<input type="checkbox"/> 絵画実習A(洋画) [1] <input type="checkbox"/> 絵画実習C(日本画) [1] <input type="checkbox"/> 人文学特殊講義(美術史) [2] × 3 <input type="checkbox"/> 人文学特殊講義(総合文化) [2] × 2	
研究入門・演習		<input type="checkbox"/> 人文学研究入門A-L × 2 [必2]	<input type="checkbox"/> 人文学演習ⅠA [必1] <input type="checkbox"/> 人文学演習ⅠB [必1]	<input type="checkbox"/> 人文学演習ⅡA [必1] <input type="checkbox"/> 人文学演習ⅡB [必1]
自学科専門・文学部共通専門・他学科専門・他学部専門	<input type="checkbox"/> 博物館概論 [2] <input type="checkbox"/> 芸術論 [2] <input type="checkbox"/> 造形論 [2] <input type="checkbox"/> 芸術芸能実習 [1]		<input type="checkbox"/> 色彩象徴論 [2] <input type="checkbox"/> 国際文化交流 [2] <input type="checkbox"/> 伝承文化論 [2]	<input type="checkbox"/> 日本の歴史と社会 [2] <input type="checkbox"/> 中国文化史 [2] <input type="checkbox"/> ヨーロッパの歴史と社会 [2]
卒業論文・卒業研究				<input type="checkbox"/> 卒業論文・卒業研究 [必2]
単位数	20		46	

※ []内の数字は単位数

■ 総合文化

	1年	2年	3年	4年
総論・各論	<input type="checkbox"/> 文化人類学 [2] <input type="checkbox"/> 民俗学 [2] <input type="checkbox"/> 考古学概説 [2] <input type="checkbox"/> 比較文化概論 [2]		<input type="checkbox"/> 女性と文化 [2] <input type="checkbox"/> 文化と心理 [2] <input type="checkbox"/> 文化と身体 [2] <input type="checkbox"/> 伝承文化論 [2]	<input type="checkbox"/> 文化の翻訳 [2] <input type="checkbox"/> 比較神話論 [2] <input type="checkbox"/> 比較文学 [2] <input type="checkbox"/> 多文化社会と民族問題 [2]
基礎実習・ 資格科目・ 特殊講義・ 特殊演習・ 実習			<input type="checkbox"/> 人文学特殊講義(総合文化) [2] × 5	
研究入門・ 演習		<input type="checkbox"/> 人文学研究入門A-L × 2 [必2]	<input type="checkbox"/> 人文学演習ⅠA [必1] <input type="checkbox"/> 人文学演習ⅠB [必1]	<input type="checkbox"/> 人文学演習ⅡA [必1] <input type="checkbox"/> 人文学演習ⅡB [必1]
自学科専門・ 文学部共通専門・ 他学科専門・ 他学部専門	<input type="checkbox"/> 言語学概論 [2] <input type="checkbox"/> 博物館概論 [2] <input type="checkbox"/> 哲学概論 [2] <input type="checkbox"/> 国際関係学 [2]		<input type="checkbox"/> 世界の宗教 [2] <input type="checkbox"/> 地政学 [2] <input type="checkbox"/> 中国文化史 [2] <input type="checkbox"/> 西洋文化史 [2]	<input type="checkbox"/> 国際文化交流 [2] <input type="checkbox"/> 日本文化史 [2] <input type="checkbox"/> 情報文化史 [2]
卒業論文・卒業研究				<input type="checkbox"/> 卒業論文・卒業研究 [必2]
単位数	20		46	

※ []内の数字は単位数

■ 現代思想・社会

	1年	2年	3年	4年
総論・各論	<input type="checkbox"/> 哲学概論 [2] <input type="checkbox"/> 美学概論 [2] <input type="checkbox"/> 文化人類学 [2] <input type="checkbox"/> 民俗学 [2]		<input type="checkbox"/> 中国哲学史 [2] <input type="checkbox"/> 西洋哲学史 [2] <input type="checkbox"/> 比較神話論 [2] <input type="checkbox"/> 現代思想 [2]	<input type="checkbox"/> 現代日本社会 [2] <input type="checkbox"/> 日本思想史 [2] <input type="checkbox"/> 現代ヨーロッパ社会 [2] <input type="checkbox"/> 世界の宗教 [2]
基礎実習・ 資格科目・ 特殊講義・ 特殊演習・ 実習			<input type="checkbox"/> 人文学特殊講義(現代思想・社会) [2] × 3 <input type="checkbox"/> 人文学特殊講義(総合文化) [2] <input type="checkbox"/> 人文学特殊講義(国際教養) [2]	
研究入門・ 演習		<input type="checkbox"/> 人文学研究入門A-L × 2 [必2]	<input type="checkbox"/> 人文学演習ⅠA [必1] <input type="checkbox"/> 人文学演習ⅠB [必1]	<input type="checkbox"/> 人文学演習ⅡA [必1] <input type="checkbox"/> 人文学演習ⅡB [必1]
自学科専門・ 文学部共通専門・ 他学科専門・ 他学部専門	<input type="checkbox"/> レトリック概論 [2] <input type="checkbox"/> 言語学概論 [2] <input type="checkbox"/> 芸術論 [2] <input type="checkbox"/> 造形論 [2]		<input type="checkbox"/> 言語哲学 [2] <input type="checkbox"/> 伝承文化論 [2] <input type="checkbox"/> 多文化社会と民族問題 [2] <input type="checkbox"/> 現代アメリカ社会 [2] <input type="checkbox"/> 文化の翻訳 [2]	<input type="checkbox"/> 現代中東アフリカ論 [2] <input type="checkbox"/> 現代アジア社会 [2]
卒業論文・卒業研究				<input type="checkbox"/> 卒業論文・卒業研究 [必2]
単位数	20		46	

※ []内の数字は単位数

■ 国際教養

	1年	2年	3年	4年
総論・各論	<input type="checkbox"/> 比較文化概論 [2] <input type="checkbox"/> 英米文学概論 [2] <input type="checkbox"/> 日本外交史 [2] <input type="checkbox"/> 国際関係学 [2]		<input type="checkbox"/> 国際文化交流 [2] <input type="checkbox"/> 国際協力論 [2] <input type="checkbox"/> 多文化社会と民族問題 [2] <input type="checkbox"/> 現代中東アフリカ論 [2] <input type="checkbox"/> 地 政 学 [2] <input type="checkbox"/> 現代アジア社会 [2] <input type="checkbox"/> 国際連合 [2] <input type="checkbox"/> 現代アメリカ社会 [2]	
基礎実習・ 資格科目・ 特殊講義・ 特殊演習・ 実習			<input type="checkbox"/> 人文学特殊講義(国際教養) [2] × 4 <input type="checkbox"/> 人文学特殊講義(現代思想・社会) [2]	
研究入門・ 演習		<input type="checkbox"/> 人文学研究入門A-L×2 [必2]	<input type="checkbox"/> 人文学演習ⅠA [必1] <input type="checkbox"/> 人文学演習ⅠB [必1]	<input type="checkbox"/> 人文学演習ⅡA [必1] <input type="checkbox"/> 人文学演習ⅡB [必1]
自学科専門・ 文学部共通専門・ 他学科専門・ 他学部専門	<input type="checkbox"/> 英語実用文法 [2] <input type="checkbox"/> 文化人類学 [2] <input type="checkbox"/> 英語コミュニケーション論 [2] <input type="checkbox"/> 多文化社会論 [2]		<input type="checkbox"/> 現代ヨーロッパ社会 [2] <input type="checkbox"/> 世界の宗教 [2] <input type="checkbox"/> 現代日本社会 [2] <input type="checkbox"/> イスラム史 [2] <input type="checkbox"/> 文化の翻訳 [2] <input type="checkbox"/> 国際コミュニケーション論 [2] <input type="checkbox"/> 現代思想 [2]	
卒業論文・卒業研究				<input type="checkbox"/> 卒業論文・卒業研究 [必2]
単位数	20		46	

※ []内の数字は単位数

[3] 教職課程履修モデルとその核となる科目

教職課程（中学校教諭、高等学校教諭一種免許状）を履修する場合の人文学科の履修モデルです。なお、教職課程の履修にあたっては『学生便覧』の「VI. 資格取得課程 ①教職課程」を参照する必要があります。まず、次の点を必ず確認した後、国語、書道、美術ごとにまとめてある履修計画モデルを参考にして、計画を立てる目安としてください。

■ 全学共通科目・前期課程進級要件科目

区 分	1年	2年
「免許法施行規則第66条の6」により必要な科目	<input type="checkbox"/> 日本国憲法 <input type="checkbox"/> 英語A Ia、英語A Ib、英語B Ia、英語B Ib、英語Ⅱから1科目 <input type="checkbox"/> 体育実技A～Hから2科目 <input type="checkbox"/> 情報リテラシーⅠ、Ⅱ（※必修科目）	

※以下の各教科モデルに、上記の科目を必ず含めること。

■ 国語科

区 分	1年	2年	3年	4年
教科と関連のある総論・各論	<input type="checkbox"/> 日本文学概論 [2] <input type="checkbox"/> 国語学概論 [2] <input type="checkbox"/> 日本文学史 [2] <input type="checkbox"/> 中国文学概論 [2] <input type="checkbox"/> 書道史 [2]		<input type="checkbox"/> 漢文学 [2] <input type="checkbox"/> 中世日本文学 [2] <input type="checkbox"/> 近代日本文学 [2] <input type="checkbox"/> 国語音声学 [2]	<input type="checkbox"/> 古代日本文学 [2] <input type="checkbox"/> 近世日本文学 [2] <input type="checkbox"/> 国語史 [2] <input type="checkbox"/> 日本語文章表現 [2]
基礎実習・資格科目・特殊講義・特殊演習・実習	<input type="checkbox"/> 書道基礎実習AⅠ [1] <input type="checkbox"/> 書道基礎実習AⅡ [1] <input type="checkbox"/> 教育原理 [2] <input type="checkbox"/> 教育心理学 [2]		<input type="checkbox"/> 人文学特殊講義 [2]×4 <input type="checkbox"/> 創作ライティング演習C [1] <input type="checkbox"/> 創作ライティング演習D [1]	
研究入門・演習		<input type="checkbox"/> 人文学研究入門A-L×2 [必2]	<input type="checkbox"/> 人文学演習ⅠA [必1] <input type="checkbox"/> 人文学演習ⅠB [必1]	<input type="checkbox"/> 人文学演習ⅡA [必1] <input type="checkbox"/> 人文学演習ⅡB [必1]
自学科専門・文学部共通専門・他学科専門・他学部専門	<input type="checkbox"/> 創作論 [2] <input type="checkbox"/> 物語論 [2] <input type="checkbox"/> 日本語コミュニケーション論 [2]		<input type="checkbox"/> 日本思想史 [2] <input type="checkbox"/> 比較文学A [2] <input type="checkbox"/> 女性作家の文学 [2] <input type="checkbox"/> 現代言語表現論 [2]	<input type="checkbox"/> テキスト構造論 [2] <input type="checkbox"/> 比較文学B [2] <input type="checkbox"/> 朗読法 [2]
卒業論文・卒業研究				<input type="checkbox"/> 卒業論文・卒業研究 [必2]
単位数	26		46	

備考：[] 内の数字は単位数を示す。書道基礎実習と書道史は高一種の「教科及び教科の指導法に関する科目」にはならないので、高一種のみ取得する場合は履修不要。以上のほか、学部専門科目としては卒業要件に入らない、「教育の基礎的理解に関する科目等」「大学が独自に設定する科目」を履修すること。『学生便覧』の「VI. 資格取得課程 ①教職課程」参照。

■ 書道科

区分	1年	2年	3年	4年
教科と関連のある 総論・各論	<input type="checkbox"/> 日本文学概論 [2] <input type="checkbox"/> 日本文学史 [2] <input type="checkbox"/> 書道史 [2] <input type="checkbox"/> 書芸術の鑑賞 [2]		<input type="checkbox"/> 書論 [2] <input type="checkbox"/> 漢文学 [2] <input type="checkbox"/> 古代日本文学 [2] <input type="checkbox"/> 中世日本文学 [2] <input type="checkbox"/> 近世日本文学 [2] <input type="checkbox"/> 近代日本文学 [2] <input type="checkbox"/> 日本文化史 [2] <input type="checkbox"/> 中国文化史 [2]	
基礎実習・ 資格科目・ 特殊講義・ 特殊演習・ 実習	<input type="checkbox"/> 書道基礎実習 A I [1] <input type="checkbox"/> 書道基礎実習 A II [1] <input type="checkbox"/> 書道基礎実習 B [1] <input type="checkbox"/> 書道基礎実習 C [1] <input type="checkbox"/> 教育原理 [2] <input type="checkbox"/> 教育心理学 [2]		<input type="checkbox"/> 人文学特殊講義 [2]×2 <input type="checkbox"/> 書道実習 A～F [1]×6	
研究入門・ 演習		<input type="checkbox"/> 人文学研究入門 A-L×2 [必2]	<input type="checkbox"/> 人文学演習 I A [必1] <input type="checkbox"/> 人文学演習 I B [必1]	<input type="checkbox"/> 人文学演習 II A [必1] <input type="checkbox"/> 人文学演習 II B [必1]
自学科専門・ 文学部共通専門・ 他学科専門・ 他学部専門	<input type="checkbox"/> 中国文学概論 [2]		<input type="checkbox"/> 日本の歴史と社会 [2] <input type="checkbox"/> 日本思想史 [2] <input type="checkbox"/> 日本語文章表現 [2] <input type="checkbox"/> 比較文学 A [2] <input type="checkbox"/> 東西美術交流 [2] <input type="checkbox"/> 中国哲学史 [2] <input type="checkbox"/> 文化創造における伝統と現代 [2]	
卒業論文・卒業研究				<input type="checkbox"/> 卒業論文・卒業研究 [必2]
単位数	22		46	

備考：[] 内の数字は単位数を示す。以上のほか、学部専門科目としては卒業要件に入らない、「教育の基礎的理解に関する科目等」「大学が独自に設定する科目」を履修すること。『学生便覧』の「VI. 資格取得課程 ①教職課程」参照。

■ 美術科

区分	1年	2年	3年	4年
教科と関連のある 総論・各論	<input type="checkbox"/> 美学概論 [2] <input type="checkbox"/> 日本美術史 A [2] <input type="checkbox"/> 西洋美術史 A [2] <input type="checkbox"/> 日本美術史 B [2] <input type="checkbox"/> 西洋美術史 B [2]		<input type="checkbox"/> 日本文化史 [2] <input type="checkbox"/> 近代美術史 [2] <input type="checkbox"/> 西洋文化史 [2] <input type="checkbox"/> 文化財学 [2] <input type="checkbox"/> 中国文化史 [2] <input type="checkbox"/> 西洋図像学 [2] <input type="checkbox"/> 東洋美術史 [2] <input type="checkbox"/> 東西美術交流 [2]	
基礎実習・ 資格科目・ 特殊講義・ 特殊演習・ 実習	<input type="checkbox"/> 絵画基礎実習 I [1] <input type="checkbox"/> 彫刻基礎実習 I [1] <input type="checkbox"/> デザイン基礎実習 I [1] <input type="checkbox"/> 工芸基礎実習 I [1] <input type="checkbox"/> 教育原理 [2] <input type="checkbox"/> 教育心理学 [2]		<input type="checkbox"/> 人文学特殊講義 [2]×4 <input type="checkbox"/> 絵画実習 A～D [1]×4 <input type="checkbox"/> デザイン実習 A～D [1]×4 <input type="checkbox"/> 彫刻実習 A～D [1]×4 <input type="checkbox"/> 工芸実習 A～D [1]×4	
研究入門・ 演習		<input type="checkbox"/> 人文学研究入門 A-L×2 [必2]	<input type="checkbox"/> 人文学演習 I A [必1] <input type="checkbox"/> 人文学演習 I B [必1]	<input type="checkbox"/> 人文学演習 II A [必1] <input type="checkbox"/> 人文学演習 II B [必1]
自学科専門・ 文学部共通専門・ 他学科専門・ 他学部専門	<input type="checkbox"/> 現代アート論 [2]		<input type="checkbox"/> 現代日本のアートと批評 [2]	
卒業論文・卒業研究				<input type="checkbox"/> 卒業論文・卒業研究 [必2]
単位数	24		48	

備考：[] 内の数字は単位数を示す。工芸基礎実習及び工芸実習は、高一種の「教科及び教科の指導法に関する科目」にはならないので、高一種のみ取得する場合は履修不要。以上のほか、学部専門科目としては卒業要件に入らない、「教育の基礎的理解に関する科目等」「大学が独自に設定する科目」を履修すること。『学生便覧』の「VI. 資格取得課程 ①教職課程」参照。

[4] 学芸員課程

学芸員課程を履修する場合の履修モデルです。美術系博物館、歴史・民俗系博物館の教科ごとにまとめてありますので、履修計画の参考にしてください。なお、全学共通科目（前期課程科目）「生涯学習概論」は、必ず履修してください。

■ 美術系

区分	1年	2年	3年	4年
総論・各論	<input type="checkbox"/> 日本美術史A [2] <input type="checkbox"/> 西洋美術史A [2] <input type="checkbox"/> 書芸術の鑑賞 [2]	<input type="checkbox"/> 日本美術史B [2] <input type="checkbox"/> 西洋美術史B [2]	<input type="checkbox"/> 日本文化史 [2] <input type="checkbox"/> 東西美術交流 [2] <input type="checkbox"/> 西洋文化史 [2] <input type="checkbox"/> 中国文化史 [2]	<input type="checkbox"/> 近代美術史 [2] <input type="checkbox"/> 文化財学 [2] <input type="checkbox"/> 西洋図像学 [2] <input type="checkbox"/> 東洋美術史 [2]
基礎実習・資格科目・特殊講義・特殊演習・実習			<input type="checkbox"/> 人文学特殊講義 [2]×4 <input type="checkbox"/> 絵画実習A [1] <input type="checkbox"/> 工芸実習C [1]	
研究入門・演習		<input type="checkbox"/> 人文学研究入門A-L×2 [必2]	<input type="checkbox"/> 人文学演習 I A [必1] <input type="checkbox"/> 人文学演習 I B [必1]	<input type="checkbox"/> 人文学演習 II A [必1] <input type="checkbox"/> 人文学演習 II B [必1]
自学科専門・文学部共通専門・他学科専門・他学部専門	<input type="checkbox"/> 美学概論 [2] <input type="checkbox"/> 考古学概説 [2] <input type="checkbox"/> 博物館概論 [2]	<input type="checkbox"/> 現代アート論 [2] <input type="checkbox"/> 芸術論 [2]	<input type="checkbox"/> 情報文化史 [2] <input type="checkbox"/> 現代日本のアートと批評 [2] <input type="checkbox"/> 文化政策 [2] <input type="checkbox"/> アーツマネジメント [2] <input type="checkbox"/> 芸術文化とNPO [2] <input type="checkbox"/> 写真論 [2]	
卒業論文・卒業研究				<input type="checkbox"/> 卒業論文・卒業研究 [必2]
単位数	24		46	

備考：[] 内の数字は単位数。以上のほか、学部専門科目としては卒業要件に入らない、「博物館に関する科目」を履修すること。『学生便覧』の「VI. 資格取得課程 ④学芸員課程」参照。

■ 歴史・民俗系

区分	1年	2年	3年	4年
総論・各論	<input type="checkbox"/> 日本史概説A [2] <input type="checkbox"/> 日本史概説B [2] <input type="checkbox"/> 日本美術史A [2] <input type="checkbox"/> 日本美術史B [2]		<input type="checkbox"/> 日本の歴史と社会 [2] <input type="checkbox"/> 伝承文化論 [2] <input type="checkbox"/> 文化財学 [2] <input type="checkbox"/> 中国文化史 [2]	<input type="checkbox"/> 日本文化史 [2] <input type="checkbox"/> 風俗史 [2] <input type="checkbox"/> 西洋文化史 [2] <input type="checkbox"/> 東洋美術史 [2]
基礎実習・資格科目・特殊講義・特殊演習・実習			<input type="checkbox"/> 人文学特殊講義 [2]×4 <input type="checkbox"/> 書道実習A [1] <input type="checkbox"/> 書道実習C [1]	
研究入門・演習		<input type="checkbox"/> 人文学研究入門A-L×2 [必2]	<input type="checkbox"/> 人文学演習 I A [必1] <input type="checkbox"/> 人文学演習 I B [必1]	<input type="checkbox"/> 人文学演習 II A [必1] <input type="checkbox"/> 人文学演習 II B [必1]
自学科専門・文学部共通専門・他学科専門・他学部専門	<input type="checkbox"/> 民俗学 [2] <input type="checkbox"/> 考古学概説 [2] <input type="checkbox"/> 博物館概論 [2]	<input type="checkbox"/> 東洋史概説 [2] <input type="checkbox"/> 文化人類学 [2]	<input type="checkbox"/> 近代美術史 [2] <input type="checkbox"/> 漢文学 [2] <input type="checkbox"/> 中世日本文学 [2] <input type="checkbox"/> 文化政策 [2] <input type="checkbox"/> 日本思想史 [2] <input type="checkbox"/> 古代日本文学 [2] <input type="checkbox"/> 近世日本文学 [2]	
卒業論文・卒業研究				<input type="checkbox"/> 卒業論文・卒業研究 [必2]
単位数	22		46	

備考：[] 内の数字は単位数。以上のほか、学部専門科目としては卒業要件に入らない、「博物館に関する科目」を履修すること。『学生便覧』の「VI. 資格取得課程 ④学芸員課程」参照。

人文学科 履修登録チェックリスト

前期課程（1-2年）

学籍番号	
氏名	

- ◆ _____ には履修科目名、() には単位数を記入。単位修得済み科目は右の□にチェック！
- ◆ 科目区分は『学生便覧』『教育課程（平成31（2019）年度以降入学生適用）』をご確認ください。

全学共通科目（42単位以上必要）

外国語科目（16）	導入科目（2）	その他（9）
A・B・C コース（※ABCいずれかに○）		科目区分
英語 (2) <input type="checkbox"/>	プロゼミⅠ (1) <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>
英語 (2) <input type="checkbox"/>	プロゼミⅡ (1) <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>
英語 (2) <input type="checkbox"/>		_____ () <input type="checkbox"/>
英語 (2) <input type="checkbox"/>	教養科目（10）	_____ () <input type="checkbox"/>
_____ (2) <input type="checkbox"/>	_____ (2) <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>
_____ (2) <input type="checkbox"/>	_____ (2) <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>
_____ (2) <input type="checkbox"/>	_____ (2) <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>
_____ (2) <input type="checkbox"/>	_____ (2) <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>
_____ (2) <input type="checkbox"/>	_____ (2) <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>
※書ききれない場合は「その他」へ	※書ききれない場合は「その他」へ	
情報処理科目（2）	社会人形成科目（3）	
情報リテラシーⅠ (1) <input type="checkbox"/>	花蹊の教育とライフプラン・ キャリアプラン (2) <input type="checkbox"/>	
情報リテラシーⅡ (1) <input type="checkbox"/>	ソーシャルマナー (1) <input type="checkbox"/>	
※書ききれない場合は「その他」へ	※書ききれない場合は「その他」へ	

学部専門科目（20単位以上必要）

総論（自学科）（8）	研究入門（4）	その他（8）
_____ (2) <input type="checkbox"/>	人文学研究入門 (2) <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>
_____ (2) <input type="checkbox"/>	人文学研究入門 (2) <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>
_____ (2) <input type="checkbox"/>		_____ () <input type="checkbox"/>
_____ (2) <input type="checkbox"/>		_____ () <input type="checkbox"/>
_____ (2) <input type="checkbox"/>		_____ () <input type="checkbox"/>
_____ (2) <input type="checkbox"/>		_____ () <input type="checkbox"/>
_____ (2) <input type="checkbox"/>		_____ () <input type="checkbox"/>
_____ (2) <input type="checkbox"/>		_____ () <input type="checkbox"/>
_____ (2) <input type="checkbox"/>		_____ () <input type="checkbox"/>
_____ (2) <input type="checkbox"/>		_____ () <input type="checkbox"/>
※書ききれない場合は「その他」へ		※科目区分
		※他学部専門科目は4単位まで含めることができる。 ※自学部他学科の専門科目は他学部専門科目の単位と合わせて8単位まで含めることができる。

※このチェックリストは、ポータル「文書ライブラリ」からダウンロードできます。

文学部 現代文化表現学科 専門科目の履修

卒業に必要な専門科目の単位数は、前期課程 20 単位、後期課程 46 単位の所定修得単位数を含む 66 単位で、最低修得単位数は下記のとおりです。

科目区分		修得要件	備考
前期課程	総論（自学科）	8 単位以上	必修 4 単位「文化表現基礎論」「現代文化概論」を含む。
	研究入門（自学科）	4 単位	
	基礎実習	選択	
	文学部共通専門科目	選択	
前期課程合計		20 単位以上	前期課程要件 12 単位を修得し、加えて前期課程の学部専門科目（学部共通専門科目、自学科専門科目または他学科専門科目）8 単位以上を修得する。この 8 単位の中に、他学部専門科目を 4 単位まで含めることができる。なお、20 単位を超えて修得した単位を後期課程の学部専門科目として算入することはできない。
後期課程	各論（自学科）	16 単位以上	
	特殊講義（自学科）	6 単位以上	
	特殊演習（自学科）	4 単位以上	
	実習（自学科）		
	演習	4 単位	「現代文化表現学演習 I A」 「現代文化表現学演習 I B」 「現代文化表現学演習 II A」 「現代文化表現学演習 II B」
	卒業論文・卒業研究	2 単位	
	文学部共通専門科目	選択	
後期課程合計		46 単位以上	後期課程要件 32 単位を修得し、加えて後期課程の学部専門科目（学部共通専門科目、自学科専門科目または他学科専門科目）14 単位以上を修得する。この 14 単位の中に、他学部専門科目を 8 単位まで含めることができる。なお、後期課程で修得した前期課程の学部専門科目及び他学部専門科目の単位を算入することはできない。
合計修得単位数		66 単位以上	

1 現代文化表現学科の教育方法と基本姿勢

現代文化表現学科の専門科目は、前期課程・後期課程ともに「講義」、「特殊演習および実習」、「演習」の 3 つの柱によって構成されています。

「講義」は、歴史・現状・理論の学問的知識の形成を担います。〈総論〉〈各論〉〈特殊講義〉が含まれます。

「特殊演習及び実習」はライティングや実技の実践的知識の形成を目的としています。前期課程の〈基礎実習〉、後期課程の〈実習〉〈特殊演習〉がこれにあたります。

「演習」は、学生自ら調査、体験、分析、考察、発表、執筆することを通じてそれらを統合し、4つの能力（考察力、知識、実践知、書く力）を形成します。3年次の「現代文化表現学演習ⅠA・ⅠB」と4年次の「現代文化表現学演習ⅡA・ⅡB」のほか、準備段階として2年次に「現代文化表現学研究入門A～H」が用意されます。

2 前期課程（第1 Semester～第4 Semester）における注意点

[1] 第1・2 Semester [1年次]

前期課程では、専門科目のうち必修科目の割合が多いので、時間割を作成するときには必修科目および全学共通科目でクラス指定されている科目を配置し、空いているところを他の科目で埋めるといった手順をとると良いでしょう。

〈総論〉は、4年間の学修の基礎となる講義科目であり、前期課程のうちに8単位を修得しなければなりません。〈総論〉には、必修科目と選択科目があります。1年次必修の総論は、「文化表現基礎論」、「現代文化概論」です。その他8科目から2科目（4単位分）以上を選択します。

〈基礎実習〉は本学科の特色である実践的知識を学ぶ科目です。後期課程における選択必修科目である「実習」では、「基礎実習」をふまえた高度な内容を学びますので、できるだけ対応する「基礎実習」を1、2年のうちに履修しておくようにしてください。

第2 Semester（1年次秋学期）においては、2年次必修科目である「研究入門」の履修希望調査（クラス振り分け）が行われますので、必ず調査に応じてください。

[2] 第3・4 Semester [2年次]

2年次の必修科目は、3年次以降に独自の研究を進めていくための能力を養う「現代文化表現学研究入門」です。

第4 Semester（2年次秋学期）においては、後期課程の必修科目「現代文化表現学演習ⅠA・ⅠB」（3年ゼミ）の履修希望調査（クラス振り分け）が行われますので、必ず調査に応じてください。

3 後期課程（第5 Semester～第8 Semester）における注意点

[1] 第5・6 Semester [3年次]

第5 Semesterから履修できる専門科目として、〈各論〉、〈特殊講義〉、〈特殊演習〉、〈実習〉、〈演習〉があります。〈各論〉から16単位以上、〈特殊講義〉から6単位以上、〈特殊演習〉および〈実習〉から4単位以上修得することが卒業要件です。

3年次必修の演習科目は、「現代文化表現学演習ⅠA・ⅠB」（3年ゼミ）です。この科目については、2年次秋学期に履修希望調査をあらかじめ行って、所属するクラス（担当教員）を決めます。

「現代文化表現学演習ⅠA・ⅠB」（3年ゼミ）から「現代文化表現学演習ⅡA・ⅡB」（4年ゼミ）に移行する際には、同じ教員の演習を履修することを原則としています。

[2] 第7・8セメスター [4年次]

第7セメスターから新たに履修する科目としてもっとも重要なものは「現代文化表現学演習ⅡA・ⅡB」（4年ゼミ）です。それまで積み重ねてきた学修の集大成として、特定の指導教員の指導援助のもとに、深く専門的な研究を行うものです。なお、「卒業論文・卒業研究」（通年2単位）は4年次の必修科目となります。

これらの「後期課程要件」32単位に加えて、後期課程の文学部専門科目（自学科または他学科専門科目）を14単位以上修得することが、卒業するために必要です。このうち、8単位まで他学部後期課程専門科目から履修した単位を含めることができます。

なお、前期課程生として修得した単位を後期課程に振り替えることはできませんので注意してください。

4年次は就職活動時期が授業期間に重なる場合が多々あります。就職活動を優先させるあまりに、学修がおろそかにならないように注意してください。

4 現代文化表現学科 開設科目と履修モデル

[1] 専門科目の種類と履修年次

66単位以上

区 分	1年	2年	3年	4年
総論・各論	総論8単位以上（1年次必修4単位含む）		各論（16単位以上）	
特殊講義			特殊講義（6単位以上）	
研究入門・演習		研究入門 （必修4単位）	現代文化表現学 演習ⅠA・ⅠB （必修2単位）	現代文化表現学 演習ⅡA・ⅡB （必修2単位）
卒業論文・卒業研究				卒業論文・卒業研究 （必修2単位）
基礎実習・ 特殊演習・実習	基礎実習（選択）		特殊演習・実習（4単位以上）	
自学科専門科目・ 文学部共通専門科目・ 他学科専門科目・ 他学部専門科目	他学部専門科目は4単位まで		他学部専門科目は8単位まで	
必要単位数	20		46	

〔2〕履修モデルとその核となる科目

将来像にあわせて3つの履修モデルをまとめてありますので、履修計画を立てる際の参考にしてください。

■ アート&シアター

(アート、映画、演劇等の業界を目指す)

区 分	1年	2年	3年	4年
総論	<input type="checkbox"/> 文化表現基礎論 [必2] <input type="checkbox"/> 現代文化概論 [必2]			
	<input type="checkbox"/> 舞台芸術と身体表現 [2] <input type="checkbox"/> 現代アート論 [2]			
研究入門		<input type="checkbox"/> 現代文化表現学研究入門 A~H [必2] × 2		
基礎実習	<input type="checkbox"/> 映像表現基礎実習 [1] <input type="checkbox"/> パフォーマンス基礎実習 [1]			
各論			<input type="checkbox"/> 文化表現の倫理 [2] <input type="checkbox"/> 文化創造における伝統と現代 [2] <input type="checkbox"/> アート・プロデュース論 [2] <input type="checkbox"/> 写真論 [2] <input type="checkbox"/> 映画論 [2] <input type="checkbox"/> 現代建築文化論 [2] <input type="checkbox"/> 現代日本のダンスと演劇 [2] <input type="checkbox"/> 現代日本のアートと批評 [2]	
特殊講義			<input type="checkbox"/> 現代文化表現学特殊講義 (イメージ) A [2] <input type="checkbox"/> 現代文化表現学特殊講義 (身体) B [2] <input type="checkbox"/> 現代文化表現学特殊講義 (社会) C [2]	
特殊演習			<input type="checkbox"/> ライティング特殊演習 (メディア) A [2] <input type="checkbox"/> ライティング特殊演習 (情報発信) A [2]	
実習			<input type="checkbox"/> 映像表現実習 [1] <input type="checkbox"/> パフォーマンス実習 [1]	
演習			<input type="checkbox"/> 現代文化表現学 演習 I A [必1] <input type="checkbox"/> 現代文化表現学 演習 I B [必1]	<input type="checkbox"/> 現代文化表現学 演習 II A [必1] <input type="checkbox"/> 現代文化表現学 演習 II B [必1]
卒業論文・卒業研究				<input type="checkbox"/> 卒業論文・卒業研究 [必2]
学部共通専門科目	<input type="checkbox"/> 芸術論 [2]		<input type="checkbox"/> 演劇論 [2]	
自学科専門科目	<input type="checkbox"/> ヴィジュアル・カルチャー概論 [2] <input type="checkbox"/> 現代メディア表現論 [2] <input type="checkbox"/> アート&デザイン基礎実習 [1]		<input type="checkbox"/> ライティング特殊演習 (批評) A [1] <input type="checkbox"/> アート&デザイン実習 [1] <input type="checkbox"/> アニメーション論 [2] <input type="checkbox"/> 現代文化表現学特殊講義 (イメージ) B [2] <input type="checkbox"/> 現代文化表現学特殊講義 (身体) C [2] <input type="checkbox"/> 現代文化表現学特殊講義 (ポピュラーカルチャー) B [2]	
他学科専門科目			<input type="checkbox"/> 近代美術史 (鑑賞を含む) [2]	
他学部専門科目				
単位数	21		48	

※ []内の数字は単位数

■ ポピュラーカルチャー
(マンガ、アニメ、音楽等の業界を目指す)

区 分	1年	2年	3年	4年
総論	<input type="checkbox"/> 文化表現基礎論 [必2] <input type="checkbox"/> 現代文化概論 [必2]			
	<input type="checkbox"/> ヴィジュアル・カルチャー概論 [2] <input type="checkbox"/> ポピュラーカルチャー概論 [2]			
研究入門		<input type="checkbox"/> 現代文化表現学研究入門 A~H [必2] × 2		
基礎実習	<input type="checkbox"/> デジタル表現基礎実習 [1] <input type="checkbox"/> マンガ・イラスト制作基礎実習 [1] <input type="checkbox"/> 写真表現基礎実習 [1]			
各論			<input type="checkbox"/> 文化表現とテクノロジー [2] <input type="checkbox"/> 文化表現の倫理 [2] <input type="checkbox"/> 文化社会学 [2] <input type="checkbox"/> 現代言語表現論 [2] <input type="checkbox"/> ポピュラー音楽論 [2] <input type="checkbox"/> マンガ論 [2] <input type="checkbox"/> アニメーション論 [2] <input type="checkbox"/> デジタル表現論 [2]	
特殊講義			<input type="checkbox"/> 現代文化表現学特殊講義 (イメージ) C [2] <input type="checkbox"/> 現代文化表現学特殊講義 (ポピュラーカルチャー) A [2] <input type="checkbox"/> 現代文化表現学特殊講義 (ポピュラーカルチャー) B [2]	
特殊演習			<input type="checkbox"/> ライティング特殊演習 (メディア) B [1] <input type="checkbox"/> ライティング特殊演習 (批評) B [1]	
実習			<input type="checkbox"/> デジタル表現実習 [1] <input type="checkbox"/> マンガ・イラスト制作実習 [1] <input type="checkbox"/> 写真表現実習 [1]	
演習			<input type="checkbox"/> 現代文化表現学 演習 I A [必1] <input type="checkbox"/> 現代文化表現学 演習 I B [必1]	<input type="checkbox"/> 現代文化表現学 演習 II A [必1] <input type="checkbox"/> 現代文化表現学 演習 II B [必1]
卒業論文・卒業研究				<input type="checkbox"/> 卒業論文・卒業研究 [必2]
学部共通専門科目				
自学科専門科目	<input type="checkbox"/> 現代社会と文化表現 [2] <input type="checkbox"/> 現代メディア表現論 [2]		<input type="checkbox"/> ライティング特殊演習 (編集) A [1] <input type="checkbox"/> ライティング特殊演習 (情報発信) B [1] <input type="checkbox"/> スポーツ文化論 [2] <input type="checkbox"/> 現代文化表現学特殊講義 (身体) A [2] <input type="checkbox"/> 現代文化表現学特殊講義 (ポピュラーカルチャー) C [2] <input type="checkbox"/> 現代文化表現学特殊講義 (社会) B [2]	
他学科専門科目	<input type="checkbox"/> 放送文化史 [2]		<input type="checkbox"/> 実践英語 (アニメ・マンガ英語) [1] <input type="checkbox"/> 実践英語 (歌詞英語) [1]	
他学部専門科目			<input type="checkbox"/> 音楽芸術産業論 [2]	
単位数	21		47	

※[]内の数字は単位数

■ デザイン&ファッション (デザイン、ファッション等の業界を目指す)

区分	1年	2年	3年	4年
総論	<input type="checkbox"/> 文化表現基礎論 [必2] <input type="checkbox"/> 現代文化概論 [必2]			
	<input type="checkbox"/> デザイン文化論 [2] <input type="checkbox"/> ファッション文化論 [2]			
研究入門		<input type="checkbox"/> 現代文化表現学研究入門 A~H [必2] × 2		
基礎実習	<input type="checkbox"/> ブック・デザイン基礎実習 [1] <input type="checkbox"/> アート&デザイン基礎実習 [1]			
各論			<input type="checkbox"/> 女性と文化表現 [2] <input type="checkbox"/> 文化社会学 [2] <input type="checkbox"/> 写真論 [2] <input type="checkbox"/> 現代建築文化論 [2] <input type="checkbox"/> コマーシャル表現論 [2] <input type="checkbox"/> 現代日本のアートと批評 [2] <input type="checkbox"/> 現代日本のファッション [2] <input type="checkbox"/> 現代日本のデザイン [2]	
特殊講義			<input type="checkbox"/> 現代文化表現学特殊講義 (イメージ) A [2] <input type="checkbox"/> 現代文化表現学特殊講義 (身体) A [2] <input type="checkbox"/> 現代文化表現学特殊講義 (社会) A [2]	
特殊演習			<input type="checkbox"/> ライティング特殊演習 (編集) A [1] <input type="checkbox"/> ライティング特殊演習 (編集) B [1]	
実習			<input type="checkbox"/> ブック・デザイン実習 [1] <input type="checkbox"/> アート&デザイン実習 [1]	
演習			<input type="checkbox"/> 現代文化表現学 演習 I A [必1] <input type="checkbox"/> 現代文化表現学 演習 I B [必1]	<input type="checkbox"/> 現代文化表現学 演習 II A [必1] <input type="checkbox"/> 現代文化表現学 演習 II B [必1]
卒業論文・卒業研究				<input type="checkbox"/> 卒業論文・卒業研究 [2]
学部共通専門科目	<input type="checkbox"/> 装いの心理学 [2]			
自学科専門科目	<input type="checkbox"/> 現代社会と文化表現 [2] <input type="checkbox"/> 現代アート論 [2] <input type="checkbox"/> 写真表現基礎実習 [1]		<input type="checkbox"/> ポピュラー音楽論 [2] <input type="checkbox"/> ライティング特殊演習 (情報発信) B [1] <input type="checkbox"/> 写真表現実習 [1] <input type="checkbox"/> 現代文化表現学特殊講義 (イメージ) C [2] <input type="checkbox"/> 現代文化表現学特殊講義 (ポピュラーカルチャー) C [2] <input type="checkbox"/> 現代文化表現学特殊講義 (社会) C [2]	
他学科専門科目				
他学部専門科目			<input type="checkbox"/> ファッションデザイン [2] <input type="checkbox"/> ファッションビジネス [2]	
単位数	21		46	

※ []内の数字は単位数

Ⅱ-3

文学部 コミュニケーション文化学科 専門科目の履修

卒業に必要な専門科目の単位数は、前期課程20単位、後期課程46単位の所定修得単位数を含む66単位で、最低修得単位数は下記のとおりです。

科目区分		修得要件	備考
前期課程	総論（自学科）	6単位以上	
	研究入門（自学科）	4単位	
	基礎演習	2単位	
	文学部共通専門科目	選択	
前期課程合計		20単位以上	前期課程要件12単位を修得し、加えて前期課程の学部専門科目（学部共通専門科目、自学科専門科目または他学科専門科目）8単位以上を修得する。この8単位の中に、他学部専門科目を4単位まで含めることができる。なお20単位を超えて修得した単位を後期課程の学部専門科目として算入することはできない。
後期課程	各論（自学科）	18単位以上	各論、および文学部共通専門科目と合わせて、合計18単位以上修得する。
	特殊講義（自学科）	2単位以上	
	特殊演習（自学科）	4単位以上	
	実習（自学科）	2単位以上	
	演習	4単位	「コミュニケーション文化学演習ⅠA」 「コミュニケーション文化学演習ⅠB」 「コミュニケーション文化学演習ⅡA」 「コミュニケーション文化学演習ⅡB」
	卒業論文・卒業研究	2単位	
	文学部共通専門科目	選択	
後期課程合計		46単位以上	後期課程要件32単位を修得し、加えて後期課程の学部専門科目（学部共通専門科目、自学科専門科目または他学科専門科目）14単位以上を修得する。この14単位の中に、他学部専門科目を8単位まで含めることができる。なお、後期課程で修得した前期課程の学部専門科目及び他学部専門科目の単位を算入することはできない。
合計修得単位数		66単位以上	

1 コミュニケーション文化学科の教育方法と基本姿勢

コミュニケーション文化学科の専門科目は、「コミュニケーション理論」「日本語コミュニケーション」「英語コミュニケーション」をカリキュラムの3つの柱としています。前期課程・後期課程とも、必修科目以外は、一定の条件のもとで自由に選択することができます。

先にのべたカリキュラムの3つの柱にもとづいて開設されている専門科目は、いずれも幅広いコミュニケーション能力を身につけることを目標としており、「コミュニケーション理論」「日本語コミュニケーション」「英語コミュニケーション」の3つの履修モデルを設定しています。

「コミュニケーション理論」履修モデルでは、コミュニケーションの理論と実践を幅広く学び、総合的な対応力を身につけて、多文化との共生をめざします。

「日本語コミュニケーション」履修モデルでは、日本語を中心としたコミュニケーション能力を多様な実践と理論によって磨き、またマスメディアに関する知識・技能も学びます。

「英語コミュニケーション」履修モデルでは、多文化社会が広がるなかで、英語を中心としたコミュニケーション能力を伸ばして、グローバル化に対応する人材を育てます。

4年間に、どのような分野の知識や技能を、どの程度身につけたいかを念頭におきながら学修計画をたてましょう。その際、アカデミックアドバイザーの助言も役立ててください。

2 前期課程（第1 Semester～第4 Semester）における注意点

[1] 第1・2 Semester [1年次]

前期課程では、時間割作成にあたって、まず必修科目および全学共通科目でクラス指定されている科目を配置し、空いているところを他の科目で埋めるといった手順をとると良いでしょう。総論は、4年間の学修の基礎となる講義科目であり、前期課程のうちに6単位以上を修得しなければなりません。総論科目は、すべて選択科目です。

1年次必修科目には「基礎演習」があり、「日本語コミュニケーションスキル（会話）」と「英語コミュニケーションスキル（会話）」（各1単位）の2科目をとおして、日本語での筋道をたてた話し方と聞き方、英語でのスピーチ力やコミュニケーション力を高めます。

第2 Semester（1年次秋学期）においては、2年次必修科目の「研究入門」の履修希望調査（所属クラスの事前振り分け）が行われますので調査に応じてください。

[2] 第3・4 Semester [2年次]

前期課程で履修すべき必修科目と選択必修科目が第4 Semesterまでにもれなく修得できるように履修計画を立てましょう。

2年次の必修科目は、3年次以降に各自が学修・研究するための基礎的能力を身につける「コミュニケーション文化学研究入門」です。

第4 Semester（2年次秋学期）においては、後期課程3年次の必修科目「コミュニケーション文化学演習 I A・I B」の履修希望調査（所属クラスの事前振り分け）を行うので、必ず調査に応じてください。

3 後期課程（第5 Semester～第8 Semester）における注意点

[1] 第5・6 Semester [3年次]

第5 Semesterから履修できる専門科目として、「各論」「特殊講義」「特殊演習」「実習」「演習」があります。

各論は「コミュニケーション理論関係群」の6科目、「日本語コミュニケーション関係群」の7科目、「英語コミュニケーション関係群」の9科目（うち4科目は授業使用言語は英語）の合計22科目から選択します。各論と文学部共通専門科目からあわせて18単位以上修得することが卒業要件です。

「特殊講義」から2単位以上、「特殊演習」から4単位以上、および「実習」から2単位以上修得することも卒業要件です。

3年次必修の演習科目は、「コミュニケーション文化学演習ⅠA・ⅠB」（各1単位）です。「コミュニケーション文化学演習ⅠA・ⅠB」については、2年次秋学期に履修希望調査をあらかじめ行い、所属するクラス（担当教員）を決めます。通常は「コミュニケーション文化学演習ⅠA・ⅠB」および「コミュニケーション文化学演習ⅡA・ⅡB」の担当教員が3年次および4年次のアカデミックアドバイザーになります。また、3年次の「コミュニケーション文化学演習ⅠA・ⅠB」から4年次の「コミュニケーション文化学演習ⅡA・ⅡB」に移行する際には、同じ教員の演習を履修することを原則としています。

[2] 第7・8 Semester [4年次]

4年次必修の演習科目「コミュニケーション文化学演習ⅡA・ⅡB」（各1単位）および「卒業論文・卒業研究」は、それまで積み重ねてきた学修を集大成する科目として最も重要な科目です。担当教員の指導のもと、第7・8 Semesterを通じて卒業論文または卒業研究に取り組み、4年間の学修と研究の成果をまとめます。なお、「卒業論文・卒業研究」は4年次の必修科目です。

3年次に「コミュニケーション文化学演習ⅠA・ⅠB」を履修登録しながら単位を修得できなかった学生に限り、4年次において「コミュニケーション文化学演習ⅠA・ⅠB」を履修することが認められています。

これらの「後期課程要件」32単位に加えて、後期課程の文学部専門科目（文学部共通専門科目、自学科または他学科専門科目）を14単位以上修得することが、卒業するために必要です。このうち8単位まで、他学部後期課程の専門科目から履修し修得することができます。

なお、前期課程生として修得した単位を後期課程に振り替えることはできないので注意してください。

4年次は就職活動時期が授業期間に重なる場合が多々あります。就職活動を優先させるあまりに、学修がおろそかにならないように注意してください。

4 コミュニケーション文化学科 開設科目と履修モデル

[1] 専門科目の種類と履修年次

66単位以上

区 分	1年	2年	3年	4年
総論・各論	総論 (6単位以上)		各論・文学部共通専門科目 (18単位以上)	
特殊講義			特殊講義 (2単位以上)	
研究入門・演習		コミュニケーション文化学研究 入門A~F (必修4単位)	コミュニケーション文化学演習 I A・I B (必修2単位)	コミュニケーション文化学演習 II A・II B (必修2単位)
基礎演習・特殊演習・実習	基礎演習 (必修2単位)		特殊演習 (4単位以上) 実習 (2単位以上)	
自学科専門科目・ 他学科専門科目・ 他学部専門科目	他学部専門科目は4単位まで		他学部専門科目は8単位まで	
卒業論文・卒業研究				卒業論文・卒業研究 (必修2単位)
単位数	20		46	

[2] 履修モデルとその核となる科目

専門科目の3つの履修モデルをまとめてあります。履修計画を立てる際の参考にしてください。

■ ①コミュニケーション理論

(コミュニケーションの理論と実践を幅広く学び、多文化との共生をめざす)

区 分	1年	2年	3年	4年
総論・各論	<input type="checkbox"/> コミュニケーション文化概論 [2] <input type="checkbox"/> コミュニケーションの倫理 [2] <input type="checkbox"/> 言語コミュニケーション論 [2] <input type="checkbox"/> 非言語コミュニケーション論 [2]		<input type="checkbox"/> 語用論 [2] <input type="checkbox"/> 社会言語学 [2] <input type="checkbox"/> メディア言語論 [2] <input type="checkbox"/> 言語理解論 [2] <input type="checkbox"/> 聴覚コミュニケーション論 [2] <input type="checkbox"/> 視覚コミュニケーション論 [2] <input type="checkbox"/> 対人コミュニケーション論 [2] <input type="checkbox"/> 現代コミュニケーション論 [2] <input type="checkbox"/> コミュニケーション障害論 [2] <input type="checkbox"/> シンボル表現論 [2] <input type="checkbox"/> 世代別コミュニケーション論 [2] <input type="checkbox"/> 国際コミュニケーション論 [2]	
特殊講義			<input type="checkbox"/> コミュニケーション文化学特殊講義 (コミュニケーション論) [2]	
研究入門・演習		<input type="checkbox"/> コミュニケーション文化学研究入門A-F×2 [必4]	<input type="checkbox"/> コミュニケーション文化学演習ⅠA [必1] <input type="checkbox"/> コミュニケーション文化学演習ⅠB [必1]	<input type="checkbox"/> コミュニケーション文化学演習ⅡA [必1] <input type="checkbox"/> コミュニケーション文化学演習ⅡB [必1]
基礎演習・特殊演習・実習	<input type="checkbox"/> 日本語コミュニケーションスキル(会話) [必1] <input type="checkbox"/> 英語コミュニケーションスキル(会話) [必1]		<input type="checkbox"/> 実践日本語(文章表現) [1] <input type="checkbox"/> 実践日本語(音声表現) [1] <input type="checkbox"/> 実践英語(インターネット英語) [1] <input type="checkbox"/> 実践英語(多読) [1] <input type="checkbox"/> 手話 [1] <input type="checkbox"/> プレゼンテーション [1]	
文学部共通専門科目・他学科専門科目・他学部専門科目	<input type="checkbox"/> レトリック概論 [2] <input type="checkbox"/> 言語学概論 [2] <input type="checkbox"/> 文化表現基礎論 [2]		<input type="checkbox"/> 言語哲学 [2] <input type="checkbox"/> コミュニケーション心理学 [2] <input type="checkbox"/> 色彩象徴論 [2] <input type="checkbox"/> 国際文化交流 [2]	
卒業論文・卒業研究				<input type="checkbox"/> 卒業論文・卒業研究 [必2]
単位数	20		46	

※[]内の数字は単位数

■ ②日本語コミュニケーション

(日本語のコミュニケーション能力を磨き、マスメディアに関する知識・技能を学ぶ)

区分	1年	2年	3年	4年
総論・各論	<input type="checkbox"/> コミュニケーション文化概論 [2] <input type="checkbox"/> コミュニケーションの倫理 [2] <input type="checkbox"/> 日本語コミュニケーション論 [2] <input type="checkbox"/> マスコミ論 [2] <input type="checkbox"/> 放送文化史 [2]		<input type="checkbox"/> 語用論 [2] <input type="checkbox"/> 社会言語学 [2] <input type="checkbox"/> メディア言語論 [2] <input type="checkbox"/> 聴覚コミュニケーション論 [2] <input type="checkbox"/> 視覚コミュニケーション論 [2] <input type="checkbox"/> 対人コミュニケーション論 [2] <input type="checkbox"/> 現代コミュニケーション論 [2] <input type="checkbox"/> コミュニケーション障害論 [2] <input type="checkbox"/> シンボル表現論 [2] <input type="checkbox"/> 世代別コミュニケーション論 [2] <input type="checkbox"/> ジェンダー・コミュニケーション論 [2] <input type="checkbox"/> 丁寧語・敬語研究 [2] <input type="checkbox"/> 国際メディア論 [2]	
特殊講義			<input type="checkbox"/> コミュニケーション文化学特殊講義 (日本語コミュニケーション) [2]	
研究入門・演習		<input type="checkbox"/> コミュニケーション 文化学研究入門A-F× 2 [必4]	<input type="checkbox"/> コミュニケーション 文化学演習 I A [必1] <input type="checkbox"/> コミュニケーション 文化学演習 I B [必1]	<input type="checkbox"/> コミュニケーション 文化学演習 II A [必1] <input type="checkbox"/> コミュニケーション 文化学演習 II B [必1]
基礎演習・ 特殊演習・ 実習	<input type="checkbox"/> 日本語コミュニケーションスキル (会話) [必1] <input type="checkbox"/> 英語コミュニケーションスキル (会話) [必1]		<input type="checkbox"/> 実践日本語 (文章表現) [1] <input type="checkbox"/> 実践日本語 (音声表現) [1] <input type="checkbox"/> 実践日本語 (発声法) [1] <input type="checkbox"/> 実践日本語 (敬語) [1] <input type="checkbox"/> 実践日本語 (グループディスカッション) [1] <input type="checkbox"/> 実践日本語 (コミュニケーション調査法) [1] <input type="checkbox"/> 点字 [1] <input type="checkbox"/> アナウンス [1] <input type="checkbox"/> インタビュー [1] <input type="checkbox"/> ナレーション [1]	
文学部共通専門科目・ 他学科専門科目・ 他学部専門科目	<input type="checkbox"/> レトリック概論 [2] <input type="checkbox"/> コマーシャル表現論 [2]		<input type="checkbox"/> 朗読法 [2] <input type="checkbox"/> 広報マネジメント [2]	
卒業論文・卒業研究				<input type="checkbox"/> 卒業論文・卒業研究 [必2]
単位数	20		48	

※ []内の数字は単位数

■ ③英語コミュニケーション

(英語のコミュニケーション能力を高めて、グローバル人材をめざす)

区分	1年	2年	3年	4年
総論・各論	<input type="checkbox"/> コミュニケーション文化概論 [2] <input type="checkbox"/> コミュニケーションの倫理 [2] <input type="checkbox"/> 英語コミュニケーション論 [2] <input type="checkbox"/> 異文化コミュニケーション論 [2] <input type="checkbox"/> 多文化社会論 [2]		<input type="checkbox"/> 語用論 [2] <input type="checkbox"/> メディア言語論 [2] <input type="checkbox"/> 対人コミュニケーション論 [2] <input type="checkbox"/> 現代コミュニケーション論 [2] <input type="checkbox"/> シンボル表現論 [2] <input type="checkbox"/> 国際コミュニケーション論 [2] <input type="checkbox"/> 国際メディア論 [2] <input type="checkbox"/> 異文化研究 [2] <input type="checkbox"/> 言語社会研究 (欧米) [2] <input type="checkbox"/> 言語社会研究 (アジア) [2] <input type="checkbox"/> 世界若者事情 [2] <input type="checkbox"/> 世界英語事情 [2] <input type="checkbox"/> 世界教育事情 [2] <input type="checkbox"/> 世界マスコミ事情 [2]	
特殊講義			<input type="checkbox"/> コミュニケーション文化学特殊講義 (英語コミュニケーション) [2]	
研究入門・演習		<input type="checkbox"/> コミュニケーション文化学研究入門A-F×2 [必4]	<input type="checkbox"/> コミュニケーション文化学演習ⅠA [必1] <input type="checkbox"/> コミュニケーション文化学演習ⅠB [必1]	<input type="checkbox"/> コミュニケーション文化学演習ⅡA [必1] <input type="checkbox"/> コミュニケーション文化学演習ⅡB [必1]
基礎演習・特殊演習・実習	<input type="checkbox"/> 日本語コミュニケーションスキル (会話) [必1] <input type="checkbox"/> 英語コミュニケーションスキル (会話) [必1]		<input type="checkbox"/> 実践英語 (インターネット英語) [1] <input type="checkbox"/> 実践英語 (アニメ・マンガ英語) [1] <input type="checkbox"/> 実践英語 (コマーシャル英語) [1] <input type="checkbox"/> 実践英語 (映画英語) [1] <input type="checkbox"/> 実践英語 (歌詞英語) [1] <input type="checkbox"/> 実践英語 (スポーツ英語) [1] <input type="checkbox"/> 手話 [1] <input type="checkbox"/> 点字 [1]	
文学部共通専門科目・他学科専門科目・他学部専門科目	<input type="checkbox"/> 英語実用文法 [2] <input type="checkbox"/> レトリック概論 [2]		<input type="checkbox"/> 現代アメリカ社会 [2] <input type="checkbox"/> 現代ヨーロッパ社会 [2]	
卒業論文・卒業研究				<input type="checkbox"/> 卒業論文・卒業研究 [必2]
単位数	20		48	

※[]内の数字は単位数

マネジメント学部

マネジメント学科／

生活環境マネジメント学科の専門科目の履修全般について

1 専門科目の履修方法

卒業要件である124単位のうち、専門科目を前期課程（1・2年次）で20単位以上、後期課程（3・4年次）で46単位以上、あわせて66単位以上修得しなければなりません。下記の科目区分ごとに修得すべき単位数が学科別に定められているので、注意が必要です。

■ マネジメント学部専門科目・前期課程進級要件

科目区分	マネジメント学科 修得単位数	生活環境マネジメント学科 修得単位数
マネジメント学部 共通専門科目	6単位	
基幹科目（自学科）	6単位	6単位
修得単位数	上記要件を含み20単位以上 なお、20単位を超えて修得した単位を後期課程の学部専門科目として算入することはできない。	

■ マネジメント学部専門科目・後期課程修得要件

科目区分	マネジメント学科 修得単位数	生活環境マネジメント学科 修得単位数
マネジメント学部 共通専門科目	26単位	26単位
展開科目（自学科）		
演習	4単位	4単位
卒業論文・卒業研究	2単位	2単位
修得単位数	上記要件を含み46単位以上 なお、後期課程で修得した前期課程の学部専門科目及び学部共通専門科目並びに他学部専門科目の単位を算入することはできない。 ただし、後期課程生として修得した前期課程の自学科基幹科目6単位を含めることができる。	

2 マネジメント学部の教育方法に関する基本的考え方

マネジメント学部は、「学生自身が、自らの興味・関心・才能に基づき、『自らの将来の夢や進路』を出来るだけ早期に見つけ、その夢や進路を実現するために、適切かつ効果的・体系的な履修を行わせることが極めて重要である。」と考えています。

そのため、教育方法として代表的な各分野の履修モデルを用意するとともに、各教員によるキャリア・アドバイスと履修についてのアカデミック・アドバイスを一体的に行う、アカ

デミックアドバイザー制度を用意するなど、様々な独自のサポート制度を用意しています。

マネジメント学部専門科目では、マネジメントに関する専門的な知識や能力を身につけます。みなさんが社会に出て「マネジメント学部を卒業した」と称するためには専門科目の履修を通じてその分野の専門的な能力を養う必要があります。専門科目の内容を修得することは「マネジメント学部で学ぶ」ことそのものであり、大学での学びの中心部分であることを十分に認識してください。また、2年次の必修科目である「インターンシップ」など、「実践的な学びの場」が設けられていますので、十分に活用してください。

3 科目区分の内容説明

(『学生便覧』「教育課程(平成31(2019)年度以降の入学生適用)Ⅲ. マネジメント学部」参照)

「マネジメント学部共通専門科目」……マネジメント学科と生活環境マネジメント学科との間で共通する専門科目のことを指します。1年次で履修する「マネジメント学入門」、2年次で履修する「実践ゼミナールA・B」「インターンシップ」などを含みます。

「基幹科目」……前期課程において各分野におけるマネジメントに関する基礎的な知識と理論を学ぶための科目群です。

「展開科目」……後期課程において各分野におけるマネジメントについて専門的・発展的に学ぶための科目群です。

「演習」……後期課程において3年次、4年次で開講される「展開ゼミナールⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB」(マネジメント学科)、「生活環境マネジメント学演習ⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB」(生活環境マネジメント学科)(いずれも卒業必修単位)を指します。

「卒業論文・卒業研究」……積み重ねてきた学修を踏まえて、指導教員のサポートを得ながら、自分で見出した課題を具体的な論文や研究にまとめ上げることに挑みます。

4 前期課程(第1 Semester～第4 Semester)における履修の方法と注意点

[1] 「マネジメント」を学ぶための基礎を身につける

前期課程では、マネジメント学部で学ぶ専門科目のうち、基礎となる科目の履修を目標とします。後期課程において、企業・公共・文化・衣食住・社会生活・環境など、いずれの履修モデルのコースの展開科目を履修する場合であっても、前期課程において共通の基礎を身につけるための基幹科目の履修が望まれます。そこでマネジメント学部では、それぞれの学科に必修科目を設けました。そのほか、高校時代に政治経済などの科目を履修していない、または不得意であるという学生のために、「社会科学入門」(2単位)、「ニュースで学ぶ現代社会」(2単位)という科目をマネジメント学部共通専門科目に置きました。必修科目ではありませんが、政治経済などの知識に不安のある学生には、履修をお勧めします。

[2] 専門性と学問の広がり基礎を学ぶ

前期課程では、マネジメント力の共通の基礎を修得するとともに、各自が希望する将来の進路の方向性にあわせて、履修モデル（後述）を参考にしながら、自由に基幹科目を選んでください。また興味や学問の幅を広げるために、他学部やマネジメント学部他学科の履修も認められています。ただし、マネジメント学部の卒業要件として認められるのは、前期課程においては、他学部専門科目は4単位まで、マネジメント学部他学科専門科目は8単位までです。

5 後期課程（第5セメスター～第8セメスター）における履修の方法と注意点

[1] 専門性の柱を立てて学ぶ

文京キャンパスで開講される後期課程では、自分のキャリアを見据え、関心のある科目を選択しましょう。ただし、ここで重要な点は、将来の自分のキャリアに必要な専門性を身に付けることです。興味があって面白いからといって、異なる学問分野に属する科目を履修していたのでは専門性の柱はできません。履修モデル（後述）を参考にして、それぞれのコースに例示されている科目群の中から、自分の専門性を磨くための科目を選び、自分だけの履修計画を立ててください。不明な点、迷う点などが出てきた場合は、アカデミックアドバイザー教員に相談しましょう。

また、後期課程では、**演習（3年次、4年次）、卒業論文・卒業研究（4年次）が必修科目となります。**なお、優秀な卒業論文・卒業研究を表彰する制度もあります。

[2] 後期課程の履修上の注意点

卒業要件として後期課程では、マネジメント学部共通専門科目（後期課程）およびマネジメント学部自学科展開科目から26単位以上を修得することが必要です。さらに演習科目「展開ゼミナールⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB」「生活環境マネジメント学演習ⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB」「卒業論文・卒業研究」の6単位を含め、合計46単位以上が必要となります。この46単位のなかに他学部専門科目については8単位、マネジメント学部他学科専門科目については14単位を上限に、卒業要件として含めることができます。

6 実践ゼミナール・インターンシップ

[1] 目的

2年次には、全員が必修科目である「実践ゼミナールA・B」「インターンシップ」を履修します。「実践ゼミナール」は、基幹科目によって身につけた知識を前提としつつ、より実践的な学びの場を目指す、少人数のゼミナール形式で学ぶ科目です。企業・公共・文化・衣食住・社会生活・環境の各分野におけるマネジメントの活動を対象とする研究を行います。「インターンシップ」では、原則として夏季休暇期間に、企業、自治体、団体などの組織において実施されるインターンシップに参加することによって、実践的な力を養います。「実践ゼミナールA・B」「インターンシップ」は、マネジメント学部での学びにおいて、各学生が自分

の「専門性の柱」を立てる前提として重要な科目です。なお、2年次では、「実践ゼミナール」の担当教員が原則、アカデミックアドバイザーとなります。

[2] 履修登録の方法

「実践ゼミナールA・B」では、企業・公共・文化・衣食住・社会生活・環境の各分野に分かれてゼミが開講されます。「実践ゼミナール」は学部共通科目であるため、所属する学科以外の学科の教員の開講するゼミナールを履修することも可能です。

「実践ゼミナールA・B」の募集・選考手続きは、1年次の秋学期中に実施します。募集・選考方法の詳細は、9月の秋学期ガイダンス時に説明するほか、提出物の締切り等の案内はポータルへの掲示によって告知されますので、見落としてしまうことがないように、十分気を付けてください。履修登録は選考の結果を基に教務課が行います。

7

「展開ゼミナール」(マネジメント学科)

「生活環境マネジメント学演習」(生活環境マネジメント学科) について

演習は、3年次および4年次に必修科目として開講され、2年間にわたり合計4単位が卒業要件となります。その内容は、より専門的かつ先端的なマネジメントの研究分野において、学生一人一人が「現実社会における諸問題の解決」を目的とする実践的な取り組みを行い、これを教員が支援するものです。原則として、3～4年次の演習科目の担当教員が、アカデミックアドバイザーとなります。「展開ゼミナールIA・IB・IIA・IIB」「生活環境マネジメント学演習IA・IB・IIA・IIB」の履修に向けた募集・選考手続きは、2年次の秋学期に実施します。募集・選考方法の詳細は、ポータルへの掲示によって告知されますので、見落としてしまうことがないように、十分気を付けてください。

8

キャリアデザイン講演会

マネジメント学部では、学部における教育の基本的考え方を実現し、みなさんの大学での「学び」を有意義で豊かなものとするために、様々なプログラムを用意しています。そのうち、専門科目の履修と関わりの深いプログラムとして実施されるのが、キャリアデザイン講演会です。

原則として Semester ごとに1回ずつ行われるキャリアデザイン講演会では、学生が自らの将来の進路を早期に見出し、効果的な履修を行うことが出来るようにするために、各分野で活躍している方々を講師にお招きしてお話をうかがいます。これらは、2年次に必修科目として履修する「実践ゼミナール」「インターンシップ」とも連携して、共通の目的で行われるプログラムです。必ず全員が参加してください(1年生の参加も歓迎します)。詳細な日程は、別途アナウンスします。

マネジメント学部 マネジメント学科 専門科目の履修

卒業に必要な専門科目の単位数は、前期課程 20 単位、後期課程 46 単位の所定修得単位数を含む 66 単位で、最低修得単位数は下記のとおりです。

科目区分		修得要件	備考
前期課程	基幹科目（自学科）	6 単位以上	選択必修「企業マネジメント入門」「公共マネジメント入門」「文化マネジメント入門」から 4 単位以上を含む
	マネジメント学部 共通専門科目	6 単位以上	「マネジメント学入門」 2 単位、 「実践ゼミナール A」 1 単位、 「実践ゼミナール B」 1 単位、 「インターンシップ」 2 単位は必修
前期課程合計		20 単位以上	前期課程要件 12 単位を修得し、加えて前期課程の学部専門科目（学部共通専門科目、自学科専門科目または他学科専門科目） 8 単位以上を修得する。この 8 単位の中に、他学部専門科目を 4 単位まで含めることができる。なお、20 単位を超えて修得した単位を後期課程の学部専門科目として算入することはできない。
後期課程	展開科目（自学科）	26 単位以上	
	マネジメント学部共通専門科目		
	演習	4 単位	「展開ゼミナール I A」 1 単位、 「展開ゼミナール I B」 1 単位、 「展開ゼミナール II A」 1 単位、 「展開ゼミナール II B」 1 単位、は必修
	卒業論文・卒業研究	2 単位	「卒業論文・卒業研究」 2 単位は必修
後期課程合計		46 単位以上	上記後期課程要件 32（= 26 + 4 + 2）単位を修得し、加えて後期課程の学部専門科目（学部共通専門科目、自学科専門科目または他学科専門科目） 14 単位以上を修得する。この 14 単位の中に、他学部専門科目を 8 単位まで含めることができる。なお、後期課程で修得した前期課程の学部専門科目の単位を算入することはできない。ただし、後期課程生として修得した前期課程の自学科基幹科目 6 単位を含めることができる。
合計修得単位数		66 単位以上	

1 マネジメント学科の教育方法と基本姿勢

マネジメント学科では、企業・公共・文化の幅広い領域でマネジメントを担う専門的な知識と技能を備えた人材の養成を目的としています。この目的を達成するため、社会に関する幅広い事柄を対象に、深い考察と実践を繰り返すことにより、学士にふさわしい知性を身に

つけることが重要だと考えています。

【参考】マネジメント学科の履修モデルと想定される職業の概要

○企業マネジメントコース

(企業経営に関する実用的なマネジメント能力を身につける)

- 一般企業の管理部門、営業部門
- 外資系企業を含む企業の総合職
- マネジメント専門職（公認会計士、税理士、ファイナンシャルプランナーなど）
- 情報（IT）専門職（システムアドミニストレーターなどの専門職）
- ベンチャー経営（ベンチャーをはじめSOHOなどの起業家）

○公共マネジメントコース

(公務員、NPOや国際機関の職員など、公共部門でのマネジメント能力を身につける)

- 一般企業の公益部門
- マスコミの報道部門
- 公務員（国家・地方公務員、特殊法人、独立行政法人、シンクタンクなど）
- 国際関係職員（国際機関、行政機関国際部門、ODA機関などの職員）
- 法務専門職（司法書士、行政書士、社会保険労務士などの専門職）

○文化マネジメントコース

(文化産業・文化政策に関する知識とマネジメント能力を身につける)

- 一般企業の広報、マーケティング部門
- 行政機関文化部門、芸術文化施設などの職員、学芸員
- 民間劇場・ホール、プロデュース・興行会社など
- マスコミに関する職業
- 行政機関の国際文化交流部門、国際文化交流機関

2 マネジメント学科 開設科目と履修モデル

[1] 専門科目の種類と履修年次

66単位以上

区分	1年	2年	3年	4年
学部共通専門科目 (必修)	マネジメント学 入門 (2単位)	実践ゼミナールA (1単位) 実践ゼミナールB (1単位) インターンシップ(2単位)		
基幹科目(前期)・ 展開科目(後期)・ 学部共通専門科目 (後期)	基幹科目 (6単位以上 選択必修4単位含む)		展開科目・学部共通専門科目(後期) (26単位以上)	
展開ゼミナール(必修)			4単位	
卒業論文・卒業研究(必修)				2単位
自学科専門科目・ マネジメント学部 共通専門科目・ 他学科専門科目・ 他学部専門科目	8単位以上 (他学部専門科目は4単位まで)		14単位以上 (他学部専門科目は8単位まで)	
必要単位数	20		46	

[2] 履修モデルとカリキュラムツリー

専門科目の履修モデルとして、3つのコースをまとめてあります。必ずしもこの通りに履修する必要はありませんが、履修計画を立てる際の参考にしてください。

カリキュラムツリーとは、学科で身に付けるべき知識・能力を得るために、授業科目間の関係性や配置等を示した履修系統図です。これからの履修計画やこれまでの振り返りの参考にしてください。

履修モデル、カリキュラムツリーともに、履修済みの科目名にチェックするなどして、系統的な履修や幅広い分野からの履修等を把握してみましょう。詳細で気になることがあれば、アカデミックアドバイザー等に相談するとよいでしょう。

■ 企業マネジメントコース

(企業経営に関する実用的なマネジメント能力を身につける)

区 分	1年	2年	3年	4年
学部共通専門科目 (必修)	<input type="checkbox"/> マネジメント学入門 [必2]	<input type="checkbox"/> 実践ゼミナールA [必1] <input type="checkbox"/> 実践ゼミナールB [必1] <input type="checkbox"/> インターンシップ [必2]		
基幹科目(前期)・ 展開科目(後期)・ マネジメント学部 共通専門科目 (後期)	<input type="checkbox"/> 企業マネジメント入門 [選必2] <input type="checkbox"/> 公共マネジメント入門 [選必2] <input type="checkbox"/> 経済学入門 [2]		<input type="checkbox"/> 経営史 [2] <input type="checkbox"/> 経営組織論 [2] <input type="checkbox"/> グローバル経営論 [2] <input type="checkbox"/> マーケティング論 [2] <input type="checkbox"/> 起業論 [2] <input type="checkbox"/> ベンチャー経営論 [2] <input type="checkbox"/> 社会科学と最適化 [2] <input type="checkbox"/> ビジネス倫理 [2] <input type="checkbox"/> マクロ経済学 [2] <input type="checkbox"/> ミクロ経済学 [2] <input type="checkbox"/> アジアの経済 [2] <input type="checkbox"/> マネジメント学 [2] <input type="checkbox"/> マネジメントと女性リーダー [2]	
展開ゼミナール			<input type="checkbox"/> 展開ゼミナールIA [必1] <input type="checkbox"/> 展開ゼミナールIB [必1]	<input type="checkbox"/> 展開ゼミナールIIA [必1] <input type="checkbox"/> 展開ゼミナールIIB [必1]
卒業論文・卒業研究				<input type="checkbox"/> 卒業論文・卒業 研究 [必2]
自学科専門科目・ 他学科専門科目・ 他学部専門科目	<input type="checkbox"/> 文化マネジメント入門 [選必2] <input type="checkbox"/> マーケティング入門 [2] <input type="checkbox"/> 人的資源管理入門 [2] <input type="checkbox"/> 日本経済入門 [2]		<input type="checkbox"/> 経営戦略論 [2] <input type="checkbox"/> 人的資源管理論 [2] <input type="checkbox"/> 国際会計論 [2] <input type="checkbox"/> 国際経済学 [2] <input type="checkbox"/> 労働経済学 [2] <input type="checkbox"/> コーポレートガバナンスと法 [2] <input type="checkbox"/> 消費経済論 [2]	
必要単位数	20		46	

※[]内の数字は単位数

■ 公共マネジメントコース

(公共政策、公益・法務部門に関わる基礎知識とマネジメント能力を身につける)

区分	1年	2年	3年	4年
学部共通専門科目 (必修)	<input type="checkbox"/> マネジメント学入門 [必2]	<input type="checkbox"/> 実践ゼミナールA [必1] <input type="checkbox"/> 実践ゼミナールB [必1] <input type="checkbox"/> インターンシップ [必2]		
基幹科目(前期)・ 展開科目(後期)・ マネジメント学部 共通専門科目 (後期)	<input type="checkbox"/> 企業マネジメント入門 [選必2] <input type="checkbox"/> 公共マネジメント入門 [選必2] <input type="checkbox"/> 憲法入門 [2]		<input type="checkbox"/> 事例で学ぶ憲法 [2] <input type="checkbox"/> 契約法制総論 [2] <input type="checkbox"/> 契約法制各論 [2] <input type="checkbox"/> コーポレートガバナンスと法 [2] <input type="checkbox"/> 不動産法 [2] <input type="checkbox"/> 株式と法 [2] <input type="checkbox"/> 行政法 [2] <input type="checkbox"/> 女性と公共マネジメント [2] <input type="checkbox"/> 地方自治論 [2] <input type="checkbox"/> 政策形成と政策評価 [2] <input type="checkbox"/> 社会政策 [2] <input type="checkbox"/> マネジメント学 [2] <input type="checkbox"/> 日本の財政 [2]	
展開ゼミナール			<input type="checkbox"/> 展開ゼミナールIA [必1] <input type="checkbox"/> 展開ゼミナールIB [必1]	<input type="checkbox"/> 展開ゼミナールIIA [必1] <input type="checkbox"/> 展開ゼミナールIIB [必1]
卒業論文・卒業研究				<input type="checkbox"/> 卒業論文・卒業 研究 [必2]
自学科専門科目・ マネジメント学部 共通専門科目・ 他学科専門科目・ 他学部専門科目	<input type="checkbox"/> 私法入門 [2] <input type="checkbox"/> 民法入門 [2] <input type="checkbox"/> 行政学入門 [2] <input type="checkbox"/> 地方自治論入門 [2]		<input type="checkbox"/> 経済政策 [2] <input type="checkbox"/> 公共経済学 [2] <input type="checkbox"/> マクロ経済学 [2] <input type="checkbox"/> ミクロ経済学 [2] <input type="checkbox"/> 文化の法制度 [2] <input type="checkbox"/> 文化政策 [2] <input type="checkbox"/> 消費者のための法律 [2]	
必要単位数	20		46	

※[]内の数字は単位数

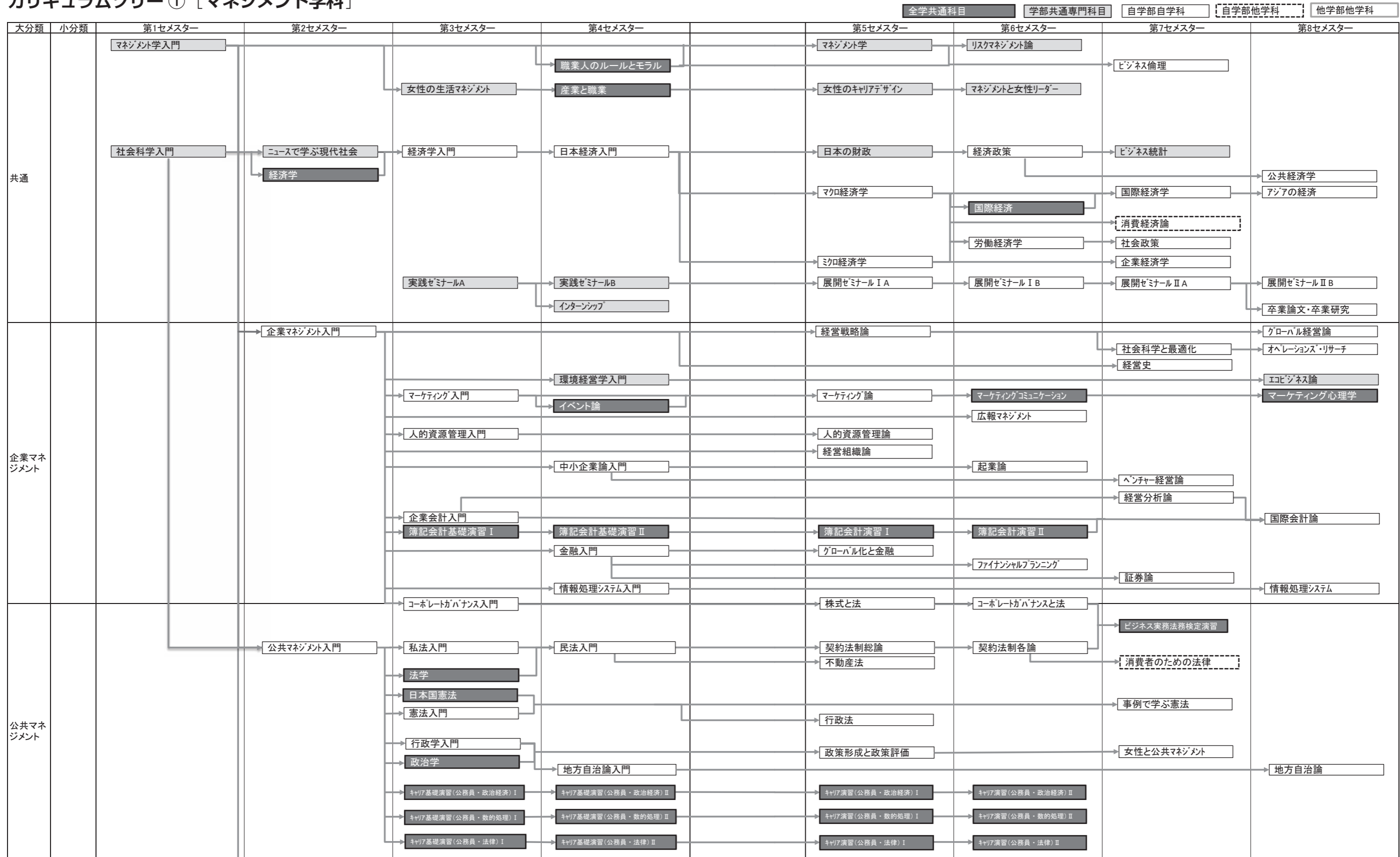
■ 文化マネジメントコース

(文化産業、文化政策に関する知識とマネジメント能力を身につける)

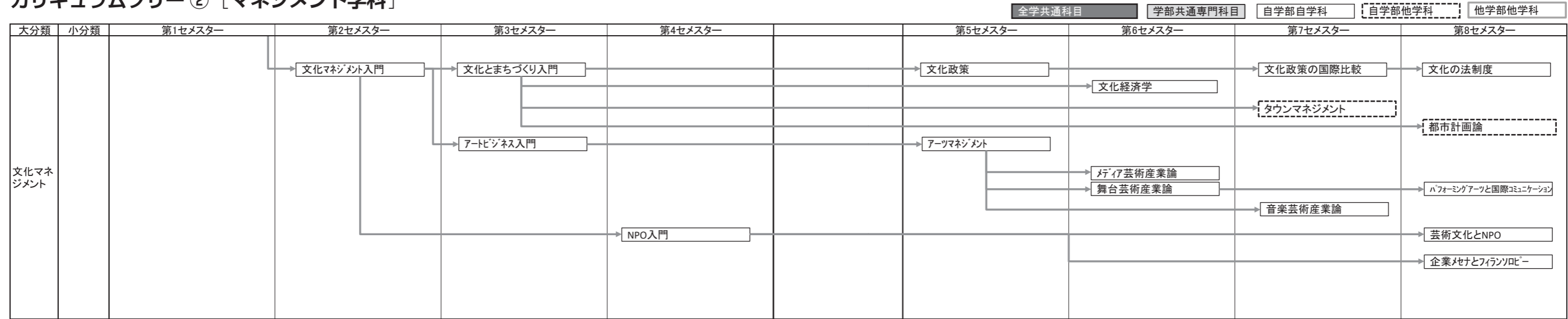
区分	1年	2年	3年	4年
学部共通専門科目 (必修)	<input type="checkbox"/> マネジメント学入門 [必2]	<input type="checkbox"/> 実践ゼミナールA [必1] <input type="checkbox"/> 実践ゼミナールB [必1] <input type="checkbox"/> インターンシップ [必2]		
基幹科目(前期)・ 展開科目(後期)・ マネジメント学部 共通専門科目 (後期)	<input type="checkbox"/> 文化マネジメント入門 [選必2] <input type="checkbox"/> 公共マネジメント入門 [選必2] <input type="checkbox"/> 文化とまちづくり入門 [2]		<input type="checkbox"/> 社会政策 [2] <input type="checkbox"/> アーツマネジメント [2] <input type="checkbox"/> 文化の法制度 [2] <input type="checkbox"/> 文化経済学 [2] <input type="checkbox"/> 文化政策 [2] <input type="checkbox"/> 文化政策の国際比較 [2] <input type="checkbox"/> 芸術文化とNPO [2] <input type="checkbox"/> 企業メセナとフィランソロピー [2] <input type="checkbox"/> 広報マネジメント [2] <input type="checkbox"/> メディア芸術産業論 [2] <input type="checkbox"/> 舞台芸術産業論 [2] <input type="checkbox"/> 音楽芸術産業論 [2] <input type="checkbox"/> マネジメント学 [2]	
展開ゼミナール			<input type="checkbox"/> 展開ゼミナールIA [必1] <input type="checkbox"/> 展開ゼミナールIB [必1]	<input type="checkbox"/> 展開ゼミナールIIA [必1] <input type="checkbox"/> 展開ゼミナールIIB [必1]
卒業論文・卒業研究				<input type="checkbox"/> 卒業論文・卒業 研究 [必2]
自学科専門科目・ マネジメント学部 共通専門科目・ 他学科専門科目・ 他学部専門科目	<input type="checkbox"/> 経済学入門 [2] <input type="checkbox"/> 地方自治論入門 [2] <input type="checkbox"/> アートビジネス入門 [2] <input type="checkbox"/> マーケティング入門 [2]		<input type="checkbox"/> ミクロ経済学 [2] <input type="checkbox"/> 公共経済学 [2] <input type="checkbox"/> 政策形成と政策評価 [2] <input type="checkbox"/> 地方自治論 [2] <input type="checkbox"/> パフォーミングアーツと国際コミュニ ケーション [2] <input type="checkbox"/> 都市計画論 [2] <input type="checkbox"/> 女性のキャリアデザイン [2]	
必要単位数	20		46	

※[]内の数字は単位数

カリキュラムツリー ① [マネジメント学科]



カリキュラムツリー ② [マネジメント学科]



マネジメント学部 生活環境マネジメント学科 専門科目の履修

卒業に必要な専門科目の単位数は、前期課程20単位、後期課程46単位の所定修得単位数を含む66単位で、最低修得単位数は下記のとおりです。

科目区分		修得要件	備考
前期課程	基幹科目（自学科）	6単位以上	必修「生活環境入門」2単位を含む
	マネジメント学部 共通専門科目	6単位以上	「マネジメント学入門」2単位、「実践ゼミナールA」1単位、「実践ゼミナールB」1単位、「インターンシップ」2単位は必修
前期課程合計		20単位以上	前期課程要件12単位を修得し、加えて前期課程の学部専門科目（学部共通専門科目、自学科専門科目または他学科専門科目）8単位以上を修得する。この8単位の中に、他学部専門科目を4単位まで含めることができる。なお、20単位を超えて修得した単位を後期課程の学部専門科目として算入することはできない。
後期課程	展開科目（自学科）	26単位以上	
	マネジメント学部共通専門科目		
	演習	4単位	「生活環境マネジメント学演習ⅠA」1単位、「生活環境マネジメント学演習ⅠB」1単位、「生活環境マネジメント学演習ⅡA」1単位、「生活環境マネジメント学演習ⅡB」1単位は必修。
	卒業論文・卒業研究	2単位	「卒業論文・卒業研究」2単位は必修
後期課程合計		46単位以上	後期課程要件32単位を修得し、加えて後期課程の学部専門科目（学部共通専門科目、自学科専門科目または他学科専門科目）14単位以上を修得する。この14単位の中に、他学部専門科目を8単位まで含めることができる。なお、後期課程で修得した前期課程の学部専門科目の単位を算入することはできない。ただし、後期課程生として修得した前期課程の自学科の基幹科目6単位を含めることができる。
合計修得単位数		66単位以上	

1 生活環境マネジメント学科の教育方法と基本姿勢

生活環境マネジメント学科では、生活環境を健全に維持管理し、地域や国際社会における環境維持活動を担う専門的な知識と技能を備えた人材の養成を目的としています。この目的を達成するため、衣食住を中心とする生活に関連する基礎的な科目を基に、地球環境を守り、持続的に発展する社会をつくる新しいビジネスモデルを学び、学士にふさわしい知性と実践力を身につけることが重要だと考えています。

【参考】生活環境マネジメント学科の履修モデルと想定される職業の概要

○衣食住マネジメントコース

(衣食住を中心とする生活環境に関するマネジメント能力を身につける)

- 外資系を含む一般企業（食品・アパレル・住宅・建築関連メーカー、百貨店等）
- フードコーディネーター、キッチンスペシャリストなど
- 専門職として独立（リビングスタイリスト、インテリアコーディネーター、カラーコーディネーター、マンションリフォームマネジャーなど）
- 住宅産業（マンション管理士、マンションリフォームマネジャー、宅地建物取引士など）
- 福祉住環境コーディネーター

○社会生活マネジメントコース

(社会生活と消費生活に関するマネジメント能力を身につける)

- 消費生活アドバイザー
- 公務員（国家・地方公務員、福祉関係の特殊法人、独立行政法人）
- 保健・福祉関連サービス業（社会福祉協議会、在宅介護会社など）

○環境マネジメントコース

(環境政策と環境経営に関するマネジメント能力を身につける)

- 外資系を含む一般企業への就職
- 環境マネジメント専門職（但し、卒業後一定の実務経験の後に資格取得又は人材登録）：環境カウンセラー、環境プランナー、環境アドバイザー、国家・地方公務員、環境関係独立行政法人、自然環境各団体／NPO職員など
- 国際関係職員（国連、その他国際環境関係機関の職員など）
- 一般企業のCSR部門・環境部門

2 生活環境マネジメント学科 開設科目と履修モデル

[1] 専門科目の種類と履修年次

66単位以上

区分	1年	2年	3年	4年
学部共通専門科目 (必修)	マネジメント学入門 (2単位)	実践ゼミナールA(1単位) 実践ゼミナールB(1単位) インターンシップ(2単位)		
基幹科目(前期)・ 展開科目(後期)・ 学部共通専門科目 (後期)	基幹科目6単位以上 (必修2単位含む)		展開科目・学部共通専門科目(後期) (26単位以上)	
生活環境マネジメント 学演習(必修)			4単位	
卒業論文・卒業研究(必修)				2単位
自学科専門科目・ マネジメント学部 共通専門科目・ 他学科専門科目・ 他学部専門科目	8単位以上 (他学部専門科目は4単位まで)		14単位以上 (他学部専門科目は8単位まで)	
必要単位数	20		46	

[2] 履修モデルとカリキュラムツリー

専門科目の履修モデルとして、将来像にあわせて3つのモデルコースをまとめてあります。必ずしもこの通りに履修する必要はありませんが、履修計画を立てる際の参考にしてください。

カリキュラムツリーとは、学科で身に付けるべき知識・能力を得るために、授業科目間の関係性や配置等を示した履修系統図です。これからの履修計画やこれまでの振り返りの参考にしてください。

履修モデル、カリキュラムツリーともに、履修済みの科目名にチェックするなどして、系統的な履修や幅広い分野からの履修等を把握してみましょう。詳細で気になることがあれば、アカデミックアドバイザー等に相談するとよいでしょう。

■ 衣食住マネジメントコース

(衣食住を中心とする生活環境に関するマネジメント能力を身につける)

区 分	1年	2年	3年	4年
学部共通専門科目 (必修)	<input type="checkbox"/> マネジメント学入門 [必2]	<input type="checkbox"/> 実践ゼミナールA [必1] <input type="checkbox"/> 実践ゼミナールB [必1] <input type="checkbox"/> インターンシップ [必2]		
基幹科目(前期)・ 展開科目(後期)・ 学部共通専門科目 (後期)	<input type="checkbox"/> 生活環境入門 [必2] <input type="checkbox"/> 衣生活と環境 [選必2] <input type="checkbox"/> 食生活と環境 [選必2]		<input type="checkbox"/> 衣服文化論 [2] <input type="checkbox"/> 食文化論 [2] <input type="checkbox"/> 居住文化論 [2] <input type="checkbox"/> ファッションデザイン [2] <input type="checkbox"/> フードデザイン [2] <input type="checkbox"/> インテリアデザイン [2] <input type="checkbox"/> ファッションビジネス [2] <input type="checkbox"/> フードビジネス [2] <input type="checkbox"/> ファッション商品企画 [2] <input type="checkbox"/> テキスタイル論 [2] <input type="checkbox"/> 食と健康 [2] <input type="checkbox"/> 食の安全 [2] <input type="checkbox"/> 庭園と都市環境 [2]	
生活環境マネジメント 学演習(必修)			<input type="checkbox"/> 生活環境マネジメント 学演習IA [必1] <input type="checkbox"/> 生活環境マネジメント 学演習IB [必1]	<input type="checkbox"/> 生活環境マネジメント 学演習IIA [必1] <input type="checkbox"/> 生活環境マネジメント 学演習IIB [必1]
卒業論文・卒業研究(必修)				<input type="checkbox"/> 卒業論文・卒業研究 [必2]
自学科専門科目・ 学部共通専門科目・ 他学科専門科目	<input type="checkbox"/> 住生活と環境 [選必2] <input type="checkbox"/> 環境倫理学 [選必2] <input type="checkbox"/> 地域経営 [選必2] <input type="checkbox"/> 女性の生活マネジメント [2]		<input type="checkbox"/> 都市計画論 [2] <input type="checkbox"/> 消費者問題 [2] <input type="checkbox"/> 消費者のための法律 [2] <input type="checkbox"/> 健康管理論 [2] <input type="checkbox"/> マネジメント学 [2] <input type="checkbox"/> エコビジネス論 [2] <input type="checkbox"/> 不動産法 [2]	
必要単位数	20		46	

※[]内の数字は単位数

■ 社会生活マネジメントコース

(社会生活と消費生活に関するマネジメント能力を身につける)

区分	1年	2年	3年	4年
学部共通専門科目 (必修)	<input type="checkbox"/> マネジメント学入門 [必2]	<input type="checkbox"/> 実践ゼミナールA [必1] <input type="checkbox"/> 実践ゼミナールB [必1] <input type="checkbox"/> インターンシップ [必2]		
基幹科目(前期)・ 展開科目(後期)・ 学部共通専門科目 (後期)	<input type="checkbox"/> 生活環境入門 [必2] <input type="checkbox"/> 住生活と環境 [選必2] <input type="checkbox"/> 地域経営 [選必2]		<input type="checkbox"/> 居住文化論 [2] <input type="checkbox"/> ファッションビジネス [2] <input type="checkbox"/> フードビジネス [2] <input type="checkbox"/> 食と健康 [2] <input type="checkbox"/> 食の安全 [2] <input type="checkbox"/> 消費者問題 [2] <input type="checkbox"/> 消費者のための法律 [2] <input type="checkbox"/> 消費経済論 [2] <input type="checkbox"/> 社会保障論 [2] <input type="checkbox"/> 健康管理論 [2] <input type="checkbox"/> タウンマネジメント [2] <input type="checkbox"/> マネジメント学 [2] <input type="checkbox"/> エコビジネス論 [2]	
生活環境マネジメント 学演習(必修)			<input type="checkbox"/> 生活環境マネジメント 学演習IA [必1] <input type="checkbox"/> 生活環境マネジメント 学演習IB [必1]	<input type="checkbox"/> 生活環境マネジメント 学演習IIA [必1] <input type="checkbox"/> 生活環境マネジメント 学演習IIB [必1]
卒業論文・卒業研究(必修)				<input type="checkbox"/> 卒業論文・卒業研究 [必2]
自学科専門科目・ マネジメント学部 共通専門科目・ 他学科専門科目	<input type="checkbox"/> 衣生活と環境 [選必2] <input type="checkbox"/> 食生活と環境 [選必2] <input type="checkbox"/> 経済学入門 [2] <input type="checkbox"/> 民法入門 [2]		<input type="checkbox"/> 地球環境と経営 [2] <input type="checkbox"/> 資源・リサイクル論 [2] <input type="checkbox"/> 女性のキャリアデザイン [2] <input type="checkbox"/> 日本の財政 [2] <input type="checkbox"/> ビジネス統計 [2] <input type="checkbox"/> マクロ経済学 [2] <input type="checkbox"/> ミクロ経済学 [2]	
必要単位数	20		46	

※[]内の数字は単位数

■ 環境マネジメントコース

(環境政策と環境経営に関するマネジメント能力を身につける)

区 分	1年	2年	3年	4年
学部共通専門科目 (必修)	<input type="checkbox"/> マネジメント学入門 [必2]	<input type="checkbox"/> 実践ゼミナールA [必1] <input type="checkbox"/> 実践ゼミナールB [必1] <input type="checkbox"/> インターンシップ [必2]		
基幹科目(前期)・ 展開科目(後期)・ 学部共通専門科目 (後期)	<input type="checkbox"/> 生活環境入門 [必2] <input type="checkbox"/> 環境倫理学 [選必2] <input type="checkbox"/> 環境政策 [選必2]		<input type="checkbox"/> 消費者問題 [2] <input type="checkbox"/> 消費者のための法律 [2] <input type="checkbox"/> 消費経済論 [2] <input type="checkbox"/> 社会保障論 [2] <input type="checkbox"/> 健康管理論 [2] <input type="checkbox"/> タウンマネジメント [2] <input type="checkbox"/> 環境経済学 [2] <input type="checkbox"/> 環境法学 [2] <input type="checkbox"/> 地球環境と経営 [2] <input type="checkbox"/> 資源・リサイクル論 [2] <input type="checkbox"/> 庭園と都市環境 [2] <input type="checkbox"/> マネジメント学 [2] <input type="checkbox"/> エコビジネス論 [2]	
生活環境マネジメント 学演習(必修)			<input type="checkbox"/> 生活環境マネジメント 学演習IA [必1] <input type="checkbox"/> 生活環境マネジメント 学演習IB [必1]	<input type="checkbox"/> 生活環境マネジメント 学演習IIA [必1] <input type="checkbox"/> 生活環境マネジメント 学演習IIB [必1]
卒業論文・卒業研究(必修)				<input type="checkbox"/> 卒業論文・卒業研究 [必2]
自学科専門科目・ マネジメント学部 共通専門科目・ 他学科専門科目	<input type="checkbox"/> 食生活と環境 [選必2] <input type="checkbox"/> 住生活と環境 [選必2] <input type="checkbox"/> 環境経営学入門 [2] <input type="checkbox"/> ニュースで学ぶ現代社会 [2]		<input type="checkbox"/> 食の安全 [2] <input type="checkbox"/> ファッションビジネス [2] <input type="checkbox"/> フードビジネス [2] <input type="checkbox"/> 都市計画論 [2] <input type="checkbox"/> ビジネス統計 [2] <input type="checkbox"/> リスクマネジメント論 [2] <input type="checkbox"/> コーポレートガバナンスと法 [2]	
必要単位数	20		46	

※ []内の数字は単位数

カリキュラムツリー [生活環境マネジメント学科]

		第1セメスター		第2セメスター		第3セメスター		第4セメスター		第5セメスター		第6セメスター		第7セメスター		第8セメスター	
共通	マネジメント	マネジメント学入門								マネジメント学	リスクマネジメント論						
		社会科学入門								女性のキャリアデザイン	マネジメントと女性リーダー	女性と公共マネジメント	起業論				
		生活環境入門								日本の財政		ビジネス統計					
										生活環境マネジメント学演習 I A	生活環境マネジメント学演習 I B	生活環境マネジメント学演習 II A	生活環境マネジメント学演習 II B	卒業論文・卒業研究			
衣食住マネジメント	衣																
衣食住マネジメント	食	化学															
		家政学															
衣食住マネジメント	住																
社会生活マネジメント	社会生活																
環境マネジメント	環境																

観光コミュニティ学部

観光デザイン学科／

まちづくり学科の専門科目の履修全般について

1 専門科目の履修方法

卒業要件である124単位のうち、専門科目を前期課程（1・2年次）で20単位以上、後期課程（3・4年次）で46単位以上、あわせて66単位以上修得しなければなりません。下記の科目区分ごとに修得すべき単位数が学科別に定められています。

■ 観光コミュニティ学部専門科目・前期課程進級要件

科目区分	観光デザイン学科 修得単位数	まちづくり学科 修得単位数
観光コミュニティ学部共通専門科目	選 択	
基幹科目	10単位以上	10単位以上
演 習	2単位	2単位
資格科目		選 択
合計修得単位	上記要件を含み20単位以上 なお、20単位を超えて修得した単位を後期課程の学部専門科目として算入することはできない。	

■ 観光コミュニティ学部専門科目・後期課程修得要件

科目区分	観光デザイン学科 修得単位数	まちづくり学科 修得単位数
観光コミュニティ学部共通専門科目	選 択	
展開科目	24単位以上	16単位以上
特殊講義		8単位以上
特殊演習	1単位以上	2単位以上
実 習	1単位以上	
演 習	4単位	4単位
卒業論文・卒業研究	2単位	2単位
資格科目		選 択
合計修得単位	上記要件を含み46単位以上 なお、後期課程で修得した前期課程の学部専門科目の単位を算入することはできない。ただし、後期課程生として修得した前期課程の自学科の基幹科目6単位を含めることができる。	

2 観光コミュニティ学部の教育方法に関する基本的考え方

観光コミュニティ学部は、観光とコミュニティに関する学識と技能を備え、観光やコミュニティの抱えるさまざまな課題を解決し、双方の活性化に貢献できる能力を身につけることを目

標としています。観光やコミュニティの抱える多岐にわたる課題を学ぶには広範な知識、知見に加え、多様な観点からの領域横断的な広い視野が必要です。観光コミュニティ学部は学生自身が、自らの興味・関心・才能に応じて主体的に自身の将来の夢や進む方向性を見出して、それを実現するために、適切かつ効果的で体系的な履修を行うことが重要と考えています。

そのための教育方法として卒業後の進路を想定した代表的な各分野の履修モデルを用意するとともに、各教員による、キャリア・アドバイスと履修についてのアカデミック・アドバイスとを一体的に行う、アカデミックアドバイザー制度を設置しています。アカデミックアドバイザーになるのは、1年生は「プロゼミ」担当教員、2年生は「基礎ゼミナール」担当教員、3・4年生は「演習」担当教員です。

学生は、1年次から将来のキャリア形成を視野に入れ、計画的に履修することによって、それぞれの自己実現に向けた準備を進めることが可能となります。観光やコミュニティに関する事象は多領域にわたるため、特定の分野を強制的に履修させるよりも、学生が自身の関心に応じて主体的に履修科目を選択できるようにすることが、より学習効果を高めると考えています。

また2年次の必修科目である「基礎ゼミナール」では多様なタイプの学外実習など、実践的な学びの場が設けられています。これは深い専門的知識とともに、現地・現場での体験学習・実践活動の実体験をデザイン能力の養成において重視しているからです。

3 科目区分の内容説明

(『学生便覧』「教育課程(平成31(2019)年度以降の入学生適用)IV. 観光コミュニティ学部」参照)

「観光コミュニティ学部共通専門科目」……観光デザイン学科とまちづくり学科との間で共通する履修科目のことを指します。

「基幹科目」……前期課程において各分野に関する基礎的な知識と理論を学ぶための科目群です。

「展開科目」……後期課程において各分野について専門的・発展的に学ぶための科目群です。

「特殊講義」……展開科目では扱いきれない多様な領域での具体的なテーマを扱う能動的な講義科目群です。

「特殊演習」……後期課程において実務習得に必要な特殊技能や資格取得にむけて専門家が実践的に指導する科目群です。

「実習」……後期課程において観光分野の実務習得のための科目群です。

「演習」……前期課程において2年次で開講される「基礎ゼミナール」(進級必修単位)と後期課程において3年次、4年次で開講される「観光デザイン演習IA・IB・IIA・IIB」(観光デザイン学科)、「コミュニティデザイン演習IA・IB・IIA・IIB」(まちづくり学科)(いずれも卒業必修単位)を指します。

「卒業論文・卒業研究」……講義や演習を通じて蓄積してきた成果に基づき、担当教員の助言・指導を受けながら、卒業論文・卒業研究を完成させます。

「資格科目」……社会調査士課程の科目群です。

4 前期課程(第1 Semester～第4 Semester)における履修の方法と注意点

[1] 共通の基礎を身につける

前期課程では観光コミュニティ学部で学ぶ専門科目のうち、基礎となる科目の履修を目標

とします。いずれの履修モデル（後述）に従う場合でも、共通の基礎を身につけるための基幹科目の履修が望まれます。そこで観光コミュニティ学部では、それぞれの学科の基幹科目の中に必修科目を設けました。これらの科目は、基本的な知識を身につけるために必要不可欠な科目なので、全員が1年次に履修するようにしてください。そのほか「むさしの学」「観光国家資格取得特殊演習A」など特色ある科目を観光コミュニティ学部共通専門科目に置きました。必修科目ではありませんが、「むさしの学」は本学の所在地など地域に根差した研究をすすめていく上で、後期課程の「ぶんきょう学」ともども履修が望まれます。

[2] 専門性と学問の広がり基礎を学ぶ

前期課程では共通の基礎を身につけるとともに、各自が希望する将来の進路の方向性にあわせて、履修モデル（後述）を参考にしながら、自由に基幹科目を選んでください。また、学問の幅を広げたり、より専門性を高めたりするために、将来の進路などを考慮して必要と考える他学部・他学科の専門科目を選んで履修を行ってください。ただし、観光コミュニティ学部の進級要件として認められるのは、前期課程において他学部専門科目は4単位まで、他学科（観光デザイン学科ないしまちづくり学科）専門科目は8単位までです。

5 後期課程（第5セメスター～第8セメスター）における履修の方法と注意点

[1] 専門性を身につける

後期課程では、自分の将来のキャリア形成を視野に入れて、関心のある科目、キャリア形成に役立つと思われる科目、深く学んでいく上で必要と考えられる科目を真剣に選択しましょう。単に興味があるから、面白そうだというような理由だけの、専門性の柱につながらないような無原則で摘み食いの選択は決してお薦めできません。履修モデル（後述）を参考にして、それぞれのモデルに例示されている科目群の中から、自分の専門性を磨くための科目を選び、自分らしい履修計画を立ててください。不明な点、迷う点などが出てきた場合は、アカデミックアドバイザーに相談しましょう。

[2] 後期課程の履修上の注意点

卒業要件として後期課程では、観光コミュニティ学部の専門科目から演習科目を含めた46単位以上を修得することが必要です。この46単位のなかに他学部専門科目については8単位まで、他学科（観光デザイン学科ないしまちづくり学科）専門科目は14単位を上限に卒業要件として含めることができます。

6 基礎ゼミナール

[1] 目的

2年次には、全員が必修科目である「基礎ゼミナール」を履修します。「基礎ゼミナール」は、後期課程の「演習」において自らの課題を研究し、卒業論文を執筆していくための準備段階として、調査、問題発見、分析、考察、発表の基礎を体得するための科目です。基幹科目に

よって身につけた知識を前提としつつ、より実践的な学びの場を目指す、少人数のゼミナール形式で学ぶ科目です。学内での学習に加えて、現地・現場での学外実習が必須であり、就業体験あるいはフィールド・ワークなどを行うことによって、基礎的な実践力を養います。観光コミュニティ学部での学びにおいて、現場に足を運び、そこで課題を発見し、解決方法をデザインし提言するという一連の学外実習は各学生が自らの力で研究を進めていく基礎を築くために極めて貴重な体験となります。

[2] 履修登録の方法

「基礎ゼミナール」は各分野に分かれてゼミナールが開講されます。「基礎ゼミナール」の募集・選考手続きは、1年次の秋学期に実施します。募集・選考方法の詳細は、9月の秋学期観光コミュニティ学部ガイダンスで説明しますが、提出物の締切り等の案内はポータルへの掲示によって告知されますので、見落とさないように、十分注意してください。履修登録は選考の結果を基に教務課が行います。なお、「基礎ゼミナール」未履修の場合は、進級できません。

7

「観光デザイン演習」(観光デザイン学科)、 「コミュニティデザイン演習」(まちづくり学科)

「演習」は3年次および4年次に必修科目として開講され、2年間にわたり合計4単位が卒業要件となります。その内容は、各分野において、学生一人一人がいずれかのゼミナールに所属し、3・4年次の2年間継続した研究環境に身を置くことで、各自の研究活動を発展、深化させていくものです。原則として、3・4年次の「演習」担当教員が、アカデミックアドバイザーとなります。「演習」の履修に向けた募集・選考手続きは、2年次の秋学期に実施します。募集・選考方法の詳細は、ポータルへの掲示によって告知されますので、見落とさないように、十分注意してください。

8

社会調査士課程と観光国家資格取得支援

観光コミュニティ学部では資格取得を重視し、学生に各種の資格等への挑戦を積極的に勧めています。こうした観点から観光コミュニティ学部では学部の教育理念の実践領域を充実化するために社会調査士課程を置き、社会調査士資格を取得するための資格科目を開講します。開講する科目は一般社団法人社会調査協会の定めるカリキュラムに準拠し、資格取得のための必修6科目および選択必修2科目(選んだ1科目を必修)を開講します。各授業科目は、「社会調査入門」を学部共通専門科目、「社会調査法」を全学共通科目として開講するほかは、すべてまちづくり学科専門科目として開講し、いずれも卒業要件単位に算入することができます。観光デザイン学科の学生の場合には、卒業要件にも算入できる他学科専門科目として履修できます。

このほか、観光コミュニティ学部の教育内容に最も関連の深い国家資格である旅行業務取扱管理者の資格取得を支援するために、「観光国家資格取得特殊演習A」を前期課程の学部共通専門科目に置いています。

観光コミュニティ学部 観光デザイン学科 専門科目の履修

卒業に必要な専門科目の単位数は、前期課程20単位、後期課程46単位の所定修得単位数を含む66単位で、最低修得単位数は下記のとおりです。

科目区分		修得要件	備考
前期課程	基幹科目（自学科）	10単位以上	必修3科目「観光学入門」「観光デザイン入門」「経営学入門」計6単位を含む
	演習	2単位	必修1科目「基礎ゼミナール（観光）」2単位（2年次必修）
	観光コミュニティ学部共通専門科目	選 択	
前期課程合計		20単位以上	前期課程要件12単位を修得し、加えて前期課程の学部専門科目（学部共通専門科目、自学科専門科目、または他学科専門科目）8単位以上を修得する。この8単位の中に、他学部専門科目を4単位まで含めることができる。なお、20単位を超えて修得した単位を後期課程の学部専門科目として算入することはできない。
後期課程	展開科目（自学科）	24単位以上	
	特殊演習（自学科）	1単位以上	
	実習（自学科）	1単位以上	
	演習	4単位	必修4科目「観光デザイン演習ⅠA」「観光デザイン演習ⅠB」「観光デザイン演習ⅡA」「観光デザイン演習ⅡB」計4単位
	卒業論文・卒業研究	2単位	必修1科目「卒業論文・卒業研究」2単位
	観光コミュニティ学部共通専門科目	選 択	
後期課程合計		46単位以上	後期課程要件32単位を修得し、加えて後期課程の学部専門科目（学部共通専門科目、自学科専門科目、または他学科専門科目）14単位以上を修得する。この14単位の中に、他学部専門科目を8単位まで含めることができる。なお、後期課程で修得した前期課程の学部専門科目の単位を算入することはできない。ただし、後期課程生として修得した前期課程の自学科の基幹科目6単位を含めることができる。
合計修得単位数		66単位以上	

1 観光デザイン学科の教育方法と基本姿勢

観光デザイン学科では、コミュニティの歴史、文化、景観、産業などにに基づき「観光」を具体的に構想する力＝「観光デザイン能力」を身につけることを目的としています。そのために必要となるのが、「ホスピタリティ能力」「マネジメント能力」「発掘発信能力」です。

- 「ホスピタリティ能力」 …グローバルな視野を持ち、観光客を広く誘致し、おもてなしする能力
 - 「マネジメント能力」 ……観光施設を持続可能な経営体として運営する能力
 - 「発掘発信能力」 …新しい観光コンテンツを発掘し、広く紹介・宣伝する能力
- } 観光デザイン能力
- これらを通し、「観光で日本を元気にする力」を育成します。

【参考】観光デザイン学科の履修モデルと想定される職業の概要

○グローバル分野モデル

[国内外からの観光客をおもてなしする力を身につける]

- ・ 旅行業界
 - ・ 国際系エアライン
- } 外国人を日本に迎える仕事やCAなどの仕事

○マネジメント分野モデル

[観光業を発展させる力を身につける]

- ・ 宿泊産業
 - ・ リゾート
 - ・ テーマパーク
 - ・ ブライダル
- } マネジメント能力を観光で生かせる仕事

○観光振興分野モデル

[地元の良さを発掘して発信する力を身につける]

- ・ 自治体（公務員）
 - ・ 地域産業
 - ・ 公共機関
- } 観光で地域を振興する仕事

2 観光デザイン学科 開設科目と履修モデル

[1] 専門科目の種類と履修年次

66単位以上

区分	1年	2年	3年	4年
基幹科目（前期）・ 展開科目（後期）	10単位以上（必修3科目計6単位を含む） （1年次必修科目「観光学入門」「観光デザイン入門」「経営学入門」）		24単位（12科目）以上	
演習（必修）		必修2単位（1科目） 「基礎ゼミナール（観光）」	必修2単位（2科目） 「観光デザイン演習ⅠA」 「観光デザイン演習ⅠB」	必修2単位（2科目） 「観光デザイン演習ⅡA」 「観光デザイン演習ⅡB」
特殊演習 実習			2単位（2科目）以上	
卒業論文・卒業研究（必修）				必修2単位（1科目） 「卒業論文・卒業研究」
資格科目 学部共通専門科目 他学科専門科目 他学部専門科目	※他学部専門科目は4単位まで含めることができる。		※他学部専門科目は8単位まで含めることができる。	
必要単位数	20単位以上		46単位以上	

[2] 履修モデルとその核となる科目

専門科目の履修モデルとして、3つ示します。必ずしもこの通りに履修する必要はありませんが、履修計画を立てる際の参考にしてください。

■ グローバル分野モデル

(国内外からの観光客をおもてなしする力を身につける)

(科目名の後の [] 内の数字は単位数を示す。“必”は必修科目であることを示す)

区 分	1年	2年	3年	4年
基幹科目（前期）・ 展開科目（後期）	<input type="checkbox"/> 観光学入門 [必2] <input type="checkbox"/> 観光デザイン入門 [必2] <input type="checkbox"/> 経営学入門 [必2]	<input type="checkbox"/> 観光地理学 [2] <input type="checkbox"/> 観光ランドデザイン [2] <input type="checkbox"/> 比較観光産業論 [2]	<input type="checkbox"/> グローバルツーリズム [2] <input type="checkbox"/> 旅行産業論 [2] <input type="checkbox"/> 各国観光事業 [2] <input type="checkbox"/> コンベンション管理 (MICE) [2] <input type="checkbox"/> 観光メディア論 [2] <input type="checkbox"/> 観光法規・倫理 [2] <input type="checkbox"/> ホスピタリティデザイン [2] <input type="checkbox"/> 観光とミナト [2] <input type="checkbox"/> グローバル観光デザイン [2] <input type="checkbox"/> 観光マーケティング [2] <input type="checkbox"/> 航空産業論 [2] <input type="checkbox"/> 観光コンテンツ [2]	
演習（必修）		<input type="checkbox"/> 基礎ゼミナール（観光） [必2]	<input type="checkbox"/> 観光デザイン演習ⅠA [必1] <input type="checkbox"/> 観光デザイン演習ⅠB [必1]	<input type="checkbox"/> 観光デザイン演習ⅡA [必1] <input type="checkbox"/> 観光デザイン演習ⅡB [必1]
特殊演習 実習			<input type="checkbox"/> 観光国家資格取得特殊演習B [1] <input type="checkbox"/> キャビンアテンダント（CA）実習 [1]	
卒業論文・卒業研究（必修）				<input type="checkbox"/> 卒業論文・卒業研究 [必2]
自学科専門科目 学部共通専門科目 他学科専門科目 他学部専門科目	<input type="checkbox"/> 観光経営論 [2] <input type="checkbox"/> 観光国家資格取得特殊演習A [1] <input type="checkbox"/> 社会をデザインする女性たち [2] <input type="checkbox"/> コミュニティデザイン入門 [2]		<input type="checkbox"/> 観光調査論 [2] <input type="checkbox"/> 世界遺産研究 [2] <input type="checkbox"/> ホテルマネジメント [2] <input type="checkbox"/> イベント・コンベンション論 [2] <input type="checkbox"/> ニューツーリズム [2] <input type="checkbox"/> プライダル・コーディネート特殊演習 [1] <input type="checkbox"/> テーマパーク [2] <input type="checkbox"/> ヘリテイジツーリズム [2]	
必要単位数		21	47	

■ マネジメント分野モデル

(観光業を発展させる力を身につける)

(科目名の後の [] 内の数字は単位数を示す。“必”は必修科目であることを示す)

区 分	1年	2年	3年	4年
基幹科目(前期)・ 展開科目(後期)	<input type="checkbox"/> 観光学入門 [必2] <input type="checkbox"/> 観光デザイン入門 [必2] <input type="checkbox"/> 経営学入門 [必2]	<input type="checkbox"/> 観光経済学 [2] <input type="checkbox"/> 観光経営論 [2] <input type="checkbox"/> 宿泊産業論 [2]	<input type="checkbox"/> 航空産業論 [2] <input type="checkbox"/> 交通経営論 [2] <input type="checkbox"/> 経営財務論 [2] <input type="checkbox"/> 観光調査論 [2] <input type="checkbox"/> 事業構想論 [2] <input type="checkbox"/> 観光デザイナー論 [2] <input type="checkbox"/> 観光財務論 [2] <input type="checkbox"/> ホテルマネジメント [2] <input type="checkbox"/> 観光マーケティング [2] <input type="checkbox"/> リゾート経営論 [2] <input type="checkbox"/> 観光とリスク [2] <input type="checkbox"/> テーマパーク [2]	
演習(必修)		<input type="checkbox"/> 基礎ゼミナール(観光) [必2]	<input type="checkbox"/> 観光デザイン演習ⅠA [必1] <input type="checkbox"/> 観光デザイン演習ⅠB [必1]	<input type="checkbox"/> 観光デザイン演習ⅡA [必1] <input type="checkbox"/> 観光デザイン演習ⅡB [必1]
特殊演習 実習			<input type="checkbox"/> 観光国家資格取得特殊演習B [1] <input type="checkbox"/> ホテルマネジャー・女将実習 [1]	
卒業論文・卒業研 究(必修)				<input type="checkbox"/> 卒業論文・卒業研究 [必2]
自学科専門科目 学部共通専門科目 他学科専門科目 他学部専門科目	<input type="checkbox"/> 観光ランドデザイン [2] <input type="checkbox"/> 観光国家資格取得特殊演習A [1] <input type="checkbox"/> むさしの学 [2] <input type="checkbox"/> ビジネスデザイン [2]		<input type="checkbox"/> グローバルツーリズム [2] <input type="checkbox"/> イベント・コンベンション論 [2] <input type="checkbox"/> ホスピタリティデザイン [2] <input type="checkbox"/> コミュニティビジネス [2] <input type="checkbox"/> コンベンション管理(MICE) [2] <input type="checkbox"/> 経営分析論 [2] <input type="checkbox"/> 観光コンテンツ [2]	
必要単位数		21		46

■ 観光振興分野モデル

(地元の良さを発掘して発信する力を身につける)

(科目名の後の [] 内の数字は単位数を示す。“必”は必修科目であることを示す)

区 分	1年	2年	3年	4年
基幹科目(前期)・ 展開科目(後期)	<input type="checkbox"/> 観光学入門 [必2] <input type="checkbox"/> 観光デザイン入門 [必2] <input type="checkbox"/> 経営学入門 [必2]	<input type="checkbox"/> 観光社会学 [2] <input type="checkbox"/> 観光人類学 [2] <input type="checkbox"/> 観光と情報社会 [2]	<input type="checkbox"/> 各国観光事情 [2] <input type="checkbox"/> 温泉と保養 [2] <input type="checkbox"/> コンベンション管理 (MICE) [2] <input type="checkbox"/> 観光と鉄道 [2] <input type="checkbox"/> 観光マーケティング [2] <input type="checkbox"/> テーマパーク [2] <input type="checkbox"/> 観光コンテンツ [2] <input type="checkbox"/> 世界遺産研究 [2] <input type="checkbox"/> 祭りと文化 [2] <input type="checkbox"/> ヘリテイジツーリズム [2] <input type="checkbox"/> ニューツーリズム [2] <input type="checkbox"/> 東京観光デザイン [2]	
演習(必修)		<input type="checkbox"/> 基礎ゼミナール(観光) [必2]	<input type="checkbox"/> 観光デザイン演習ⅠA [必1] <input type="checkbox"/> 観光デザイン演習ⅠB [必1]	<input type="checkbox"/> 観光デザイン演習ⅡA [必1] <input type="checkbox"/> 観光デザイン演習ⅡB [必1]
特殊演習 実習			<input type="checkbox"/> 観光デザイナー特殊演習 [1] <input type="checkbox"/> ホテルマネジャー・女将実習 [1]	
卒業論文・卒業研究(必修)				<input type="checkbox"/> 卒業論文・卒業研究 [必2]
自学科専門科目 学部共通専門科目 他学科専門科目 他学部専門科目	<input type="checkbox"/> 観光ランドデザイン [2] <input type="checkbox"/> 社会調査入門 [2] <input type="checkbox"/> むさしの学 [2] <input type="checkbox"/> 観光国家資格取得特殊演習A [1]		<input type="checkbox"/> ホスピタリティデザイン [2] <input type="checkbox"/> 観光コミュニティデザイン実践 [2] <input type="checkbox"/> 観光調査論 [2] <input type="checkbox"/> コミュニティデザイン [2] <input type="checkbox"/> ぶんきょう学 [2] <input type="checkbox"/> コミュニティと地場産業 [2] <input type="checkbox"/> NPO・NGO論 [2]	
必要単位数		21		46

観光デザイン学科 履修登録チェックリスト

前期課程（1-2年）

学籍番号	
氏名	

- ◆ _____ には履修科目名、() には単位数を記入。単位修得済み科目は右の□にチェック！
- ◆ 科目区分は『学生便覧』『教育課程（平成31（2019）年度以降入学生適用）』をご確認ください。

全学共通科目（42単位以上必要）

外国語科目（16）	導入科目（2）	その他（9）
A・B・C コース（※ABCいずれかに○）		科目区分
英語 (2) <input type="checkbox"/>	プロゼミⅠ (1) <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>
英語 (2) <input type="checkbox"/>	プロゼミⅡ (1) <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>
英語 (2) <input type="checkbox"/>		_____ () <input type="checkbox"/>
英語 (2) <input type="checkbox"/>	教養科目（10）	_____ () <input type="checkbox"/>
_____ (2) <input type="checkbox"/>	_____ (2) <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>
_____ (2) <input type="checkbox"/>	_____ (2) <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>
_____ (2) <input type="checkbox"/>	_____ (2) <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>
_____ (2) <input type="checkbox"/>	_____ (2) <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>
_____ (2) <input type="checkbox"/>	_____ (2) <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>
※書ききれない場合は「その他」へ	※書ききれない場合は「その他」へ	
情報処理科目（2）	社会人形成科目（3）	
情報リテラシーⅠ (1) <input type="checkbox"/>	花蹊の教育とライフプラン・ キャリアプラン (2) <input type="checkbox"/>	
情報リテラシーⅡ (1) <input type="checkbox"/>	ソーシャルマナー (1) <input type="checkbox"/>	
※書ききれない場合は「その他」へ	※書ききれない場合は「その他」へ	

学部専門科目（20単位以上必要）

基幹科目（自学科）（10）	演習（2）	その他（8）
観光学入門 (2) <input type="checkbox"/>	基礎ゼミナール（観光）(2) <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>
観光デザイン入門 (2) <input type="checkbox"/>		_____ () <input type="checkbox"/>
経営学入門 (2) <input type="checkbox"/>		_____ () <input type="checkbox"/>
_____ (2) <input type="checkbox"/>		_____ () <input type="checkbox"/>
_____ (2) <input type="checkbox"/>		_____ () <input type="checkbox"/>
_____ (2) <input type="checkbox"/>		_____ () <input type="checkbox"/>
_____ (2) <input type="checkbox"/>		_____ () <input type="checkbox"/>
_____ (2) <input type="checkbox"/>		_____ () <input type="checkbox"/>
_____ (2) <input type="checkbox"/>		_____ () <input type="checkbox"/>
_____ (2) <input type="checkbox"/>		_____ () <input type="checkbox"/>
※書ききれない場合は「その他」へ		※科目区分
		※他学部専門科目は4単位まで含めることができる。 ※自学部他学科の専門科目は他学部専門科目の単位と合わせて8単位まで含めることができる。

※このチェックリストは、ポータルの「文書ライブラリ」からダウンロードできます。

観光コミュニティ学部 まちづくり学科 専門科目の履修

卒業に必要な専門科目の単位数は、前期課程20単位、後期課程46単位の所定修得単位数を含む66単位で、最低修得単位数は下記のとおりです。

科目区分		修得要件	備考
前期課程	基幹科目（自学科）	10単位以上	必修3科目「社会学入門」「コミュニティデザイン入門」「フィールドスタディ入門」計6単位を含む
	演習	2単位	必修1科目「基礎ゼミナール（コミュニティ）」2単位（2年次必修）
	資格科目	選択	社会調査士課程の履修者は、「データの読み方」（2単位）および「社会統計学」（2単位）が必修
	観光コミュニティ学部共通専門科目	選択	社会調査士課程の履修者は、「社会調査入門」（2単位）が必修
前期課程合計		20単位以上	前期課程要件12単位を修得し、加えて前期課程の学部専門科目（学部共通専門科目、自学科専門科目、または他学科専門科目）8単位以上を修得する。この8単位の中に、他学部専門科目を4単位まで含めることができる。なお、20単位を超えて修得した単位を後期課程の学部専門科目として算入することはできない。
後期課程	展開科目（自学科）	16単位以上	
	特殊講義（自学科）	8単位以上	
	特殊演習（自学科）	2単位以上	
	演習	4単位	必修4科目「コミュニティデザイン演習ⅠA」「コミュニティデザイン演習ⅠB」「コミュニティデザイン演習ⅡA」「コミュニティデザイン演習ⅡB」計4単位
	卒業論文・卒業研究	2単位	必修1科目「卒業論文・卒業研究」2単位
	資格科目	選択	社会調査士課程の履修者は、「多変量解析の基礎」（2単位）あるいは「質的調査法」（2単位）のいずれか一方と、「社会調査実習Ⅰ」（2単位）および「社会調査実習Ⅱ」（2単位）が必修
	観光コミュニティ学部共通専門科目	選択	
後期課程合計		46単位以上	後期課程要件32単位を修得し、加えて後期課程の学部専門科目（学部共通専門科目、自学科専門科目、または他学科専門科目）14単位以上を修得する。この14単位の中に、他学部専門科目を8単位まで含めることができる。なお、後期課程で修得した前期課程の学部専門科目の単位を算入することはできない。ただし、後期課程生として修得した前期課程の自学科の基幹科目6単位を含めることができる。
合計修得単位数		66単位以上	

1 まちづくり学科の教育方法と基本姿勢

まちづくり学科では、コミュニティをめぐる広範な知識と複眼思考を身に付け、実践を通して、地域社会のさまざまな問題解決に寄与するコミュニティデザイン能力を修得することを目的としています。そのために必要となるのが、「発見する力」「提案する力」「つなぐ力」です。本学科では、社会学を中心的な学問領域とし、日常生活における身近なテーマを取り上げ、現実社会に根差した学びの手法をとります。

【発見する力】…コミュニティが抱える問題の所在と本質を見抜く能力

【提案する力】…問題解決に導くアイデアを創出・提案する能力

【つなぐ力】…人と人をつなぐコミュニケーション能力とコーディネート能力

コミュニティ
デザイン能力

【参考】まちづくり学科の履修モデルと想定される職業の概要

○コミュニティ分野モデル

[多様化・複雑化した問題を抱える現代のコミュニティにおける行政のあり方を問い直し、行政と地域住民が協働して地域づくりを推進する方法、そのための人材発掘と育成の方法を学ぶ]

- ・公務員
- ・行政機関
- ・公共施設
- ・公益企業

公共の視点から地域コミュニティを活性化する仕事

○ビジネス分野モデル

[地域の金融、財政、産業に関する知識に基づきながら、地域の再生・活性化につながるビジネスを創出する方法、地域社会と密着したビジネスモデルを創出する方法を学ぶ]

- ・地域金融機関
- ・コミュニティビジネス

民間の視点から地域経済、生活を豊かにする仕事

○社会貢献分野モデル

[地域の暮らしを生活者の立場から問い直し、さまざまな課題を解決することによって、生活者の視点を生かしたコミュニティを創造し、支え合う方法を学ぶ]

- ・教育関係のNPO・NGO
- ・福祉関係のNPO・NGO

社会貢献の視点から社会の課題を解決する仕事

■ 取得可能な資格

◎社会調査士

社会調査の知識や技術を用いて、さまざまな社会事象をとらえる能力をもつ「調査の専門家」を養成するために作られた資格です。社会調査には、官庁・自治体などが行う各種の統計調査や世論調査、企業やNPO・NGOなどが行う市場調査、あるいは学術研究を目的とする調査などがあります。コミュニティデザイン能力の中でも、発見する力を身に付けることに役立ちます。

資格取得のためには、社会調査士課程を履修する必要があります。

2 まちづくり学科 開設科目と履修モデル

[1] 専門科目の種類と履修年次

66単位以上

区 分	1年	2年	3年	4年
基幹科目（前期）・ 展開科目（後期）	10単位以上（必修3科目計6単位を含む） （1年次必修科目「社会学入門」「コミュニティデザイン入門」「フィールドスタディ入門」）		16単位（8科目）以上	
演習（必修）		必修2単位（1科目） 「基礎ゼミナール （コミュニティ）」	必修2単位（2科目） 「コミュニティデザイン演習ⅠA」 「コミュニティデザイン演習ⅠB」	必修2単位（2科目） 「コミュニティデザイン演習ⅡA」 「コミュニティデザイン演習ⅡB」
特殊講義			8単位（4科目）以上	
特殊演習			2単位（2科目）以上	
卒業論文・卒業研究（必修）				必修2単位（1科目） 「卒業論文・卒業研究」
資格科目 学部共通専門科目 他学科専門科目 他学部専門科目	<p>※社会調査士課程の履修者は、資格科目として「データの読み方」（2単位）および「社会統計学」（2単位）が必修。</p> <p>※他学部専門科目は4単位まで含めることができる。</p>		<p>※社会調査士課程の履修者は、資格科目として「多変量解析の基礎」（2単位）あるいは「質的調査法」（2単位）のいずれか一方と、「社会調査実習Ⅰ」（2単位）および「社会調査実習Ⅱ」（2単位）が必修。</p> <p>※他学部専門科目は8単位まで含めることができる。</p>	
必要単位数	20単位以上		46単位以上	

[2] 履修モデルとその核となる科目

専門科目の履修モデルとして、3つ示します。必ずしもこの通りに履修する必要はありませんが、履修計画を立てる際の参考にしてください。

■ コミュニティ分野モデル

(公共の領域で期待されるコミュニティデザイン能力—行政と地域住民が協働するための能力—を身につける)

(科目名の後の [] 内の数字は単位数を示す。“必”は必修科目であることを示す)

区 分	1年	2年	3年	4年
基幹科目 (前期)・ 展開科目 (後期)	<input type="checkbox"/> 社会学入門 [必2] <input type="checkbox"/> コミュニティ デザイン入門 [必2] <input type="checkbox"/> フィールド スタディ入門 [必2]	<input type="checkbox"/> 地域社会学 [2] <input type="checkbox"/> コミュニティ論 [2] <input type="checkbox"/> 環境と防災 [2]	<input type="checkbox"/> コミュニティデザイン [2] <input type="checkbox"/> コミュニティと行財政 [2] <input type="checkbox"/> コミュニティ関連法規 [2] <input type="checkbox"/> コミュニティと金融 [2] <input type="checkbox"/> コミュニティと地場産業 [2] <input type="checkbox"/> コミュニティと住民参加 [2] <input type="checkbox"/> インフラストラクチャー [2] <input type="checkbox"/> 都市の社会学 [2] <input type="checkbox"/> 介護と福祉 [2]	
演習 (必修)		<input type="checkbox"/> 基礎ゼミナール (コミュニティ) [必2]	<input type="checkbox"/> コミュニティ デザイン演習 I A [必1] <input type="checkbox"/> コミュニティ デザイン演習 I B [必1]	<input type="checkbox"/> コミュニティ デザイン演習 II A [必1] <input type="checkbox"/> コミュニティ デザイン演習 II B [必1]
特殊講義			<input type="checkbox"/> コミュニティ論特殊講義 (24時間の文化) [2] <input type="checkbox"/> コミュニティ論特殊講義 (ネット社会) [2] <input type="checkbox"/> コミュニティ論特殊講義 (女性文化) [2] <input type="checkbox"/> コミュニティ論特殊講義 (学校) [2]	
特殊演習			<input type="checkbox"/> コミュニティデザイン特殊演習 (プレゼンテーション) [1] <input type="checkbox"/> コミュニティデザイン特殊演習 (文章理解・小論文) [1]	
卒業論文・卒業研 究 (必修)				<input type="checkbox"/> 卒業論文・卒業研究 [必2]
資格科目 学部共通専門科目 他学科専門科目 他学部専門科目	<input type="checkbox"/> データの読み方 [2] <input type="checkbox"/> 社会統計学 [2] <input type="checkbox"/> 社会調査入門 [2]		<input type="checkbox"/> 質的調査法 [2] <input type="checkbox"/> 社会調査実習 I [2] <input type="checkbox"/> 社会調査実習 II [2] <input type="checkbox"/> ぶんきょう学 [2] <input type="checkbox"/> 行政法 [2] <input type="checkbox"/> 地方自治論 [2]	
必要単位数	20		46	

■ ビジネス分野モデル

(ビジネスの領域で期待されるコミュニティデザイン能力ー地域を活性化し生活を豊かにするための能力ーを身につける)

(科目名の後の [] 内の数字は単位数を示す。“必” は必修科目であることを示す)

区 分	1年	2年	3年	4年
基幹科目 (前期)・ 展開科目 (後期)	<input type="checkbox"/> 社会学入門 [必2] <input type="checkbox"/> コミュニティ デザイン入門 [必2] <input type="checkbox"/> フィールド スタディ入門 [必2]	<input type="checkbox"/> コミュニティ論 [2] <input type="checkbox"/> ビジネスデザイン [2] <input type="checkbox"/> 消費社会論 [2]	<input type="checkbox"/> コミュニティと行財政 [2] <input type="checkbox"/> コミュニティと金融 [2] <input type="checkbox"/> コミュニティと地場産業 [2] <input type="checkbox"/> コミュニティと住民参加 [2] <input type="checkbox"/> インフラストラクチャー [2] <input type="checkbox"/> 近郊の社会学 [2] <input type="checkbox"/> 出会いの社会学 [2] <input type="checkbox"/> コミュニティビジネス [2] <input type="checkbox"/> 家庭と仕事 [2]	
演習 (必修)		<input type="checkbox"/> 基礎ゼミナール (コミュニティ) [必2]	<input type="checkbox"/> コミュニティ デザイン演習 I A [必1] <input type="checkbox"/> コミュニティ デザイン演習 I B [必1]	<input type="checkbox"/> コミュニティ デザイン演習 II A [必1] <input type="checkbox"/> コミュニティ デザイン演習 II B [必1]
特殊講義			<input type="checkbox"/> コミュニティ論特殊講義 (24時間の文化) [2] <input type="checkbox"/> コミュニティ論特殊講義 (ネット社会) [2] <input type="checkbox"/> コミュニティ論特殊講義 (買い物) [2] <input type="checkbox"/> コミュニティ論特殊講義 (プライダル) [2]	
特殊演習			<input type="checkbox"/> コミュニティデザイン特殊演習 (コミュニケーション) [1] <input type="checkbox"/> コミュニティデザイン特殊演習 (編集・制作) [1]	
卒業論文・卒業研 究 (必修)				<input type="checkbox"/> 卒業論文・卒業研究 [必2]
資格科目 学部共通専門科目 他学科専門科目 他学部専門科目	<input type="checkbox"/> 人口学 [2] <input type="checkbox"/> 社会調査入門 [2] <input type="checkbox"/> 社会をデザインする女性たち [2] <input type="checkbox"/> 観光国家資格取得特殊演習 A [1]		<input type="checkbox"/> 取材学 [2] <input type="checkbox"/> イベント・コンベンション論 [2] <input type="checkbox"/> 観光マーケティング [2] <input type="checkbox"/> 起業論 [2] <input type="checkbox"/> 企業経済学 [2] <input type="checkbox"/> フードビジネス [2] <input type="checkbox"/> 観光コミュニティデザイン実践 [2]	
必要単位数		21		48

■ 社会貢献分野モデル

(社会貢献の領域で期待されるコミュニティデザイン能力—人と人をつなぎ支え合うための能力—を身につける)

(科目名の後の [] 内の数字は単位数を示す。“必”は必修科目であることを示す)

区 分	1年	2年	3年	4年
基幹科目 (前期)・ 展開科目 (後期)	<input type="checkbox"/> 社会学入門 [必2] <input type="checkbox"/> コミュニティ デザイン入門 [必2] <input type="checkbox"/> フィールド スタディ入門 [必2]	<input type="checkbox"/> 地域社会学 [2] <input type="checkbox"/> コミュニティ論 [2] <input type="checkbox"/> 女性のライフサイクル [2]	<input type="checkbox"/> コミュニティと住民参加 [2] <input type="checkbox"/> コミュニティとまちづくり [2] <input type="checkbox"/> 近郊の社会学 [2] <input type="checkbox"/> 男女共同参画社会 [2] <input type="checkbox"/> 出会いの社会学 [2] <input type="checkbox"/> 出産・育児のセーフティネット [2] <input type="checkbox"/> 子どもと教育 [2] <input type="checkbox"/> 介護と福祉 [2] <input type="checkbox"/> 老いと女性 [2]	
演習 (必修)		<input type="checkbox"/> 基礎ゼミナール (コミュニティ) [必2]	<input type="checkbox"/> コミュニティ デザイン演習ⅠA [必1] <input type="checkbox"/> コミュニティ デザイン演習ⅠB [必1]	<input type="checkbox"/> コミュニティ デザイン演習ⅡA [必1] <input type="checkbox"/> コミュニティ デザイン演習ⅡB [必1]
特殊講義			<input type="checkbox"/> コミュニティ論特殊講義 (食文化) [2] <input type="checkbox"/> コミュニティ論特殊講義 (買い物) [2] <input type="checkbox"/> コミュニティ論特殊講義 (学校) [2] <input type="checkbox"/> コミュニティ論特殊講義 (プライダル) [2]	
特殊演習			<input type="checkbox"/> コミュニティデザイン特殊演習 (コミュニケーション) [1] <input type="checkbox"/> コミュニティデザイン特殊演習 (編集・制作) [1]	
卒業論文・卒業研究 (必修)				<input type="checkbox"/> 卒業論文・卒業研究 [必2]
資格科目 学部共通専門科目 他学科専門科目 他学部専門科目	<input type="checkbox"/> むさしの学 [2] <input type="checkbox"/> 人口学 [2] <input type="checkbox"/> 社会をデザインする女性たち [2]		<input type="checkbox"/> NPO・NGO論 [2] <input type="checkbox"/> 取材学 [2] <input type="checkbox"/> 祭りと文化 [2] <input type="checkbox"/> 食の安全 [2] <input type="checkbox"/> タウンマネジメント [2] <input type="checkbox"/> 高齢者の心理学 [2]	
必要単位数	20		46	

まちづくり学科 履修登録チェックリスト

前期課程（1-2年）

学籍番号	
氏名	

- ◆ _____ には履修科目名、() には単位数を記入。単位修得済み科目は右の□にチェック！
- ◆ 科目区分は『学生便覧』『教育課程（平成31（2019）年度以降入学生適用）』をご確認ください。

全学共通科目（42単位以上必要）

外国語科目（16）	導入科目（2）	その他（9）
A・B・C コース（※ABCいずれかに○）		科目区分
英語 (2) <input type="checkbox"/>	プロゼミⅠ (1) <input type="checkbox"/>	() <input type="checkbox"/>
英語 (2) <input type="checkbox"/>	プロゼミⅡ (1) <input type="checkbox"/>	() <input type="checkbox"/>
英語 (2) <input type="checkbox"/>		() <input type="checkbox"/>
英語 (2) <input type="checkbox"/>	教養科目（10）	() <input type="checkbox"/>
(2) <input type="checkbox"/>	(2) <input type="checkbox"/>	() <input type="checkbox"/>
(2) <input type="checkbox"/>	(2) <input type="checkbox"/>	() <input type="checkbox"/>
(2) <input type="checkbox"/>	(2) <input type="checkbox"/>	() <input type="checkbox"/>
(2) <input type="checkbox"/>	(2) <input type="checkbox"/>	() <input type="checkbox"/>
(2) <input type="checkbox"/>	(2) <input type="checkbox"/>	() <input type="checkbox"/>
※書ききれない場合は「その他」へ	※書ききれない場合は「その他」へ	※社会調査士課程では、共通専門科目の「社会調査法(2)」の履修が必要。
情報処理科目（2）	社会人形成科目（3）	
情報リテラシーⅠ (1) <input type="checkbox"/>	花蹊の教育とライフプラン・キャリアプラン (2) <input type="checkbox"/>	
情報リテラシーⅡ (1) <input type="checkbox"/>	ソーシャルマナー (1) <input type="checkbox"/>	
※書ききれない場合は「その他」へ	※書ききれない場合は「その他」へ	

学部専門科目（20単位以上必要）

基幹科目（自学科）（10）	演習（2）	その他（8）
社会学入門 (2) <input type="checkbox"/>	基礎ゼミナール(コミュニティ) (2) <input type="checkbox"/>	※科目区分
コミュニティデザイン入門 (2) <input type="checkbox"/>		() <input type="checkbox"/>
フィールドスタディ入門 (2) <input type="checkbox"/>		() <input type="checkbox"/>
(2) <input type="checkbox"/>		() <input type="checkbox"/>
(2) <input type="checkbox"/>		() <input type="checkbox"/>
(2) <input type="checkbox"/>		() <input type="checkbox"/>
(2) <input type="checkbox"/>		() <input type="checkbox"/>
(2) <input type="checkbox"/>		() <input type="checkbox"/>
※書ききれない場合は「その他」へ		※社会調査士課程では、学部共通専門科目の「社会調査入門(2)」、資格科目の「データの読み方(2)」「社会統計学(2)」の3科目の履修が必要。 ※他学部専門科目は4単位まで含めることができる。 ※自学部他学科の専門科目は他学部専門科目の単位と合わせて8単位まで含めることができる。

※このチェックリストは、ポータル「文書ライブラリ」からダウンロードできます。

1 専門科目の履修方法

卒業要件である124単位のうち、専門科目を前期課程（1・2年次）で20単位以上、後期課程（3・4年次）で46単位以上、あわせて66単位以上修得しなければなりません。下記の科目区分ごとに修得すべき単位数が学科別に定められているので、注意が必要です。

■ 心理学部専門科目・前期課程進級要件

科目区分	臨床心理学科修得単位数
総論	12単位以上
研究入門	2単位
実習	2単位
合計修得単位	上記要件を含み20単位以上 なお、20単位を超えて修得した単位を後期課程の学部専門科目として算入することはできない。

■ 心理学部専門科目・後期課程修得要件

科目区分	臨床心理学科修得単位数
各論	24単位以上
特殊演習	2単位以上
実習	
演習	4単位
卒業論文・卒業研究	2単位
合計修得単位	上記要件を含み46単位以上 なお、後期課程で修得した前期課程の学部専門科目並びに他学部専門科目の単位を算入することはできない。

2 科目区分の内容説明

(『学生便覧』「教育課程（平成31（2019）年度以降の入学生適用）V.心理学部」参照)

■ 前期課程から始まるもの

- 「**総論**」……その学問分野についての基礎的な知識と全体的な視野を学びます。
- 「**研究入門**」……2年次にその学問分野の基本的な研究手法を学びます。
- 「**実習**」……学修の支えとなる技術を実践的に体得します。

■ 後期課程から始まるもの

- 「**各論**」……その学問分野の中にある、さまざまな対象や領域を取り上げて考えます。
- 「**演習**」……各論や特殊講義の学修と連動させて、少人数のメンバーで、調査・研究・発表の方法を学びます。
- 「**特殊演習**」……その学問分野の中に含まれている、個別の問題やテーマに焦点をあわせて創作・研究・発表の方法を学びます。
- 「**卒業論文・卒業研究**」…積み重ねてきた学修を踏まえて、指導教員のサポートを得ながら、自分で見出した課題を具体的な論文や研究にまとめ上げることに挑みます。

心理学部 臨床心理学科 専門科目の履修

卒業に必要な専門科目の単位数は、前期課程20単位、後期課程46単位の所定修得単位数を含む66単位で、最低修得単位数は下記のとおりです。

心理学部臨床心理学科 進級・卒業要件単位

科目区分		修得要件	備考
前期課程	総論	12単位以上	「心理学概論」「臨床心理学概論」は必修
	研究入門	2単位	「心理学統計法」は必修
	実習	2単位	「心理学実験」は、2時限連続履修で2単位必修
前期課程合計		20単位以上	前期課程要件16単位を修得し、加えて前期課程の学部専門科目4単位以上を修得する。この4単位以上の中には、他学部専門科目を4単位までを含めることができる。なお、20単位を超えて修得した単位を後期課程の学部専門科目として算入することはできない。
後期課程	各論	24単位以上	
	特殊演習	2単位以上	特殊演習科目「心理演習」「遊戯・芸術療法」「心理的アセスメント」及び実習科目「健康心理アセスメント実習」「心理実習A」から1単位以上修得し、かつ、実習科目「心理実習B」又は「心理実習C」のどちらか1単位以上を修得する。
	実習		
	演習	4単位	必修4科目4単位 「臨床心理学演習ⅠA」 「臨床心理学演習ⅠB」 「臨床心理学演習ⅡA」 「臨床心理学演習ⅡB」
	卒業論文・卒業研究	2単位	必修1科目2単位
後期課程合計		46単位以上	後期課程要件32単位を修得し、加えて後期課程の学部専門科目14単位以上を修得する。この14単位の中に、他学部専門科目を8単位まで含めることができる。なお、後期課程で修得した前期課程の学部専門科目及び他学部専門科目の単位を算入することはできない。
合計修得単位数		66単位以上	

1 臨床心理学科の教育方法と基本姿勢

『学生便覧』の「教育課程(1) 単位と授業」の項で説明があるように、講義科目は、授業時間1時間に対し2時間の自習が前提となって単位が与えられます。ここで言う自習とは授業時間外の自発的学習を指していますが、2時間というのはあくまで目安であって、実際にどの位の時間を使うかは、本人の判断に任されています。しかしながら、必修科目の中には、授業時間外にどうしても多くの時間を取られるものがあります。これには講義科目だけでなく、実習科目も含まれます。従って、それらの科目の履修が同じ学期に集中すると、学習に困難が生ずる恐れがあるので、できるだけ分散して履修することができるように履修年次が指定されています。

また、科目区分の説明にも記したように、前期課程では心理学の基礎的な知識、研究方法を全体的な視野から修得し、後期課程ではさらに各領域の個別のテーマ、問題をさらに探求するとともに、演習や実習を通して体験的に学ぶことができるように授業が配置されています。この点に留意し、4年間を通して主体的自発的な学習を心がけていくことが大切です。

2 選択科目の履修について

まず、自分がどのような学習動機で臨んでいるかを確認してください。それによって、履修の仕方は異なってきます。以下に、学習動機別に履修の仕方を述べます。

- (1) 心理専門職（プロフェッショナル）をめざし、資格取得を優先させたい場合
- (2) 心理学の知識・スキルを職業（ワーク）に活かしたい場合
- (3) 心理学的・臨床心理学的素養を人生（ライフ）に活かしたい場合

(1) 心理専門職（プロフェッショナル）をめざし、資格取得を優先させたい場合

- ① 国家資格としての「公認心理師」の受験資格は、下記A、B、Cのいずれかのルートで得られます。

- A. 大学で「必要な科目」を修めて卒業かつ大学院で「必要な科目」を修めて修了すること
- B. 大学で「必要な科目」を修めて卒業かつ「特定の施設」で「特定の期間以上」「心理職の業務」に従事すること
- C. 上記2つと同等以上の知識及び技能があると認定されること

跡見学園女子大学心理学部臨床心理学科の開講科目には「必要な科目」（P.105参照）が含まれています。

- ② 「臨床心理士」の受験資格は、(公財)日本臨床心理士資格認定協会による指定大学院修士課程修了者に与えられています。大学院を受験する場合は、心理学の諸領域について幅広く学習する必要があります（詳しくは『臨床心理士になるために』（誠信書房）参照のこと）。
- ③ 「認定心理士」および「健康心理士」に関しては細かい履修条件がありますので、科目対照表（P.106～111）をよく見て履修科目を決めてください。特に「○～△の領域にわたり、◇科目以上、合計×単位以上必要とする」となっている場合には、その条件を必ず満たすように留意してください。「健康心理士取得ガイダンス」は4年生対象ですが、3年生以下でも詳しい情報が欲しい方は参加が可能です。
- ④ 日本心理学諸学会連合が実施している「心理学検定」を受験する場合は、そこで選択したい領域の授業を履修すれば、学習の参考になると考えられます（P.112）。

(2) 心理学の知識・スキルを職業（ワーク）に活かしたい場合

職種によって必要な基礎知識が異なりますので、目指す職場の関係者に話を聞くなど情報収集に努めてください。例えば、建築デザインの領域に進む場合には、「環境心理学（全学共通科目・前期課程）」が有益でしょうし、服飾関係に進む場合には、「装いの心理学（文学部共通専門科目・前期課程）」などが役に立ちます。更に、医療関係の職業に役立つと思われる科目も複数開講されています。

(3) 心理学的・臨床心理学的素養を人生（ライフ）に活かしたい場合

「シラバス」をよく読んで興味を持つような科目を選択することになります。専門職を目指したり、実用志向で科目選択をするだけが大学生のあり方ではなく、知的好奇心や学問的関心に基づいた科目選択や、教養を高める、楽しい、面白い世界に触れる経験も大切ですので、他学部の科目なども含めて、いろいろと探してみてください。

3 前期課程（第1 Semester～第4 Semester）における留意点

[1] 必修科目

1年次：総論「心理学概論」「臨床心理学概論」

2年次：研究入門「心理学統計法」 実習「心理学実験」

以上の科目は、前期課程の必修科目ですので必ず修得してください。

[2] 後期課程「心理演習」「心理実習A」「心理実習B」「心理実習C」履修に向けての前期課程での準備

「公認心理師」受験資格を得るためには「心理実習A」（保健医療分野）と「心理実習B」（教育分野）の両方の修得が必要です。

(1) 履修要件

「心理演習」「心理実習A」「心理実習B」「心理実習C」を後期課程で履修するためには、前期課程・後期課程で修得済みである必要のある科目が定められています。

「心理実習A」：前期課程 総論 必修科目「心理学概論」「臨床心理学概論」

前期課程 総論 選択科目「人体の構造と機能及び疾病」

後期課程 各論 選択科目「精神疾患とその治療」

後期課程 特殊演習「心理演習」

「心理実習B」：前期課程 総論 必修科目「心理学概論」「臨床心理学概論」

前期課程 総論 選択科目「教育・学校心理学」

後期課程 各論 選択科目「障害者・障害児心理学」

後期課程 特殊演習「心理演習」

「心理実習C」：前期課程 総論 必修科目「心理学概論」「臨床心理学概論」

「心理演習」：心理実習A・心理実習Bの履修を予定し、かつ、それぞれの前期課程の履修要件を満たしていること

これらの科目のうち 前期課程の科目は、3年生の春学期、すなわち第5 Semesterで修得しても、その年の心理実習を履修することはできません。また、「心理実習A」「心理実習B」「心理実習C」を4年次で履修するためには、3年次までに新座キャンパスで、総論のそれぞれの履修の条件を修得し終えなければなりません。4年生の春学期、すなわち第7 Semesterで修得しても、その年の心理実習を履修することはできません。

また、後期課程の科目については、3年生または4年生の春学期に修得できなかった場合、当該年度の心理実習AおよびBを履修することはできません。

(2) 推奨科目

また、「心理実習A」「心理実習B」では、履修要件ではありませんが、履修をすることを勧める「推奨科目」も設けられています。「心理実習A」「心理実習B」は、公認心理師になるための科目のため、学外施設で対象者とかかわりを持つ実習になります。対象者に対し失礼な行動をとることは許されません。実習に真摯に取り組むために、推奨科目も併せて履修をするように心がけてください。

「心理実習A」推奨科目 後期課程「公認心理師の職責」「心理実習B」

「心理実習B」推奨科目 後期課程「公認心理師の職責」「心理実習A」

[3] 「心理実習A～C」および「心理演習」受講にあたっての希望調査

後期課程に開講される以下の科目の履修に向けて、2年次秋学期（第4セメスター）に希望調査を実施します。なお、希望調査を実施するにあたり、「心理演習」「心理実習A」「心理実習B」「心理実習C」の授業概要および履修上の注意点や条件など（P.95～99）を必ず事前に確認しておくようにしてください。

- (1) 後期課程 特殊演習・実習科目 「心理演習」「心理実習A」「心理実習B」「心理実習C」の希望者数を確認するため
- (2) 後期課程 実習科目 「心理実習B」「心理実習C」のいずれか一方を必修科目として登録するため

[4] 実習「心理学実験」（2限連続）

◎2年生になると「心理学実験」という科目が始まります。心理学の4領域（実験系、教育系、社会系、臨床系）のうち、臨床系以外の学問的知見は主として実験や調査によって得られていますので、これらの領域を理解するためには、実験を体験しておく必要があります。

また、最近は臨床系の研究も、単に事例研究だけでなく実験や調査を含んだものがあり、実験はすべての領域の理解に役立ちます。将来研究者になる場合には、学部段階で、実験のやり方についてある程度の訓練を受けておく必要があります。そのような意味で、この実験科目は必修科目になっています。

心理学実験は、実験室や実験器具・コンピュータを使用するため、グループに分かれて履修することになります。このグループは、学籍番号に基づいて、機械的に振り分けが指定されますので、自分のポータル時間割で確認してください。万一、履修上の不都合が生じる場合にはグループ変更の対処を致しますので、担当者に申し出てください。授業は2限連続履修となります。個人が単独で行う活動でなく、グループ活動として行うため、遅刻や欠席をするとグループの他のメンバーに多大な迷惑が及びます。従って、履修を開始する段階で遅刻や欠席をゼロにする決意をしておいてください。後から別の実験で埋め合わせるようなことはできません。

4 後期課程（第5セメスター～第8セメスター）における留意点

[1] 特殊演習 「心理演習」

(1) 授業概要

1. 役割演技（ロールプレイング）や事例検討を行いながら、心理に関する支援を要する者等に関する理解とニーズの把握及び支援計画の作成と援助技能（コミュニケーション、心理検査、心理面接、地域支援等）、また現実生活を視野に入れたチームアプローチ、多職種連携及び地域連携、公認心理師としての職業倫理及び法的義務等に関する知識、技能を学びます。
2. 上記に加えて、「心理実習A」「心理実習B」の事前指導に相当する内容が含まれます。

(2) 履修の条件

この科目を履修するためには、以下の要件を満たさなければなりません。

1. 「心理演習」は、公認心理師受験資格科目「心理実習（80時間以上）」である「心理実習A」「心理実習B」の事前指導の内容が含まれています。従って、「心理実習A」「心理実習

B] の履修を予定し、かつ、それぞれの前期課程の履修要件を満たした者が「心理演習」を履修することができます。

[2] 「心理実習 A」(秋学期)(保健医療分野)

(1) 授業概要

1. 3・4年次の選択科目であり、秋学期に開講します。
2. 本学では、「心理実習 A」「心理実習 B」の両方を履修することで、(国が定めた)公認心理師になるために必要な科目「心理実習」の履修をしたこととなります。心理実習では、医療機関の実習を行うことが必須条件であり、本学では、心理実習 A で医療機関の実習を行います。ほかに、福祉施設での実習も行います。
3. 実習は8月から始まります。8月には、福祉施設の見学実習を行う予定です。施設のご都合で見学日程が決まるので、決まるまでは、8月に個人的な予定を入れないようにしてください。但し、定期試験期間、お盆、祝日、土日には実習は入りません。
9月から12月にかけて、医療機関(精神科病院ないし精神科クリニック)で3日間の実習があります。主にデイケアにおいて患者さんと一緒にプログラムに参加し、デイケアの先生の補助をします。実習時期は、心理実習 B の学校での実習と重ならないようにスケジュールを組むことを優先しますので、自分が希望した医療機関に行けるとは限りません。
4. 実習前の事前学習、実習終了後の事後学習を学内で行います。授業日は、ポータルや心理演習の授業時に連絡しますので、確認を忘れないようにしてください。事前学習に欠席した場合は、実習には参加できません。事後学習も、実習内容や自己の達成度の振り返りを行う重要な授業となりますので、必ず出席してください。
5. 実習費の徴収があります(6,000円の予定)。障害者就労支援施設見学では、障害者福祉への貢献として障害者の方たちが作ったお菓子を希望者は購入できます(300円程度)。
なお、大学から実習施設に実習の依頼を行った時点から、実習は開始されています。実習先が決定した後に、学生の都合で実習を辞退した場合は、実習費の返還は行われませんのでご了承ください。

(2) 履修上の注意

1. 公認心理師受験資格科目「心理実習(80時間以上)」のためには、「心理実習 A(選択科目)」「心理実習 B(選択必修科目)」の両方の単位修得が必要です。「心理実習 A」と「心理実習 C(選択必修科目)」との組み合わせでは、「心理実習(80時間以上)」の科目にはならないので、十分注意してください。
2. 公認心理師受験資格科目「心理実習(80時間以上)」であるためには、医療機関の実習が必須条件です。そのため、医療機関の実習を欠席した場合は、「心理実習 A」の単位は修得できません。
3. 欠席は許されない授業です(ただし、忌引、感染症等『学生便覧』で定められている欠席の場合は除く)。また、医療機関の実習を欠席した場合に、別の医療機関の実習に振り替えることはできません。

(3) 履修の条件

「心理実習 A」を履修するためには、以下の要件を満たさなければなりません。

1. 履修希望者は2年次秋学期オリエンテーションに履修希望届を提出します。
2. 履修希望者は2年次終了時まで、(前期課程1年次必修)「心理学概論」「臨床心理学概論」ならびに(前期課程1・2年次選択)「人体の構造と機能及び疾病」を履修していること。

さらに、3年次春学期までに「心理演習」「精神疾患とその治療」を履修していること。

3. 公認心理師受験資格科目のため、履修希望者は大学で必要な科目25科目（P.105）すべての取得を目指す必要があります。
4. 推奨科目として、（後期課程）「公認心理師の職責」「心理実習B」があります。履修要件ではありませんが、充実した実習にするために履修をすることを勧めます。

〔3〕「心理実習B」（秋学期）（教育分野）

（1）授業概要

1. 3年次の選択必修科目であり、秋学期に開講します。
2. 実習にあたっての事前指導は「心理実習B」の履修条件である「心理演習」（後期課程3年次春学期）の一部に組み込み、実施します。つまり「心理演習」では、心理に関する支援を要する者等に関する理解とニーズの把握及び支援計画の作成と援助技能、多職種連携及び地域連携等について学ぶと共に、「心理実習B」の事前指導として、学校での実習におけるオリエンテーション・ガイダンスと心理教育的な援助について講義・演習を通して学びます。心理教育的援助サービスの援助の具体例や、学校教育システム、児童生徒の発達課題や教育課題、心理に関する支援を要する者へのチームアプローチ、多職種連携及び地域連携、公認心理師としての職業倫理及び法的義務への理解を深め、実際の子どもたちへのかかわり方を身につけます。
3. 学校での実習では、学校の担当教員や関係教職員の指示に従い、児童生徒理解と対応の観察（例 授業や学級活動、行事、保健室における養護場面等の観察）や児童生徒との人間関係づくりの実習（例 休み時間や給食時のかかわり）、相談活動のすすめ方に関する体験学習をします。心理教育的援助サービスのあり方について実践的に学習し、心理に関する支援を要する者へのチームアプローチ、多職種連携及び地域連携、公認心理師としての職業倫理及び法的義務について理解を深めます。
4. 実習先は、新座市・和光市・戸田市の小学校や中学校等及び跡見学園中学校高等学校になります。

（2）履修上の注意

1. 公認心理師受験資格科目「心理実習（80時間以上）」のためには、「心理実習A（選択科目）」「心理実習B（選択必修科目）」の両方の単位修得が必要です。「心理実習A」と「心理実習C（選択必修科目）」との組み合わせでは、公認心理師受験資格科目「心理実習」の80時間以上という要件を満たせないで、十分注意してください。
2. 実習にあたっては、実習費（6,000円）がかかります。
なお、大学から実習施設に実習の依頼を行った時点から、実習は開始されています。実習先が決定した後に、学生の都合で実習を辞退した場合は、実習費の返還は行われませんのでご了承ください。
3. 実習準備期間及び実習期間において、実習に取り組む態度が不良の場合は、実習中止となることがありますので、積極的な気構え、真摯な態度で取り組むよう、特に留意してください。

（3）履修の条件

「心理実習B」を履修するためには、以下の要件を満たさなければなりません。

1. 履修希望者の3年次履修は2年次秋学期オリエンテーション、4年次履修は3年次秋学期オリエンテーションに履修希望届を提出します。

2. 前期課程総論必修科目「心理学概論」「臨床心理学概論」、前期課程総論選択科目「教育・学校心理学」、後期課程春学期各論選択科目「障害者・障害児心理学」、後期課程春学期特殊演習「心理演習」を修得したものが「心理実習B」を履修することができます。
3. 「心理演習」の学校実習にあたってのオリエンテーション・ガイダンスに必ず出席し（ただし、忌引、感染症等『学生便覧』で定められている欠席の場合は除く）、本学指定の「誓約書」を提出すること。
4. 公認心理師受験資格科目のため、履修希望者は大学で必要な科目25科目（P.105）すべての取得を目指す必要があります。
5. 推奨科目として、（後期課程）「公認心理師の職責」「心理実習A」があります。履修要件ではありませんが、充実した実習にするために履修をすることを勧めます。

(4) 実習日程

実習日程は9～11月頃を予定しています。

[4] 「心理実習C」(春学期) (福祉分野、司法・犯罪分野)

(1) 授業概要

1. 3年次の選択必修科目であり、春学期に開講します。
2. 福祉分野（児童相談所、保育園等）および司法・犯罪分野（少年院、少年鑑別所等）で、見学を中心とした実習を行います。各施設の心理・多職種職員から、非行や被虐待体験等のために支援が必要な方と、その関係者の方に実施している面接、検査、観察およびその分析によって、どのような支援目標を設定するかの指導を受けます。さらに、現場での多職種連携支援や、地域内・地域間連携支援の実施状況を見学・体験します。

見学前に、学内で事前ガイダンスを実施し、同種施設の心理・多職種職員による講演、ビデオの視聴、討論、ケースカンファレンスなどを実施し、現場に対するイメージを作ります。見学終了後は、学内で事後ガイダンスを実施し、討論を行い、学生相互の経験をシェアします。さらに、報告書を作成することで体験を客観的に分析します。

(2) 履修の条件

「心理実習C」を履修するためには、以下の要件を満たさなければなりません。

- ① 前期課程必修専門科目のうち、「心理学概論」「臨床心理学概論」の単位修得者であること
- ② 本実習のオリエンテーションやガイダンスに全日程出席することが必要です。

欠席は許されない授業です（ただし、忌引き、感染症等、『学生便覧』で定められている欠席の場合は除きます）。出欠席の詳細については、『学生便覧』の「成績の評価及び単位の認定に関する規程」をよく読んでください。特に、「第二章 出席」と「第六章 追試験及び小論文の期間外提出」について熟読しておいてください。

(3) 日程および内容

学内でのオリエンテーションやガイダンスは土曜日の午後に行います。そこでは、主に(1)の2.に記載した事前ガイダンスを実施しますので、全日程出席する必要があります。事前ガイダンスに出席することは、施設見学・実習のための必須条件です。即ち、領域ごとに実施される事前ガイダンスを欠席した者は、それに対応する施設見学・実習に参加することはできません。

施設見学・実習は、主に夏休み等の長期休暇（8月または9月）を利用して行きますが、授業期間中の平日に行く場合もあります。見学・実習については、決定した日程のみで行いま

すので、履修者の希望は一切認められません。新たな日程を追加することも不可能であるため、先に述べた忌引き、感染症等、『学生便覧』の「成績の評価及び単位の確認に関する規程」に記載されている事由であっても、欠席者はその施設見学・実習に参加することはできません。

(4) 実習参加態度

貴重な体験ができる充実した科目ではありますが、訪問先での服装や身だしなみに条件がつけられますし、遅刻欠席は許されません。覚悟の上、履修してください。跡見学園女子大学の学生であることを十分自覚し、行動を慎んでください。見学先への往路復路も授業中であることを忘れてはいけません。移動中の行動も思慮深い行動を取ることが必要です。また見学が終了した後は、速やかに帰宅してください。

(5) 履修上の留意点

「心理実習C」を履修する際には、以下の点に十分留意してください。

- ・後期課程（3・4年生）の科目区分「実習」科目のうち、「心理実習B」と「心理実習C」は、3年次において、いずれか一方を必修科目として登録しなければなりません。
- ・なお、「心理実習C」は受講生数の上限は設けません。

[5] 「臨床心理学演習 I A・I B」、「臨床心理学演習 II A・II B」、「卒業論文・卒業研究」

(1) 授業概要

3年生では「臨床心理学演習 I A」「臨床心理学演習 I B」、4年生では「臨床心理学演習 II A」「臨床心理学演習 II B」、「卒業論文・卒業研究」という必修科目が開講されます。これらの科目は次のような特色を持っています。

- ・臨床心理学における特定のテーマについて、少人数クラスで1年間を通してじっくりと学ぶことを目的としています。
- ・「臨床心理学演習 I A」「臨床心理学演習 I B」「臨床心理学演習 II A」「臨床心理学演習 II B」はそれぞれ1単位、「卒業論文・卒業研究」は2単位です。
- ・原則として、演習担当教員が各学年のアカデミックアドバイザーになります。
- ・3年次の「臨床心理学演習 I A」「臨床心理学演習 I B」から4年次の「臨床心理学演習 II A」「臨床心理学演習 II B」に移行する際には、同じ教員の演習を履修することが原則となっています。
- ・4年次の「臨床心理学演習 II A」「臨床心理学演習 II B」、「卒業論文・卒業研究」は、3年間に積み重ねてきた学習の集大成として、卒業年次において演習の指導教員の指導援助のもとに、深く専門的な研究を行い、一つの形にするというものです。3年生のうちに自分が取り組もうとしている研究や論文の主題と関係のある科目を履修して、特定のテーマに関する理解を深めておいてください。

(2) 受講者の振り分け

後期課程演習科目「臨床心理学演習 I A」「臨床心理学演習 I B」担当者（ゼミ）登録のため、2年次秋学期（第4セメスター）に希望調査を実施し、振り分けを行います。

5 心理学部臨床心理学科 開設科目と履修モデル

[1] 専門科目の種類と履修年次

66単位以上

区分	1年	2年	3年	4年
総論・各論	総論（12単位以上）		各論（24単位以上）	
	必修4単位		特殊演習科目「心理演習」「遊戯・芸術療法」「心理的アセスメント」及び実習科目「健康心理アセスメント実習」「心理実習A」のうち 選択必修1単位以上 実習科目「心理実習B」「心理実習C」のうち 選択必修1単位以上	
実習		実習 2単位以上 (必修2単位含む)		
特殊演習				
研究入門・演習		研究入門 (必修2単位)	臨床心理学演習ⅠA 臨床心理学演習ⅠB (必修2単位)	臨床心理学演習ⅡA 臨床心理学演習ⅡB (必修2単位)
自学科専門科目・他学部専門科目	他学部専門科目は4単位まで		他学部専門科目は8単位まで	
卒業論文・卒業研究				卒業論文・卒業研究 (必修2単位)
必要単位数	20		46	

〔2〕履修モデルとその核となる科目

将来像にあわせて3つの履修モデルをまとめてありますので、履修計画を立てる際の参考にしてください（P.101～103参照）。

■ ①心理専門職モデル（「プロフェッショナル」モデル）

区分	1年	2年	3年	4年	
全学共通科目	外国語科目	英語AⅠa [2] 英語AⅠb [2] 英語AⅡa [2] 英語AⅡb [2]	英語AⅢa [2] 英語AⅢb [2] 英語AⅣa [2] 英語AⅣb [2]		
	情報処理科目	情報リテラシーⅠ [必1] 情報リテラシーⅡ [必1]			
	導入科目	プロゼミⅠ [必1] プロゼミⅡ [必1]			
	教養科目	哲学 [2] 健康科学 [2] ボランティア論 [2] 生理学 [2] 科学史 [2]		深層心理学 [2] 精神病理学 [2] 公衆衛生論 [2] ジェンダー論 [2] 労働法 [2]	
	共通専門科目	コミュニティ心理学 [2] フィールドワーク方法論 [2]		家族心理学 [2]	
	社会人形成科目	花咲の教育とライフプラン・キャリアプラン [必2] ソーシャルマナー [必1]	ストレス・マネジメント [2] 対人関係のスキル [2] パーソナリティを考える [2]	日本語演習 [1]	
	総合科目			総合科目（地域社会） [2] 総合科目（生活と環境） [2]	
臨床心理学科専門科目	「総論」（前期課程）	※心理学概論 [必2] ※臨床心理学概論 [必2]		※神経・生理心理学 [2] ※感情・人格心理学 [2] ※心理学的支援法 [2] ※公認心理師の職責 [2] ※関係行政論 [2] ※健康・医療心理学 [2] ※福祉心理学 [2]	
	「各論」（後期課程）	※心理学研究法 [2] ※知覚・認知心理学 [2] ※学習・言語心理学 [2] ※発達心理学 [2]		※障害者（児）心理学 [2] ※産業・組織心理学 [2] ※司法・犯罪心理学 [2] ※精神疾患とその治療 [2] 子どものこころとからだ [2]	
	特殊演習			※心理演習 [2] ※心理的アセスメント [1]	
	実習		※心理学実験 [必2]	※心理実習B [1] ※心理実習A [1]	
	研究入門・演習		※心理学統計法 [必2]	臨床心理学演習ⅠA [必1] 臨床心理学演習ⅠB [必1]	臨床心理学演習ⅡA [必1] 臨床心理学演習ⅡB [必1]
	卒業論文・卒業研究				卒業論文・卒業研究 [必2]
	自学科専門科目 他学部専門科目 など	※教育・学校心理学 [2] ※社会・集団・家族心理学 [2] ※人体の構造と機能及び疾病 [2] 教育相談及びカウンセリング [2]		力動的アプローチ [2] 心身医学 [2] 学校臨床心理学 [2] 臨床教育学 [2] 発達障害の心理と指導援助 [2] 認知行動療法 [2] 家族療法論 [2]	
単位数	43+24 = 67単位		17+49 = 66単位		

※は公認心理師受験のための「必要な科目」

「教育相談及びカウンセリング」は「教職科目」のため、進級・卒業要件単位には含まれません。

[]内の数字は単位数

■ ②臨床心理学活用モデル（「ワーク」モデル）

	区 分	1年	2年	3年	4年
全学共通科目	外国語科目	英語AⅠa [2] 英語AⅠb [2] 英語AⅡa [2] 英語AⅡb [2]	英語AⅢa [2] 英語AⅢb [2] 英語AⅣa [2] 英語AⅣb [2]		
	情報処理科目	情報リテラシーⅠ [必1] 情報リテラシーⅡ [必1]			
	導入科目	プロゼミⅠ [必1] プロゼミⅡ [必1]			
	教養科目	ボランティア論 [2] 経済学 [2] 情報科学 [2] 健康科学 [2] 認識論 [2]		労働法 [2] 精神病理学 [2] 公衆衛生論 [2]	
	共通専門科目	イベント論 [2] コミュニティ心理学 [2] 環境心理学 [2]		マーケティング心理学 [2] プロダクトデザイン論 [2]	
	社会人形成科目	花蹊の教育とライフプラン・キャリアプラン [必2] ソーシャルマナー [必1]	ストレス・マネジメント [2] 職業人のルールとモラル [2] 対人関係のスキル [2] プレゼンテーション演習 [1]	日本語演習 [1] 簿記会計演習Ⅰ [1] ITパスポート演習Ⅰ [1] ビジネス実務法務検定演習 [1]	
	総合科目			総合科目（キャリア） [2]	
臨床心理学科専門科目	「総論」 （前期課程）	心理学概論 [必2] 臨床心理学概論 [必2]		データ解析 [2] 実験計画法 [2] 視覚と芸術の心理学 [2] 健康心理アセスメント [2] キャリアアカウンセリング [2] 福祉心理学 [2] 産業・組織心理学 [2] 精神疾患とその治療 [2] 心身医学 [2] 思考心理学 [2] 心理学的支援法 [2] 司法・犯罪心理学 [2]	
	「各論」 （後期課程）	知覚・認知心理学 [2] 学習・言語心理学 [2] 社会・集団・家族心理学 [2] 健康教育概論 [2]			
	特殊演習			遊戯・芸術療法 [1]	
	実習		心理学実験 [必2]	心理実習C [1] 健康心理アセスメント実習 [2]	
	研究入門・演習		心理学統計法 [必2]	臨床心理学演習ⅠA [必1] 臨床心理学演習ⅠB [必1]	臨床心理学演習ⅡA [必1] 臨床心理学演習ⅡB [必1]
	卒業論文・卒業研究				卒業論文・卒業研究 [必2]
	自学科専門科目 他学部専門科目	社会調査入門 [2] マーケティング入門 [2]		感情・人格心理学 [2] 産業カウンセリング [2] 対人コミュニケーション論 [2] コミュニケーション心理学 [2] 広報マネジメント [2] 健康管理論 [2]	
単位数		42+20 = 62単位		16+46 = 62単位	

[]内の数字は単位数

■ ③自己実現モデル（「ライフ」モデル）

区分		1年	2年	3年	4年
全学共通科目	外国語科目	英語AⅠa [2] 英語AⅠb [2] 英語AⅡa [2] 英語AⅡb [2]	英語AⅢa [2] 英語AⅢb [2] 英語AⅣa [2] 英語AⅣb [2]		
	情報処理科目	情報リテラシーⅠ [必1] 情報リテラシーⅡ [必1]			
	導入科目	プロゼミⅠ [必1] プロゼミⅡ [必1]			
	教養科目	歴史理論 [2] 百人一首 [2] 家政学 [2] 哲学 [2] 保育学 [2] 健康科学 [2]		児童文学 [2] ファッション論 [2] 深層心理学 [2] 天文学 [2] 農林科学 [2]	
	共通専門科目	環境心理学 [2] 人間関係論 [2]		家族心理学 [2]	
	社会人形成科目	花蹊の教育とライフプラン・キャリアプラン [必2] ソーシャルマナー [必1]	「自分らしさ」を探る [2] ストレス・マネジメント [2]	日本語演習 [1] 色彩検定演習 [1]	
	総合科目			総合科目（生活と環境） [2]	
臨床心理学科専門科目	「総論」（前期課程）	心理学概論 [必2] 臨床心理学概論 [必2]		視覚と芸術の心理学 [2] 感情・人格心理学 [2] 道徳心理学 [2] 高齢者の心理学 [2] 心理学的支援法 [2] 家族療法論 [2] 健康心理カウンセリング [2] 健康・医療心理学 [2] 産業・組織心理学 [2] 精神疾患とその治療 [2] 言語心理学 [2] 心理教育的アセスメント [2]	
	「各論」（後期課程）	発達心理学 [2] 社会・集団・家族心理学 [2] 教育・学校心理学 [2] 心理学史 [2]			
	特殊演習				
	実習		心理学実験 [必2]	健康心理アセスメント実習 [2] 心理実習C [1]	
	研究入門・演習		心理学統計法 [必2]	臨床心理学演習ⅠA [必1] 臨床心理学演習ⅠB [必1]	臨床心理学演習ⅡA [必1] 臨床心理学演習ⅡB [必1]
	卒業論文・卒業研究				卒業論文・卒業研究 [必2]
	自学科専門科目 他学部専門科目	装いの心理学 [2] 現代社会と文化表現 [2]		青年期の発達心理学 [2] 福祉心理学 [2] 子どものこころとからだ [2] コミュニケーション心理学 [2] 老いと女性 [2] 女性のキャリアデザイン [2] 食と健康 [2]	
	単位数	43+20 = 63単位		16+47 = 63単位	

[]内の数字は単位数

6 科目対照表

[1] 公認心理師

「公認心理師」は、心理職で日本における初めての国家資格です。公認心理師の名称を用いて、保健医療、福祉、教育その他の分野において、心理学に関する専門的知識及び技術をもって、次に掲げる行為を行うことを業とする者をいいます。

- (1) 心理に関する支援を要する者の心理状態の観察、その結果の分析
- (2) 心理に関する支援を要する者に対する、その心理に関する相談及び助言、指導その他の援助
- (3) 心理に関する支援を要する者の関係者に対する相談及び助言、指導その他の援助
- (4) 心の健康に関する知識の普及を図るための教育及び情報の提供

なお、公認心理師法は、平成27年9月9日に議員立法により成立し、9月16日に公布され、平成29年9月15日に施行されました。

公認心理師となるために必要な科目については、公認心理師法に規定されており、さらに具体的な科目については、公認心理師法施行規則に規定されています。学部の授業科目では25科目が定められています。

ただし、大学（学部）で必要となる科目の単位をすべて取得しても、卒業後すぐに受験できるわけではありません。学部卒での受験には主要5分野における特定の施設で、特定の期間（2年以上）の実務経験が必要となります。また、大学院に進学し、大学院で公認心理師となるために必要な科目を取得することで、公認心理師受験資格が得られるルートもあります。この場合も、学部で受験に必要な科目を履修していることが必要ですので注意してください（このルートの場合、受験の条件としての実務経験は不要です）。受験資格の3つのルートについては、P.93を参照してください。

「公認心理師法の施行について（別紙1）」大学における必要な科目 (29文科初第875号障発0915第7号平成29年9月15日)	
1	公認心理師の職責
2	心理学概論
3	臨床心理学概論
4	心理学研究法
5	心理学統計法
6	心理学実験
7	知覚・認知心理学
8	学習・言語心理学
9	感情・人格心理学
10	神経・生理心理学
11	社会・集団・家族心理学
12	発達心理学
13	障害者・障害児心理学
14	心理的アセスメント
15	心理学的支援法
16	健康・医療心理学
17	福祉心理学
18	教育・学校心理学
19	司法・犯罪心理学
20	産業・組織心理学
21	人体の構造と機能及び疾病
22	精神疾患とその治療
23	関係行政論
24	心理演習
25	心理実習（80時間以上）
「公認心理師法の施行について（別紙1）」大学院における必要な科目 (29文科初第875号障発0915第7号平成29年9月15日)	
1	保健医療分野に関する理論と支援の展開
2	福祉分野に関する理論と支援の展開
3	教育分野に関する理論と支援の展開
4	司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開
5	産業・労働分野に関する理論と支援の展開
6	心理的アセスメントに関する理論と実践
7	心理支援に関する理論と実践
8	家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践
9	心の健康教育に関する理論と実践
10	心理実践実習

[2] 健康心理士

1. 資格取得に必要な科目は（１）健康心理学基礎科目（２）健康心理学専門必修科目（３）健康心理学関連選択科目の3つのカテゴリーから構成されます。
2. 下記の（１）健康心理学基礎科目の科目例の中のアンダーラインの科目は、できればその科目を設置し、履修させるのが望ましいことを意味しています。
3. 科目名は完全に一致していなくても、内容が一致していれば可とします。
4. （１）（２）（３）の合計10科目20単位以上必要です。
5. 半期週1回100分の授業をもって2単位（1科目）とします。
6. 必要な科目1科目に対して、本学において該当する1科目の修得をもって可とします。

			内 容	科 目 例	必要 単位	本学科で開設されて いる科目	単位	履修 年次
健康心理学基礎科目	A 領域	心理学概論	心理学の基礎分野を網羅する概説的な講義	心理学概論	2 単位 必修	心理学概論	2	1
				行動科学				
				一般心理学				
				基礎心理学				
	B 領域	心理学研究法	心理学の実験的・実証的研究をするのに必要な研究法の講義または実習	情報処理	2 単位 必修	データ解析	2	3～4
				心理統計法		心理学統計法	2	2
				心理学基礎実験		心理学実験	2	2
				心理学研究法		心理学研究法	2	1～2
				実験心理学				
				心理学特殊実験 心理学実験演習 教育心理学研究法 教育心理学実験演習 心理測定法				
	C 領域	学習心理学 感情心理学 生理心理学 発達心理学 教育心理学	健康習慣の形成、行動変容のための学習理論や認知・感情と生理反応等に関する講義、生涯にわたる発達心理学や教育心理学の基礎に関する講義	認知心理学	C、 D、 E 領域から2 領域を 選び、 各1科目 合計8 単位以上 必要	知覚・認知心理学	2	1～2
				生理心理学		神経・生理心理学	2	3～4
				発達心理学		発達心理学	2	1～2
				青年心理学		青年期の発達心理学	2	3～4
				老年心理学		高齢者の心理学	2	3～4
生徒指導論				生徒指導及び進路指導		2	1～2	
学校心理学				教育・学校心理学		2	2	
学習心理学				学習・言語心理学		2	1～2	
教育心理学								
感情心理学								
神経心理学 比較心理学 児童心理学 生涯発達心理学 教科学習の心理学 教育評価								

			内 容	科 目 例	必要 単位	本学科で開設されて いる科目	単位	履修 年次
健康心理学基礎科目	D領域	臨床心理学 人格心理学	臨床心理学や人格心理学の基礎、パーソナリティ診断と治療に関する講義等	臨床心理学 人格心理学 家族心理学 行動療法 福祉心理学 心理診断法 行動障害論 異常心理学 適応障害論 心理療法 カウンセリング	C、D、E領域から2領域を選び、各1科目合計8単位以上必要	臨床心理学概論	2	1
	E領域	社会心理学 組織心理学	社会心理学や組織心理学の基礎についての講義	社会心理学 人間関係論 環境心理学 組織心理学 コミュニケーション心理学 実験社会心理学 集団力学 職業心理学 文化心理学		感情・人格心理学 家族心理学 認知行動療法 福祉心理学 社会・集団・家族心理学 人間関係論 環境心理学 産業・組織心理学 コミュニケーション心理学	2 2 2 2 2 2 2 2	3~4 3~4 3~4 3~4 1~2 1~2 1~2 3~4 3~4
健康心理学専門必修科目	F領域	健康心理学概論	健康心理学の以下領域を網羅した講義。例えば、健康心理学の意義、ストレス、心身症、慢性病、健康行動、ライフスタイル、健康とパーソナリティ、ヘルスケアシステム、健康心理アセスメント、健康心理カウンセリング等、健康の維持・増進、疾病の予防と治療にかかわる内容を含んでいること。	健康心理学 健康心理学概論 健康心理学入門	F~Jの5領域にわたり、各領域1科目以上、合計10単位以上必要とする	健康・医療心理学	2	3~4
	G領域	健康教育概論	生涯発達の各領域（児童・青年・中年・老年期）と人間生活の各場面（家族・学校・地域・企業・医療等）での健康教育の意義とその計画・実施・評価の方法等の内容を含んでいること。	健康教育概論 健康教育 健康学習 健康保健学 地域保健学 企業内健康教育 医療場面での健康教育 生涯発達と健康教育		健康教育概論	2	1~2

			内 容	科 目 例	必要 単位	本学科で開設されて いる科目	単位	履修 年次
健康 心 理 学 専 門 必 修 科 目	H 領 域	健康心理カウ セリング概論	一般カウンセリ ングでは悩みや 心の病気をもつ 人の治療・援助 を目的とするの に対して、健康 心理カウンセリ ングは主として 健康の維持・増 進、疾病の予防 や治療のための 習慣形成・行動 変容の援助、お よび治療過程・ 事例などの内容 を含んでいるこ と。	健康心理カウンセリング入門	F J の 5 領 域 に わ た り 、 各 領 域 1 科 目 以 上 、 合 計 10 単 位 以 上 必 要 と す る	健康心理カウンセリング	2	3～4
				健康心理相談論				
	I 領 域	健康心理アセ スメント概論	健康心理アセス メントの基本事 項、アセスメン トの目的・方法、 各技法の特色・ 内容適応症、倫 理問題等につい ての講義	健康心理アセスメント		健康心理アセスメント	2	3～4
				医療場面での心理アセスメント		心理的アセスメント	1	3～4
	J 領 域	健康心理学 基礎実習 (健康心理カウ セリング実習)	一般カウンセリ ングの基本的技 法を理解した上 で、ビデオ教材 やロールプレー などによる健康 心理カウンセリ ングの実習、指 導者が実施して いる健康心理カ ウンセリングの 観察・参加、健 康関連施設見学 等を含んでいる こと。健康問題 の種類や症状に 応じて、マイク ロカウンセリング 、行動カウ セリング、認知 行動カウンセリ ング、交流分析、 自律訓練法、理 性感情行動療法 等の技法を組み 合わせて介入・ 指導できるため の初歩的実習を 含む。	マイクロカウンセリング		心理実習B	1	3
				行動カウンセリング		心理実習C	1	3
				認知行動療法		心理実習A	1	3
				交流分析カウンセリング				
				自律訓練法				
				理性感情行動療法				

[3] 認定心理士

認定心理士資格認定細則

以下のURLを参照してください。

<https://psych.or.jp/qualification/regulations/>

<https://psych.or.jp/wp-content/uploads/2017/09/k10-3.pdf>

認定心理士取得のための科目（修正版）

2022年4月1日

認定心理士科目		本学開講のカリキュラム科目 (太字は本学の必修科目)	注	本学の 単位	認定心理士 取得の 単位数	必要単位
基礎 科 目	a：心理学概論	基本主題	心理学概論		2	2
		副次主題	心理学史		2	1
			学習・言語心理学/人間の行動	※1	2	1
			発達心理学	※1	2	1
			臨床心理学概論/臨床心理学	※1	2	1
			感情・人格心理学/人格心理学	※1	2	1
			社会・集団・家族心理学/ 社会心理学	※1	2	1
	b：心理学研究法	基本主題	実験計画法		2	2
			心理統計/心理学統計法		2	2
		副次主題	心理学研究法		2	2
			データ解析		2	1
			健康心理アセスメント		2	1
	c：心理学実験 実習	基本主題	心理学基礎実験/心理学実験		2	2
		副次主題	心理教育的アセスメント		2	1
			健康心理アセスメント実習		2	1
心理演習				2	1	
基礎科目小計 12単位以上						

(右ページへ続きます)

認定心理士科目		本学開講のカリキュラム科目 (太字は本学の必修科目)	注	本学の 単位	認定心理士 取得の 単位数	必要単位	
選 択 科 目	d：知覚心理学・ 学習心理学	基本主題	知覚・認知心理学/認知心理学		2	2	
			思考心理学		2	2	
			言語心理学		2	2	
			学習・言語心理学/人間の行動	※1	2	2	
		副次主題	視覚と芸術の心理学		2	1	
	e：生理心理学・ 比較心理学	基本主題	神経・生理心理学/生理心理学		2	2	
	f：教育心理学・ 発達心理学	基本主題	発達心理学	※1	2	2	
			青年期の発達心理学		2	2	
			高齢者の心理学		2	2	
			教育・学校心理学/学校心理学 概論		2	2	
	g：臨床心理学・ 人格心理学	基本主題	臨床心理学概論/臨床心理学	※1	2	2	
			感情・人格心理学/人格心理学	※1	2	2	
			司法・犯罪心理学/犯罪心理学		2	2	
			心理学的支援法/カウンセリング 心理学		2	2	
			障害者・障害児心理学/障害児 (者)の心理と行動		2	2	
			臨床教育学		2	2	
			コミュニティ心理学		2	2	
			深層心理学		2	2	
			力動的アプローチ		2	2	
			認知行動療法		2	2	
			家族療法論		2	2	
			学校臨床心理学		2	2	
			健康心理カウンセリング		2	2	
			産業カウンセリング		2	2	
			キャリアカウンセリング		2	2	
			副次主題	精神疾患とその治療/精神医学		2	1
				心身医学		2	1
				健康・医療心理学/健康心理学		2	1
子どものこころとからだ		2		1			
h：社会心理学・ 産業心理学	基本主題	社会・集団・家族心理学/社会 心理学	※1	2	2		
		産業・組織心理学/産業心理学		2	2		
		環境心理学		2	2		
		家族心理学		2	2		
		人間関係論		2	2		
選択科目小計 5領域 計16単位以上							
その 他の 科目	i：心理学関連科目： 卒業論文・卒業研究	卒業論文		2	2		
総計 36単位以上							

※1：基礎科目 a.心理学概論 副次主題にも対応できます（どちらかの科目としてのみ）。
今後の修正はポータルで通知しますので、確認してください。

[4] 心理学検定

心理学検定とは

大学卒業レベルの心理学的知識・能力を測るため検定試験を行い、合格領域数に応じて、「心理学検定1級」、「心理学検定2級」の資格が授与されます。この検定により、

- (1) 受験者自身の心理学の実力を知ることができます。
- (2) 心理学的知識・能力の証明として、大学院入試、就職活動、心理学関係の諸資格の受験科目認定、キャリアアップなどへの利用可能性があります。
- (3) 公的機関や企業では、心理学的専門知識・能力の証明として利用することができます。

受検ガイド

「心理学検定」は個人申請です。受検を希望する者は下記のサイトを確認し、所定の手続きを経て受検するようにしてください。

一般社団法人日本心理学諸学会連合認定「心理学検定」
<http://www.jupaken.jp/>

[5] 産業カウンセラー

「産業カウンセラー」とは、一般社団法人 日本産業カウンセラー協会が認定している民間資格です。心理的手法を用いて、働く人たちが抱える問題を自ら解決できるよう支援する、働く人のサポーターとされています。1971年に第1回2級産業カウンセラー試験が実施され、今に至っています。現在、有資格者は全国で6万人を超えています。

産業カウンセラー試験の受験資格を得るためには4つのパスがあります。そのうち、本学の心理学部では「学士受験」のパスで受験資格を得ることができます。「学士受験」の概要は以下のとおりです。

4年制大学学部の卒業生であって、公認心理師法 別添「公認心理師法第7条第1号及び第2号に規定する公認心理師となるために必要な科目の確認について」の別表「大学における必要な科目」のうち、協会が指定する17科目について、所定の単位を取得した者。ただし、当該大学が公認心理師コースを開始した年度以降に履修した単位に限る。

※(一般)日本産業カウンセラー協会が指定する17科目

- ① 「公認心理師の職責」
- ② 「心理学概論」
- ③ 「臨床心理学概論」
- ④ 「知覚・認知心理学」
- ⑤ 「学習・言語心理学」
- ⑥ 「感情・人格心理学」
- ⑦ 「神経・生理心理学」
- ⑧ 「社会・集団・家族心理学」
- ⑨ 「発達心理学」
- ⑩ 「障害者・障害児心理学」
- ⑪ 「心理的アセスメント」

- ⑫ 「心理学的支援法」
- ⑬ 「健康・医療心理学」
- ⑭ 「産業・組織心理学」
- ⑮ 「人体の構造と機能及び疾病」
- ⑯ 「精神疾患とその治療」
- ⑰ 「関係行政論」

※「学士受験」のパスは2022年に新設されました。2022年3月以降の卒業生で、受験資格判定により上記に該当すると判定された者が対象となります。

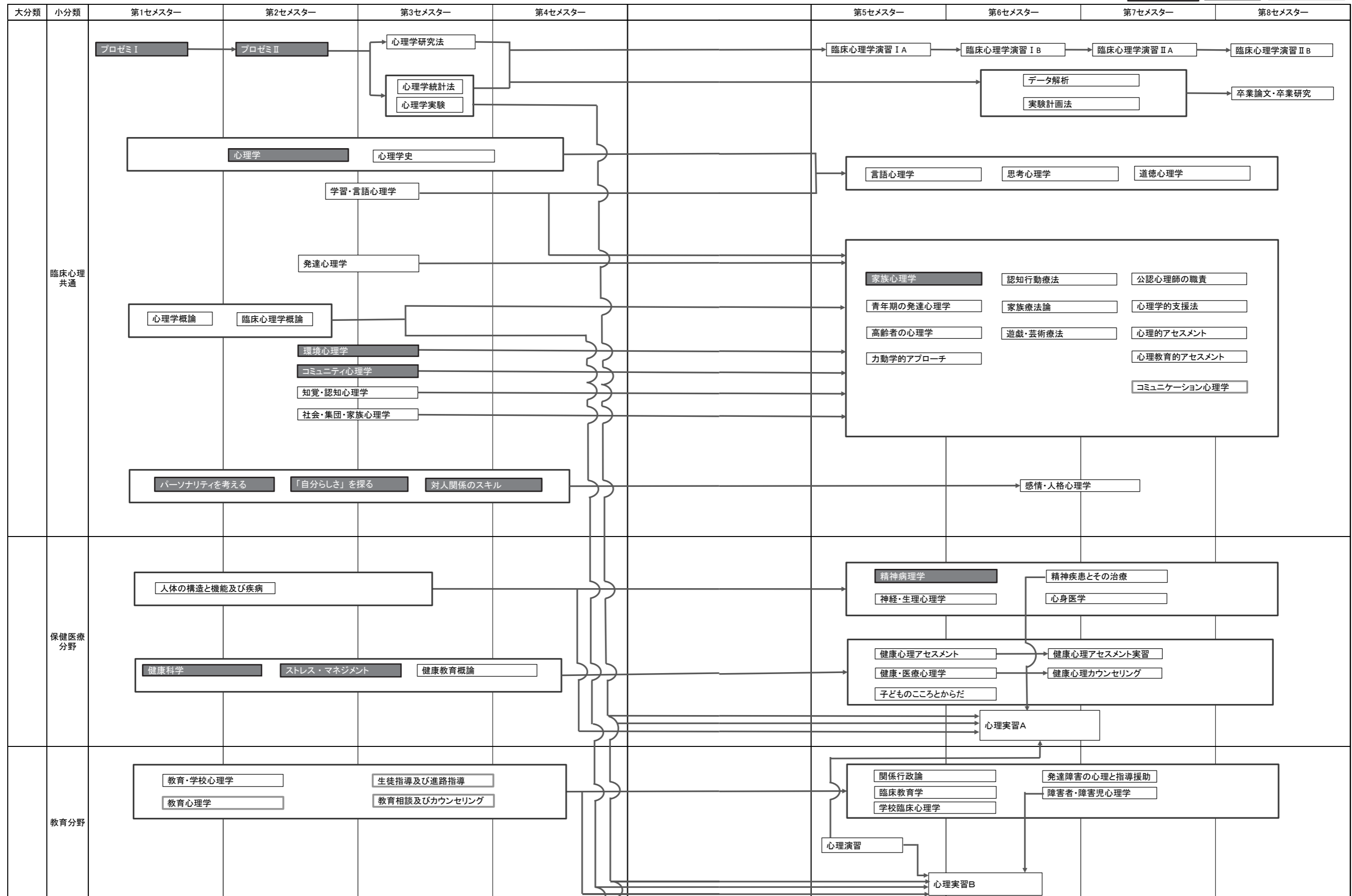
※受験資格を得るためには、(一般)日本産業カウンセラー協会に受験資格判定の申請を行う必要があります。

参照：(一般)日本産業カウンセラー協会 「学士・修士での受験資格判定 『学士』受験資格について」

<https://www.counselor.or.jp/examination/tabid/113/Default.aspx>

カリキュラムツリー ① [臨床心理学科]

全学共通科目 自学部 他学部・教職課程



V 心理学部
1 臨床心理学科・専門科目の履修

カリキュラムツリー ② [臨床心理学科]

全学共通科目 自学部 他学部・教職課程

大分類	小分類	第1semester	第2semester	第3semester	第4semester	第5semester	第6semester	第7semester	第8semester
	福祉分野・司法・犯罪分野					福祉心理学 司法・犯罪心理学			
	産業・労働分野	人間関係論	社会調査法	フィールドワーク方法論		マーケティング心理学 キャリアカウンセリング	産業・組織心理学 産業カウンセリング		
	選択	ボランティア論	装いの心理学	化粧の心理学		視覚と芸術の心理学			

臨床心理学科 履修登録チェックリスト

前期課程（1-2年）

学籍番号	
氏 名	

- ◆ _____には履修科目名、()には単位数を記入。単位修得済み科目は右の□にチェック!
- ◆ 科目区分は『学生便覧』「教育課程（平成31（2019）年度以降入学生適用）」をご確認ください。

全学共通科目（42単位以上必要）

外国語科目（16）	導入科目（2）	その他（9）
A・B・C コース（※ABCいずれかに○）		科目区分
英語 (2) <input type="checkbox"/>	プロゼミⅠ (1) <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>
英語 (2) <input type="checkbox"/>	プロゼミⅡ (1) <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>
英語 (2) <input type="checkbox"/>	教養科目（10）	_____ () <input type="checkbox"/>
英語 (2) <input type="checkbox"/>	_____ (2) <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>
_____ (2) <input type="checkbox"/>	_____ (2) <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>
_____ (2) <input type="checkbox"/>	_____ (2) <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>
_____ (2) <input type="checkbox"/>	_____ (2) <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>
_____ (2) <input type="checkbox"/>	_____ (2) <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>
※書ききれない場合は「その他」へ	※書ききれない場合は「その他」へ	
情報処理科目（2）	社会人形成科目（3）	
情報リテラシーⅠ (1) <input type="checkbox"/>	花蹊の教育とライフプラン・ キャリアプラン (2) <input type="checkbox"/>	
情報リテラシーⅡ (1) <input type="checkbox"/>	ソーシャルマナー (1) <input type="checkbox"/>	
※書ききれない場合は「その他」へ	※書ききれない場合は「その他」へ	

学部専門科目（20単位以上必要）

総論（12）	研究入門（2）	その他（4）
心理学概論 (2) <input type="checkbox"/>	心理学統計法 (2) <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>
臨床心理学概論 (2) <input type="checkbox"/>	実習（2）	_____ () <input type="checkbox"/>
_____ (2) <input type="checkbox"/>	心理学実験 (2) <input type="checkbox"/>	※他学部専門科目は4単位まで含めることができる。
_____ (2) <input type="checkbox"/>	2時限連続	
_____ (2) <input type="checkbox"/>		
_____ (2) <input type="checkbox"/>		
※書ききれない場合は「その他」へ		
履修要件		
以下の科目は、総論選択4科目（8単位）に含まれます。		
（3年次 心理実習A（保健医療分野）履修予定の場合）		
人体の構造と機能及び疾病 (2) <input type="checkbox"/>		
（3年次 心理実習B（教育分野）履修予定の場合）		
教育・学校心理学 (2) <input type="checkbox"/>		

※このチェックリストは、ポータルの「文書ライブラリ」からダウンロードできます。

1 本学で設置している「資格取得課程」

- ①「教職課程」 文学部人文学科にて開講
 - ②「司書教諭課程」 「教職課程」を履修している者のみを対象
 - ③「司書課程」 全学部・学科対象(文学部人文学科・現代文化表現学科・コミュニケーション文化学科、マネジメント学部マネジメント学科・生活環境マネジメント学科、観光コミュニティ学部観光デザイン学科・まちづくり学科、心理学部臨床心理学科)
 - ④「学芸員課程」 文学部人文学科にて開講
 - ⑤「社会調査士課程」 観光コミュニティ学部にて開講(観光デザイン学科・まちづくり学科)
- *教職課程、司書教諭課程、学芸員課程については、人文学科所属以外の学生であっても、「資格に関する授業科目の履修を許可する文学部基準」に定める要件を満たしている場合に限って、履修を認められることがあります。しかし、1. 各所属学科において修得すべき科目と、教職課程、司書教諭課程、学芸員課程で修得すべき科目との時間割上の調整がきわめて難しいこと。2. 各3課程の内容に関連する人文学科固有の卒業論文・卒業研究を作成(「人文学演習」ⅡA・ⅡBの履修)しなければならないこと等、多くの制約があり、人文学科所属以外の学生の履修は、これまで例がないということをご承知しておいてください。

2 「資格取得課程」履修にあたって

- ①「資格取得課程」の資格は、大学を卒業し、「学士」の学位がなければ取得できません。そのため、大学卒業に必要な単位修得に加えて、「資格課程の単位修得」が求められています。
 - ②各課程は、基礎資格として「学士」の学位を要することから、「卒業に必要な科目・単位」を優先し、「各資格課程の単位修得」を次に考える必要があります。
各資格を単独に取得するほか、
 - ・「教職課程」＋「司書教諭課程」
 - ・「司書課程」＋「学芸員課程」
 - ・「司書課程」＋「社会調査士課程」
 - ・「教職課程」＋「司書課程」
 - ・「教職課程」(美術科のみ)＋「学芸員課程」
- のように複数の資格を取得することもできます。ただし、4年間で修得可能かどうか現実的に判断する必要があるため、十分に留意してください。
- 各資格取得のために必要な単位数と履修時期を確認し、履修計画を立ててください。
- ※「教職課程」(該当教科は美術科のみ)と「学芸員」の両方の取得を目指す場合は、教職課程では教科及び教科の指導法に関する科目、学芸員課程では専攻分野に関する科目に関連する文学部人文学科の卒業論文を履修申請する必要があるため、その2つが合致していなければなりません。
- ③資格取得を希望する場合は、**第3セメスター**(2年次春学期)の**Web履修登録時**までに「資格取得課程」の履修登録申請をし、教職課程と学芸員課程は第5セメスター(3年次春学期)に実習費を納入しなければなりません。
 - ④**教職課程を希望する者**は、第4セメスター(2年次秋学期2月)から行われる**教職に関する事前指導(オリエンテーション)**への参加が必要となりますので、注意してください。
 - ・中学校教諭一種免許状に必要な「介護等体験」の事前指導(オリエンテーション)
→2年次の2月から 体験費(社会福祉協議会)要
 - ※介護等体験では、東京都社会福祉協議会に実習費を納入し、手続きしなければなりません。

- ・教育実習のための事前指導・事後指導（オリエンテーション、ガイダンス等）

→3年次の4月から

実習費 ￥20,000-

⑤学芸員課程を履修する者は、3年次、4年次に行われるガイダンス（事前指導）への参加が必要となります。

- 1) 第5 Semester（3年次春学期4月）のガイダンス（実習要件単位の確認等について）
- 2) 第5 Semester（3年次春学期7月）のガイダンス（希望館調査・自主見学等について）
- 3) 第7 Semester（4年次春学期4月）のガイダンス（見学実習・学外館実習等について）

また4年次の8月～9月に行われる学外館での実習のための費用（実習費）は、第5 Semesterに納入しなければなりません。

実習費 ￥11,000-

⑥大学卒業後、科目等履修生として資格取得のために教職、図書館、博物館に関する科目を履修しようとする者は、「本学在学中に資格取得の履修登録申請を行った者に限る」と規定されているので留意してください。

※ポータル上、登録資格に「(管理用コード) 000」と表示されますが、事務管理上のコードです。

3 教職課程 — 『学生便覧』 参照

[1] 本学で取得できる免許状の種類

免許状		
教科	高等学校	中学校
国語	一種	一種
美術	一種	一種
書道	一種	

[2] 「教職課程」受講希望者と取得「免許状の教科」の決定

本学で教員免許の資格を取得するためには、卒業要件に加えて、教職免許に必要な科目の単位（全学共通科目を含む計69単位、令和4（2022）年度以降入学生は計70単位）が必要です。最初に選択する教科を決定し、次に取得したい免許状の教科の校種を決定してください。

教職への就職を希望する人は、採用条件上、中学校・高等学校の「同教科」の免許状をあわせて取得することを勧めます。ただし、中学校の免許状取得にあたっては、3週間または4週間の教育実習（高校のみなら2週間）と、7日間の介護等体験実習が課せられます。二つ以上の教科の免許状の取得は、「国語と書道」の場合のみ認められています。

[3] 修得単位は、大きく分けて、次の4つの科目区分から履修しなければなりません。

① 「全学共通科目」(必修科目8単位)

教職課程履修者は、「免許法施行規則第66条の6」により、次の科目を必ず修得しなければなりません（前期課程中に修得しなければなりません）。

免許法施行規則に定める科目	対応する本学授業科目
日本国憲法	2単位 日本国憲法
外国語コミュニケーション	2単位 英語AⅠa・英語AⅠb・英語BⅠa・英語BⅠb・英語Ⅱから1科目
体育	2単位 体育実技A～Hから2科目
情報機器の操作	2単位 必修科目の「情報リテラシーⅠ・Ⅱ」で可

②「教科及び教科の指導法に関する科目」(中学校28単位 高等学校24単位)

取得教科に関する専門科目で、最低でも中学校28単位、高等学校24単位の修得が必要です。取得希望教科により該当する科目(『学生便覧』参照)を選択します。できるだけ早い時期から選択し、免許状の教科の学力を高めてください。

なお、4年次に教育実習を受けるためには、3年次末までに最低でも「教科及び教科の指導法に関する科目」を中学校では18単位、高等学校では14単位以上修得していなければなりません。後期課程において、各教科の「(教科)教育法B」、「(教科)教材論B」については、それぞれ各教科の「(教科)教育法A」、「(教科)教材論A」を修得していないと履修できません。

③「教育の基礎的理解に関する科目等」

(中学校30単位 高等学校26単位) ※令和4(2022)年度以降入学生より

(中学校29単位 高等学校25単位) ※令和3(2021)年度以前入学生

中学校、高等学校、教科に関わらず、教職課程受講者全員が履修する必修科目です。前期課程(第4 Semester)終了後までに、「教職論」「教育原理」「教育心理学」「教育制度及び教育法規」「特別支援を必要とする生徒理解」「道徳教育指導論」「特別活動の指導法及び総合的な学習の時間の指導法」「教育の方法及び技術」「教育とICT活用(令和4(2022)年度以降入学生より)」「生徒指導及び進路指導」「教育相談及びカウンセリング」を修得してください(「道徳教育指導論」については中学校免許状を取得する者にのみ適用)。特に、「教職論」はできるだけ1年次に履修することが望ましい科目です。(令和4(2022)年度以降入学生より「教育とICT活用」を追加)

④「大学が独自に設定する科目」(中学校4単位 高等学校12単位)

「教科及び教科の指導法に関する科目」「教育の基礎的理解に関する科目等」の単位のほかに、『学生便覧』に示された科目から中学校は4単位、高等学校は12単位を修得します。ただし、「大学が独自に設定する科目」は、必要を超えて修得した「教科及び教科の指導法に関する科目」あるいは「教育の基礎的理解に関する科目等」をもって替えることもできます。教科の専門性を高めるために「教科及び教科の指導法に関する科目」の幅広い修得を勧めます。

2年次に開設される「道徳教育指導論」と、3年次に開設される「教科(の)教材論」は、高等学校免許取得の場合「大学が独自に設定する科目」として認められます。両科目とも高等学校においても教職の専門性を高める上で役立ちます。

[4] 「教育実習」を履修する者は、最終学年次に採用を希望する都道府県・政令指定都市の教育委員会が実施する教職採用試験あるいは私立学校教員適性検査を受験しなければなりません。

[5] 「教職課程」の履修者は、文学部人文学科の「人文学演習ⅡA・ⅡB」を履修しなければなりません。

教職課程の履修者は、専門性を高めるために、教員免許状の教科に関連する文学部人文学科の「卒業論文・卒業研究」(演習科目に含まれる場合はこれを含む)を履修しなければなりません。(文学部人文学科以外の希望者も含めて、4年次に「人文学演習ⅡA・ⅡB」の履修申請が必要となります)。

4 司書教諭課程 — 『学生便覧』 参照

司書教諭課程は、「教員免許状」を取得した上で、必修として開設されている5科目のすべてを修得し申請した場合に、「修了証書」が授与されます。

5 司書課程 — 『学生便覧』 参照

司書の資格を取得するためには平成24年度改正の「図書館法施行規則」に従って24単位を修得する必要があります。司書課程の科目のうち、「生涯学習概論」は全学共通科目、「図書館概論」「情報サービス演習A」及び「図書・図書館史」は文学部共通専門科目ですので、それぞれ進級・卒業要件単位に算入されます。履修登録単位数上限の22単位にも含まれますので注意してください。詳細は『学生便覧』を参照ください。

「司書」の資格には免許状の類はありません。卒業後、有資格者であることを証明する必要の生じた者には、「図書館に関する科目」の単位修得証明書を発行します。

6 学芸員課程 — 『学生便覧』 参照

「学芸員」の資格には免許状の類はありません。卒業後、有資格者であることを証明する必要の生じた者には、「博物館に関する科目」の単位修得証明書を発行します。

必修科目のうち「博物館概論」はできるだけ早期に履修することが望ましい科目です。また、4年次で「博物館実習A・B・C」を履修するためには、3年次終了までに「博物館経営論」を除く必修科目のすべてと、『学生便覧』に記載されている実習希望館別に指定されている実習要件科目の修得が必要です。また、「博物館実習C」を履修するためには、「博物館実習B」を修得していなければなりません。詳しくは『学生便覧』を参照してください。

加えて、学芸員課程履修者は、4年次に当該専攻分野に関連する文学部人文学科の「卒業論文」を履修することになります。

なお、「博物館概論」（前期課程科目）は人文学科専門科目、「生涯学習概論」（前期課程科目）は全学共通科目ですので、進級要件単位に算入されます。履修登録単位数の上限22単位にも含まれますので注意してください。

最後に、選択科目についての注意です。選択科目は、四系列から三系列にわたって履修することになっていますが、このことを間違いなく充足するためには、前期課程において、「文化人類学」「民俗学」「考古学概論」の3科目のうち、少なくとも1科目を必ず修得しておかなければなりません。

7 社会調査士課程 — 『学生便覧』 参照

社会調査士の資格取得のためには、必修6科目および選択必修2科目のうち1科目を修得しなければなりません。なお、科目のうち「社会調査入門」は観光コミュニティ学部共通専門科目、「社会調査法」は全学共通科目、その他の科目はまちづくり学科専門科目ですので、進級・卒業要件単位に算入されます。履修登録単位数の上限22単位にも含まれますので注意してください。

科目は前期課程科目と後期課程科目があります。前期課程で、修得できなかった資格科目を、後期課程で履修することもできますが、その場合はキャンパス間の移動をしなければなりません。計画的な履修を心がけましょう。

科目の履修順序は問いませんが、1年次春学期に「社会調査入門」の履修から始めると、段階的に理解を進めることができます。3年次には「社会調査実習Ⅰ・Ⅱ」をセットで履修しましょう。実習は授業時間外の作業が多く、秋学期末は報告書を作成するので、4年次に履修する際は、就職活動や卒業論文作成との兼ね合いをよく考えましょう。

なお、本学では3年次以上の学生は社会調査士（キャンディデイト）資格申請ができます（資格申請の要件は社会調査協会HP [<https://jasr.or.jp/>] 参照）。就職活動に利用してください。社会調査士資格の取得は卒業時になります。

文学部・マネジメント学部・観光コミュニティ学部・心理学部 共通編

Q. 履修のために参考にする資料は何がありますか？

- A. 『学生便覧』、そしてこの文章が載っている「履修登録のために」があります。これらをよく読み、アカデミックアドバイザーの教員のアドバイスを受けて、自分の進路に適切でかつ自分の興味のある科目を選んでください。
- なお、ポータルでシラバス検索もできますので、授業内容等はそちらを参照してください。

Q. 履修に関する基本的なルールは何ですか？

- A. 『学生便覧』の「教育課程」に書いてあります。主なルールは3つあります。
1. 「履修年次」という決まりがあって、学年によって履修できない科目があります。
 2. 各学期で履修できる単位数の上限があります。資格取得課程科目を除いて、前期課程・後期課程ともに春・秋学期各22単位まで履修することができます。
 3. 学部学科によって自学部自学科学生を優先し、他学部他学科生の履修を制限する科目があります。詳しくは『学生便覧』を参照してください。

Q. 「シラバス」の説明は難しくて分かりません。

- A. まず、【授業の達成目標】や【今年度の授業内容】を確認した上で、不明な点については初回授業の説明をよく聞いてください。

Q. 配付された資料はすべて読みました。それでも私は、自分の進路のために何を履修すべきか判断が付きません。どうしたらよいのでしょうか？

- A. まず、アカデミックアドバイザーの教員のところへ相談に行きましょう。必要に応じて、担当教員から、進路希望に近い分野を専門としている他の教員を紹介するなどして、教員全体でサポートします。しかし、アドバイスを求めようとしなければ、誰もあなたをサポートすることができません。大学とは、そういうところです。主体的に行動するように心がけましょう。

Q. 全学共通科目は、外国語科目、情報処理科目、導入科目、社会人形成科目のほか、何を履修すればよいのでしょうか？

- A. 教養科目、総合科目など各カテゴリーから、進級要件あるいは卒業要件を満たすよう考慮しつつ、選択してください。

Q. 時間割や科目担当者が変更されたり、履修可能な人数に上限があって抽選となることがあるのですが、誰に聞けば分かりますか？

A. 基本的に大学における学生への情報伝達は、すべてポータルを通じて行われます。これはどの学部でも同様です。毎日、すべてのポータル掲示を必ず確認してください。掲示についてどうしてもわからない場合は教務課に聞いてください。

Q. 自分が進級できるかどうかは、いつ、どのように知ることができるのですか。仮進級になるかならないかは？

A. 進級・仮進級対象者ともに、成績発表日にポータルにて発表します。発表の結果についての問い合わせは、事務取り扱い時間内に教務課にて確認してください。

Q. 1年生から2年生には自動的に進級できますか？

A. 自動的に進級できます。2年生（前期課程）から3年生（後期課程）に進級する際には、各学部学科所定の進級要件を満たしていないと進級できません。計画的な履修を心がけ進級を目指しましょう。

Q. 人文学科以外の学科の学生ですが、教職課程や学芸員課程を履修するためにはどのような条件が必要なのですか？

A. 「資格に関する授業科目の履修を許可する文学部基準」（『学生便覧』参照）に定める要件を満たしている場合は、履修を認められることがあります。

Q. 2年次から「司書資格課程」を履修することはできるのですか？

A. 進級に必要な必修科目と時間割が重なることがあるため、難しくなりますが、前期課程のうちに取り切れなかった資格科目の単位を、後期課程で履修するなどの努力で、4年間で資格を取得できる可能性は十分にあります。ただし、この場合に4年間で資格取得を確実に保証するものではありません。

Q. 3年次から「司書資格課程」は履修することはできるのですか？

A. 新座キャンパスでしか開講されない資格科目のすべてと、文京キャンパスで開講される通常の後期課程科目の両方を取る必要があります。卒業までの資格取得は極めて困難です。卒業後、科目等履修生となり、不足単位を補えば、資格取得は可能です。

Q. 司書資格課程の必修科目を所定の学年で修得できなければ、履修を諦めなければなりませんか？

A. 諦める必要はありません。後から履修することができます。前期課程で修得できなかった資格科目を、後期課程で履修することもできます。ただし、その場合にはキャンパス間の移動をしなくてはならないことを覚悟してください。また、後になって履修しようと思っていた資格科目が、卒業に必要な必修科目と時間割が重なることもあります。資格取得を目指す学生は、なるべく早い段階から資格科目を修得するようにしてください。

Q. 資格取得課程の必修科目が卒業に必要な学部・学科の必修科目と時間割重複をしている場合、どうしたらよいですか？

A. 卒業に必要な必修科目を優先させ、資格取得課程の必修科目は後から履修する方向で計画する必要があります。教員免許、司書教諭、司書、学芸員、社会調査士は「学士」の学位を修得していることが前提です。基礎資格として「大学を卒業する」ことを優先してください。

Q. 観光コミュニティ学部以外の学生が社会調査士課程を履修することはできますか？

A. できません。社会調査士課程は観光コミュニティ学部の学生のみを対象としています。なお、「社会調査実習Ⅰ」「社会調査実習Ⅱ」については他学部の学生は履修できませんが、それ以外の社会調査士に関する科目は他学部の学生も履修可能です。修得した単位は、進級・卒業要件単位に算入されます。

Q. 外部の検定試験に合格し、単位認定の申請をしたいのですが、どうすればよいでしょうか？

A. 合格証明書と学生証を持参の上、教務課窓口で申請をしてください。また合格した時期により、単位認定の申請期間が決まっています。ポータルのお知らせ（教務課）をよく確認し、所定の期間中に申請をしてください。単位認定の条件や対応している検定については、『学生便覧』諸規程の「他の大学等における履修、大学以外における学修及び入学前の既修得単位等の認定に関する規程」を確認してください。

Q. 定期試験はいつ行われますか？

A. 大学が定める定期試験期間中（定期試験予備日含む）に行う定期試験の日程（実施科目、日時、教室）については、試験期間開始10日前までにポータルにて通知します。授業科目によっては、曜日・時間・教室等が変更になる場合があります。自分の履修している科目について、必ず確認してください。なお、通常授業期間中に試験や課題の提出がある場合には、各担当教員の指示に従ってください。

Q. 履修登録期間について教えてください。

A. 履修登録ガイダンスや、オリエンテーション期間に合わせてポータルのお知らせ（教務課）にて確認ができます。所定の期間中に履修登録を完了してください。登録後はポータルの時間割表で登録内容を確認してください。

Q. 必修科目の単位を落としてしまいました。再履修登録はどのようにすればよいでしょうか？

A. 必修科目の再履修登録の方法は、学期始めに教務課よりポータルでお知らせいたします。必修科目の中には、web履修登録で再履修登録ができない科目もありますので、教務課からのお知らせをよく確認してください。

Q. 体調不良で大学を休みますが、連絡は必要ですか？

A. 新型コロナウイルス感染症やインフルエンザ、ノロウイルスなどの感染症や忌引等による欠席については「通常授業欠席届」と「欠席事由を証明する書類」の提出により出席とみなされます。詳しくは『学生便覧』諸規程の「成績の評価及び単位の認定に関する規程」を確認してください。それ以外の事由による欠席は通常の欠席となります。

※ただし、定期試験期間中の取り扱いについては、追試験の申請方法のお知らせをよく確認してください。

Q. 自分が何回授業を欠席したか教えてください。

A. 授業の出欠については、教務課ではお答えしておりません。記録を取るなど、ご自身で管理するようにしてください。

Q. 卒業見込み証明書はいつから発行されますか？

A. 4年次の履修登録が終了し、時間割確定後（おおよそ5月中旬頃）です。日程が確定したらポータルにて通知します。春学期の履修登録時に秋学期の分も含め卒業要件を充足するように登録をする必要がありますので、ご注意ください。証明書自動発行機から発行ができます。

文学部編**Q. 人文学科には、基本的な8つの履修モデルが設定されているようですが、どれか一つを選ばなければならないのでしょうか？**

A. あくまで履修モデルなので、どれか一つを選ぶ必要はありません。しかし、自分の学びたいことや進路の目標が決まっている場合、履修モデルは大いに役立つでしょうし、これから決めようという場合には、その手がかりになると思います。

Q. 2年次から「教職課程」や「学芸員課程」を履修することはできるのですか？

A. 可能ですが、資格課程登録の手続きは第3セメスター（2年次春学期）までですので、十分留意して履修計画を立ててください。

Q. 3年次から「教職課程」や「学芸員課程」を履修することはできるのですか？

A. 司書課程以外は、前期課程において必要な資格に関する科目がすでに修得されていなければならないとともに、資格課程登録の手続きは第3セメスター（2年次春学期）までですので、履修できません。

Q. 資格を3つ取得することは可能ですか？

A. 理論上は可能ですが、履修上、卒業に必要な単位修得に困難な状況が生じる恐れがあります。自分自身の将来を考え、専門性を高めるためにも、必要な資格に絞ったほうが良いと思います。

Q. 「生涯学習概論」は、教職課程、司書課程、学芸員課程にまたがっているように見えますが、たとえば「生涯学習概論」の単位を修得すれば、教職課程の「大学が独自に設定する科目」「司書課程」「学芸員課程」の単位として認められますか？

A. 認められます。

Q. 高校時代に「現代社会」や「政治経済」を勉強しなかったので、経済や経営を学ぶ上で不安です。高校でそのような勉強をしなかった人のためのやさしい講義はありますか？

A. 政治経済などの知識に不安のある学生には、「社会科学入門」が用意されています。また、「ニュースで学ぶ現代社会」では、最近の経済社会情勢を、新聞などを用いて学びます。是非これらの科目を履修してください。

Q. 2年生で履修する実践ゼミナールのために、1年生のうちから、何か準備が必要でしょうか？

A. 実践ゼミについては、履修する前年度の秋学期に、各ゼミの内容紹介と募集・選考を行う予定です。そこでの説明を参考にしてください。なお、社会人基礎教育やキャリアデザイン講演会など、実践ゼミナールでの活動と密接に関わるプログラムが実施されていますから、それらには欠かさず参加しておく必要があります。

Q. 実践ゼミナールに参加するにあたって、必ず履修すべき講義科目があるのでしょうか？

A. 実践ゼミの内容は、ゼミのテーマごとに異なります。したがって、ゼミと同時に履修しておいたほうが良い科目の有無（および具体的な科目名）は、それぞれのゼミで異なります。アカデミックアドバイザーに加え、次年度自分が所属を希望するゼミの担当教員から、履修に関するアドバイスを受けると良いでしょう。

Q. マネジメント学部では、将来の職業を見据えた履修モデルのコースが示されていますが、この通りに履修すれば、希望する職業に就けるのでしょうか？

A. 履修モデルに想定されている職業はあくまで参考です。その職業に必要な知識、関連する内容のうち、本学で開講しているものを履修モデルとして示しています。これらの科目をすべて履修したからといって、必ずしもその職業に就けるわけではありません。特に公務員や資格取得が必要な職業は、採用試験や資格試験に合格する必要があります。資格が必要な職業を希望する学生は、よくその要件を調べて、不足するところは、自分で勉強する必要があります。

Q. 前期課程で修得しなければならない基幹科目と、後期課程で修得しなければならない展開科目は、他の学科の科目でも良いのでしょうか？

A. 自分が所属する学科で開講している科目を修得してください。

Q. 観光デザイン学科とまちづくり学科には、それぞれ3つの履修モデルが設定されていますが、この通りに科目を選ばなければならないのでしょうか。

A. この表はあくまで履修モデルなので、この通りの科目を選ぶ必要はありません。自分が進みたい道がはっきりしている場合は履修のてがかりとしてください。アカデミックアドバイザーに履修相談をしてみましょう。

Q. 「基礎ゼミナール」とはどのような科目でしょうか。全員が履修しなければならないのでしょうか。

A. 「基礎ゼミナール」は2年次の必修で、観光コミュニティ学部の学生は全員が履修しなければなりません。

「基礎ゼミナール」はより実践的な学びの場を目指す、少人数のゼミナール形式で学ぶ科目です。学内での学習に加えて、現地・現場での学外実習に参加し、就業体験あるいはフィールド・ワークなどを行うことによって、基礎的な実践力を養います。

Q. 観光コミュニティ学部では、どのような資格が取れますか。

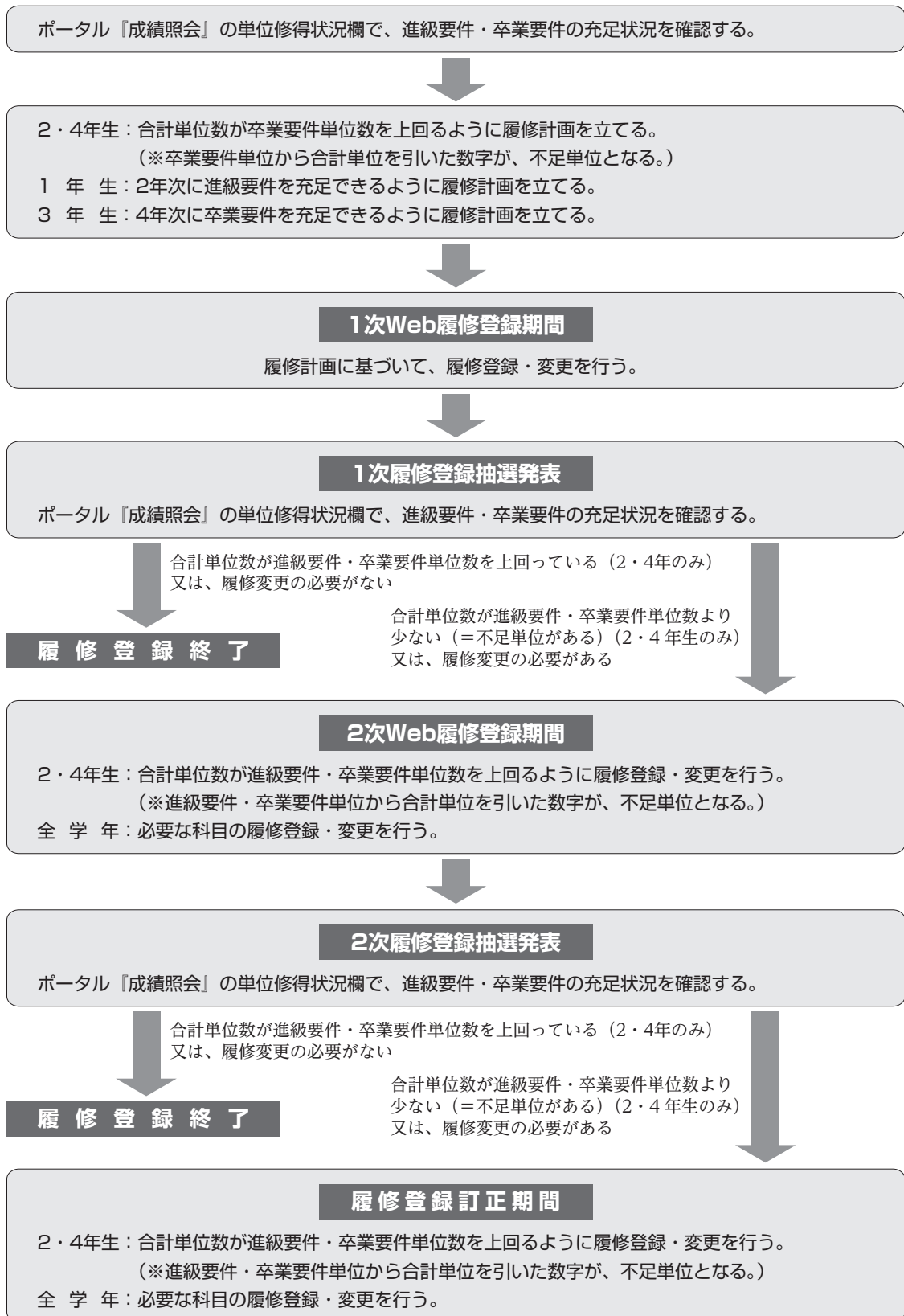
A. 観光コミュニティ学部では社会調査士課程を置き、社会調査士資格を取得するための必修6科目および選択必修2科目（選んだ1科目を必修）を開講します。

各授業科目は、「社会調査入門」を学部共通専門科目、「社会調査法」を全学共通科目として開講するほかは、すべてまちづくり学科専門科目として開講し、いずれも卒業要件単位に算入することができます。観光デザイン学科の学生の場合には、卒業要件にも算入できる他学科専門科目として履修できます。

このほか、国家資格である旅行業務取扱管理者の資格取得を支援するために、「観光国家資格取得特殊演習A」を前期課程の学部共通専門科目に置いています。

VIII

修得単位数の確認から履修登録までの流れ



※必修の語学や一部の必修の専門科目は、Web履修登録期間中に履修登録ができない。再履修を希望する場合は、別途ポータルで指示する方法を確認し、手続きを行うこと。

※必修科目と他の必修科目との時限重複が発生する場合は、至急事務取扱時間内に教務課に相談に来ること。

Ⅸ 科目ナンバリング

令和3年度より、全ての科目に科目ナンバリングコードが付与されています。科目ナンバリングコードを確認することで、科目の分類、レベルを容易に把握することができます。また、科目ナンバリングコードとカリキュラムツリーを併用することで、科目の関連性等も把握することができます。なお、科目ナンバリングコードは、以下のコード構造に基づき付番をされています。

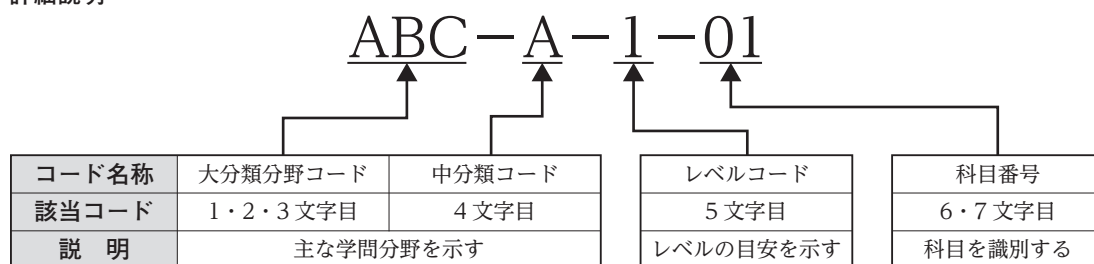
各科目の科目ナンバリングコードは、シラバスシステムの当該科目のページ内の「科目ナンバー」の項目に表示されています。また、ポータル文書ライブラリ「5050 科目ナンバリング（○○○○年度入学者用）」では、教育課程表順の科目ナンバリングコード一覧、大・中分類順の科目ナンバリングコードを参照することができます。

○コードの構造について

『跡見学園女子大学・科目ナンバリングコード』

= 学問分野（1・2・3・4文字目）+ レベル（5文字目）+ 科目番号（6・7文字目）の3つのカテゴリーで構成されています。

詳細説明



①大分類分野コード

付番科目の「主な学問分野」（大分類）を、アルファベット3文字で示します。

②中分類分野コード

付番科目が分類される【大分類】の中で、さらに分類される分野（中分類）を、アルファベット1文字で示します。

③レベルコード

レベルコード	レベルの目安
レベル1	初級レベル、入門的・導入的位置づけの科目（大学1年次レベル）
レベル2	前期課程レベル、導入的内容から応用的内容を含む科目（大学1～2年次）
レベル3	中級レベル、発展的・応用的内容を扱う科目（大学2年次レベル）
レベル4	上級レベル、実践的・専門的に高度な内容を扱う科目（大学3年次レベル）
レベル5	後期課程レベル、専門的に高度な内容から学士課程で学修する最終段階の水準までを含む科目（大学3～4年レベル）
レベル6	学士課程で学修する最終段階の水準の科目（大学4年次レベル）

④識別番号

科目を識別するための通し番号を、01から順番に付番しています。

科目ナンバリング大分類・中分類コード構造表

No	大分類 分野コード	大分類名称	大分類英文名称	中分類 分野コード	中分類名称
1	PRI	情報学基礎	[Principles of Informatics]	A	情報学基礎理論
				B	統計科学
2	COT	計算基盤	[Computing Technologies]	A	ソフトウェア
				B	情報ネットワーク
3	HUI	人間情報学	[Human informatics]	A	知覚情報処理
4	PRO	情報学 フロンティア	[Frontiers of informatics]	A	ウェブ情報学・サービス情報学
				B	図書館情報学・人文社会情報学
				C	学習支援システム
				D	エンタテインメント・ゲーム情報学
5	ENV	環境保全学	[Environmental conservation]	A	環境材料・リサイクル
6	SUS	環境創成学	[Sustainable and environmental system development]	A	自然共生システム
				B	環境政策・環境社会システム
7	DES	デザイン学	[Design science]	A	デザイン学
8	HUL	生活科学	[Human life science]	A	家政・生活学一般
				B	衣・住生活学
				C	食生活学
9	SCI	科学教育・ 教育工学	[Science education/ Educational technology]	A	科学教育
				B	教育工学
10	SOH	科学社会学・ 科学技術史	[Sociology/History of science and technology]	A	科学社会学・科学技術史
11	CAS	文化財科学・ 博物館学	[Cultural assets study and museumology]	A	文化財科学・博物館学
12	SOS	社会・安全 システム科学	[Social/Safety system science]	A	社会システム工学・安全システム
13	HEA	健康・ スポーツ科学	[Health/Sports science]	A	スポーツ科学
				B	応用健康科学
14	CHI	子ども学	[Childhood science]	A	子ども学 (子ども環境学)
15	ARE	地域研究	[Area studies]	A	地域研究
16	GEN	ジェンダー	[Gender]	A	ジェンダー
17	TOU	観光学	[Tourism Studies]	A	観光学
18	PHI	哲学	[Philosophy]	A	哲学・倫理学
				B	中国哲学・印度哲学・仏教学
				C	宗教学
				D	思想史
19	ART	芸術学	[Art studies]	A	美学・芸術諸学
				B	美術史
				C	芸術一般
20	LIT	文学	[Literature]	A	日本文学
				B	英米・英語圏文学
				C	ヨーロッパ文学
				D	中国文学
				E	文学一般
21	LIN	言語学	[Linguistics]	A	言語学
				B	日本語学
				C	英語学
				D	日本語教育
22	HIS	史学	[History]	A	史学一般
				B	日本史
				C	アジア史・アフリカ史
				D	ヨーロッパ史・アメリカ史
				E	考古学

No	大分類 分野コード	大分類名称	大分類英文名称	中分類 分野コード	中分類名称
23	HUG	人文地理学	[Human geography]	A	人文地理学
24	CUA	文化人類学	[Cultural anthropology]	A	文化人類学・民俗学
25	LAW	法学	[Law]	A	基礎法学
				B	公法学
				C	国際法学
				D	社会法学
				E	刑事法学
				F	民事法学
				G	新領域法学
26	POL	政治学	[Politics]	A	政治学
				B	国際関係論
27	ECO	経済学	[Economics]	A	理論経済学
				B	経済統計
				C	経済政策
				D	財政・公共経済
				E	金融・ファイナンス
				F	経済史
28	MAN	経営学	[Management]	A	経営学
				B	商学
				C	会計学
29	SOC	社会学	[Sociology]	A	社会学
30	PSY	心理学	[Psychology]	B	社会福祉学
				A	社会心理学
				B	教育心理学
				C	臨床心理学
				D	実験心理学
E	その他				
31	EDU	教育学	[Education]	A	教育学
				B	教育社会学
				C	教科教育学
				D	特別支援教育
32	SSC	社会科学	[Social sciences]	A	その他
33	ALG	数学	[Algebra]	A	数学基礎・応用数学
34	AST	天文学	[Astronomy]	A	天文学
35	PHY	物理学	[Physics]	A	物性Ⅱ
36	SOL	地球惑星科学	[Solid earth and planetary physics]	A	固体地球惑星物理学
				B	気象・海洋物理・陸水学
37	BAC	基礎化学	[Basic chemistry]	A	有機化学
38	ARC	建築学	[Architecture and building engineering]	A	建築環境・設備
				B	都市計画・建築計画
39	BIO	生物科学	[Biological Sciences]	A	構造生物化学
40	PLA	生産環境農学	[Plant production and environmental agriculture]	A	作物生産科学
41	APP	水圏応用科学	[Applied aquatic science]	A	水圏生産科学
42	BAM	基礎医学	[Basic medicine]	A	解剖学一般（含組織学・発生学）
				B	生理学一般
43	SOM	社会医学	[Society medicine]	A	衛生学・公衆衛生学
44	CLI	内科系 臨床医学	[Clinical internal medicine]	A	内科学一般（含心身医学）
				B	精神神経科学
45	OTH	その他	[Others]	A	その他

複合科目

No	大分類 分野コード	大分類名称	大分類英文名称	中分類 分野コード	中分類名称
1	HUM	人文学	[Humanities]	X	人文学研究入門、人文学演習、卒業論文・卒業研究
2	CON	文化表現学	[Contemporary Culture and Representation]	X	現代文化表現学研究入門、現代文化表現学演習、卒業論文・卒業研究
3	COM	コミュニケーション文化学	[Communication in culture]	X	コミュニケーション文化学研究入門、コミュニケーション文化学演習、卒業論文・卒業研究
4	MAA	マネジメント学	[Management]	X	実践ゼミナール、展開ゼミナール、生活環境マネジメント学演習、卒業論文・卒業研究
5	TOR	観光学	[Tourism]	X	基礎ゼミナール（観光）、観光デザイン演習、卒業論文・卒業研究
6	SOI	社会学	[Sociology]	X	基礎ゼミナール（コミュニティ）、コミュニティデザイン演習、卒業論文・卒業研究
7	CLP	臨床心理学	[Clinical Psychology]	X	臨床心理学演習、卒業論文・卒業研究

(記入例)

月	火	水	木	金	土
科目区分 全学 教養科目 (2) 単位 科目名 ●●学 担当 跡見 華子	科目区分 全学 外国語科目(必修) ※週2限の授業で2単位を修得 (1) 単位 科目名 英語 I 担当 跡見太郎/ジョン	科目区分 人文専門 総論 (2) 単位 科目名 日本史 担当 跡見 次郎	科目区分 全学 外国語科目(必修) ※週2限の授業で2単位を修得 (1) 単位 科目名 英語 I 担当 跡見太郎/ジョン	科目区分 () 単位 科目名 () 担当	科目区分 () 単位 科目名 () 担当

曜日 時限	月	火	水	木	金	土
I	科目区分 () 単位 科目名 () 担当	科目区分 () 単位 科目名 () 担当	科目区分 () 単位 科目名 () 担当	科目区分 () 単位 科目名 () 担当	科目区分 () 単位 科目名 () 担当	科目区分 () 単位 科目名 () 担当
	科目区分 () 単位 科目名 () 担当	科目区分 () 単位 科目名 () 担当	科目区分 () 単位 科目名 () 担当	科目区分 () 単位 科目名 () 担当	科目区分 () 単位 科目名 () 担当	科目区分 () 単位 科目名 () 担当
II	科目区分 () 単位 科目名 () 担当	科目区分 () 単位 科目名 () 担当	科目区分 () 単位 科目名 () 担当	科目区分 () 単位 科目名 () 担当	科目区分 () 単位 科目名 () 担当	科目区分 () 単位 科目名 () 担当
	科目区分 () 単位 科目名 () 担当	科目区分 () 単位 科目名 () 担当	科目区分 () 単位 科目名 () 担当	科目区分 () 単位 科目名 () 担当	科目区分 () 単位 科目名 () 担当	科目区分 () 単位 科目名 () 担当
III	科目区分 () 単位 科目名 () 担当	科目区分 () 単位 科目名 () 担当	科目区分 () 単位 科目名 () 担当	科目区分 () 単位 科目名 () 担当	科目区分 () 単位 科目名 () 担当	科目区分 () 単位 科目名 () 担当
	科目区分 () 単位 科目名 () 担当	科目区分 () 単位 科目名 () 担当	科目区分 () 単位 科目名 () 担当	科目区分 () 単位 科目名 () 担当	科目区分 () 単位 科目名 () 担当	科目区分 () 単位 科目名 () 担当
IV	科目区分 () 単位 科目名 () 担当	科目区分 () 単位 科目名 () 担当	科目区分 () 単位 科目名 () 担当	科目区分 () 単位 科目名 () 担当	科目区分 () 単位 科目名 () 担当	科目区分 () 単位 科目名 () 担当
	科目区分 () 単位 科目名 () 担当	科目区分 () 単位 科目名 () 担当	科目区分 () 単位 科目名 () 担当	科目区分 () 単位 科目名 () 担当	科目区分 () 単位 科目名 () 担当	科目区分 () 単位 科目名 () 担当
V	科目区分 () 単位 科目名 () 担当	科目区分 () 単位 科目名 () 担当	科目区分 () 単位 科目名 () 担当	科目区分 () 単位 科目名 () 担当	科目区分 () 単位 科目名 () 担当	科目区分 () 単位 科目名 () 担当
	科目区分 () 単位 科目名 () 担当	科目区分 () 単位 科目名 () 担当	科目区分 () 単位 科目名 () 担当	科目区分 () 単位 科目名 () 担当	科目区分 () 単位 科目名 () 担当	科目区分 () 単位 科目名 () 担当
履修登録単位数合計	単位	単位	単位	単位	単位	単位

科目区分 () 単位 科目名 () 担当	科目区分 () 単位 科目名 () 担当	科目区分 () 単位 科目名 () 担当	科目区分 () 単位 科目名 () 担当	科目区分 () 単位 科目名 () 担当	科目区分 () 単位 科目名 () 担当	科目区分 () 単位 科目名 () 担当
集中講義	単位	単位	単位	単位	単位	単位

春学期合計登録単位数

単位

(記入例)

月	火	水	木	金	土
科目区分 全学 教養科目 (2) 単位 科目名 ●●学 担当 跡見 華子	科目区分 全学 外国語科目(必修) *週2限の授業で2単位を修得 (1) 単位 科目名 英語 I 担当 跡見太郎/ジョン	科目区分 人文専門 総論 (2) 単位 科目名 日本史 担当 跡見 次郎	科目区分 全学 外国語科目(必修) *週2限の授業で2単位を修得 (1) 単位 科目名 英語 I 担当 跡見太郎/ジョン	科目区分 () 単位 科目名 () 担当	科目区分 () 単位 科目名 () 担当

曜日 時限	月	火	水	木	金	土
I	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当
II	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当
III	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当
IV	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当
V	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当
履修 登録 単位数 合計	単位	単位	単位	単位	単位	単位

科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当
集中講義						
秋学期合計登録単位数						
単位						

(記入例)

月	火	水	木	金	土
科目区分 全学 教養科目 (2) 単位 科目名 ●●学 担当 跡見 華子	科目区分 全学 外国語科目(必修) ※週2限の授業で2単位を修得 (1) 単位 科目名 英語 I 担当 跡見太郎/ジョン	科目区分 人文専門 総論 (2) 単位 科目名 日本史 担当 跡見 次郎	科目区分 全学 外国語科目(必修) ※週2限の授業で2単位を修得 (1) 単位 科目名 英語 I 担当 跡見太郎/ジョン	科目区分 () 単位 科目名 () 担当	科目区分 () 単位 科目名 () 担当

曜日 時限	月	火	水	木	金	土
I	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当
	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当
	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当
II	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当
	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当
	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当
III	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当
	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当
	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当
IV	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当
	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当
	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当
V	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当
	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当
	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当
履修登録単位数合計	単位	単位	単位	単位	単位	単位

科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当
集中講義	単位	単位	単位	単位	単位	単位

春学期合計登録単位数

単位

(記入例)

月	火	水	木	金	土
科目区分 全学 教養科目 (2) 単位 科目名 ●●学 跡見 華子 担当	科目区分 全学 外国語科目(必修) ※週2限の授業で2単位を修得 (1) 単位 科目名 英語 I 跡見 太郎/ジョン 担当	科目区分 人文専門 総論 (2) 単位 科目名 日本史 跡見 次郎 担当	科目区分 全学 外国語科目(必修) ※週2限の授業で2単位を修得 (1) 単位 科目名 英語 I 跡見 太郎/ジョン 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当

曜日 時限	月	火	水	木	金	土
I	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当
II	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当
III	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当
IV	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当
V	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当
履修 登録 単位数 合計	単位	単位	単位	単位	単位	単位

科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	秋学期合計登録単位数 単位
集中講義					

月		火		水		木		金		土	
科目区分	全学 教養科目 (2) 単位	科目区分	全学 外国語科目(必修) (1) 単位	科目区分	人文専門 総論 (2) 単位	科目区分	全学 外国語科目(必修) ※週2限の授業で2単位を修得 (1) 単位	科目区分	() 単位	科目区分	() 単位
科目名	●●学	科目名	英語 I	科目名	日本史	科目名	英語 I	科目名	() 単位	科目名	() 単位
担当	跡見 華子	担当	跡見太郎/ジョン	担当	跡見 次郎	担当	跡見太郎/ジョン	担当	() 単位	担当	() 単位

(記入例)

曜日 時限	月	火	水	木	金	土
I	科目区分	() 単位	科目区分	() 単位	科目区分	() 単位
	科目名		科目名		科目名	
	担当		担当		担当	
II	科目区分	() 単位	科目区分	() 単位	科目区分	() 単位
	科目名		科目名		科目名	
	担当		担当		担当	
III	科目区分	() 単位	科目区分	() 単位	科目区分	() 単位
	科目名		科目名		科目名	
	担当		担当		担当	
IV	科目区分	() 単位	科目区分	() 単位	科目区分	() 単位
	科目名		科目名		科目名	
	担当		担当		担当	
V	科目区分	() 単位	科目区分	() 単位	科目区分	() 単位
	科目名		科目名		科目名	
	担当		担当		担当	
履修登録単位数合計	単位	単位	単位	単位	単位	単位

集中講義		履修登録単位数	
科目区分	() 単位	科目区分	() 単位
科目名		科目名	
担当		担当	

春学期合計登録単位数

単位

(記入例)

月	火	水	木	金	土
科目区分 全学 教養科目 (2) 単位 科目名 ●●学 担当 跡見 華子	科目区分 全学 外国語科目(必修) *週2限の授業で2単位を修得 (1) 単位 科目名 英語 I 担当 跡見太郎/ジョン	科目区分 人文専門 総論 (2) 単位 科目名 日本史 担当 跡見 次郎	科目区分 全学 外国語科目(必修) *週2限の授業で2単位を修得 (1) 単位 科目名 英語 I 担当 跡見太郎/ジョン	科目区分 () 単位 科目名 () 担当	科目区分 () 単位 科目名 () 担当

曜日 時限	月	火	水	木	金	土
I	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当
II	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当
III	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当
IV	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当
V	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当
履修 登録 単位数 合計	単位	単位	単位	単位	単位	単位

科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当
集中講義						
秋学期合計登録単位数						
単位						

(記入例)

月	火	水	木	金	土
科目区分 全学 教養科目 (2) 単位 科目名 ●●学 跡見 華子 担当	科目区分 全学 外国語科目(必修) ※週2限の授業で2単位を修得 (1) 単位 科目名 英語 I 跡見 太郎/ジョン 担当	科目区分 人文専門 総論 (2) 単位 科目名 日本史 跡見 次郎 担当	科目区分 全学 外国語科目(必修) ※週2限の授業で2単位を修得 (1) 単位 科目名 英語 I 跡見 太郎/ジョン 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当

曜日 時限	月	火	水	木	金	土
I	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当
	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当
II	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当
	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当
III	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当
	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当
IV	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当
	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当
V	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当
	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当
履修 登録 単位数 合計	単位	単位	単位	単位	単位	単位

科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当
科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当
履修 登録 単位数 合計	単位	単位	単位	単位	単位	単位

春学期合計登録単位数

単位

(記入例)

月	火	水	木	金	土
科目区分 全学 教養科目 (2) 単位 科目名 ●●学 担当 跡見 華子	科目区分 全学 外国語科目(必修) ※週2限の授業で2単位を修得 (1) 単位 科目名 英語 I 担当 跡見太郎/ジョン	科目区分 人文専門 総論 (2) 単位 科目名 日本史 担当 跡見 次郎	科目区分 全学 外国語科目(必修) ※週2限の授業で2単位を修得 (1) 単位 科目名 英語 I 担当 跡見太郎/ジョン	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当

曜日 時限	月	火	水	木	金	土
I	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当
II	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当
III	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当
IV	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当
V	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当
履修 登録 単位数 合計	単位	単位	単位	単位	単位	単位

集中講義		秋学期合計登録単位数	
科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当	科目区分 () 単位 科目名 担当
		単位	

